

RADIOLOGICAL SAITAMA

埼玉放射線 vol.59

2011
No.1



総会・学術大会特集号

社団法人 埼玉県放射線技師会

<http://www.sart.jp>
E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

表紙の解説

新年のご挨拶

新年明けまして おめでとうございます

会員の皆様には、希望に満ちた平成23年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また平素は、本会の運営に際しまして格別なご支援とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

本年も、公益法人の精神と職能団体の役割を果たすために、会員の皆さんと生き抜く決意を内外に宣言し、新年の挨拶とさせていただきます。



会長	小川 清		
副会長	堀江 好一		
副会長	橋本 里見		
常任理事 (総務)	田中 宏		
常任理事 (総務)	矢部 智	理事 (第1地区)	八木沢英樹
常任理事 (財務)	結城 朋子	理事 (第2地区)	肥沼 武司
常任理事 (編集・情報)	松田 恵雄	理事 (第3地区)	澁市 直紀
常任理事 (学術)	富田 博信	理事 (第4地区)	長谷川英治
常任理事 (公益)	中村 正之	理事 (第5地区)	矢崎 一郎
理事 (学術)	尾形 智幸	理事 (第6地区)	石川 直哉
理事 (学術)	西山 史朗		
理事 (学術)	小林 剛	監事	山本 英明
理事 (編集・情報)	潮田 陽一	監事	鈴木 正人
理事 (公益)	星野 弘	顧問	和田 幸人

Serenade (小夜曲)

(社) 埼玉県放射線技師会

副会長 堀江好一



明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。日頃より当会に対する暖かいご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

~~~~~

今年は埼放技創立60周年を迎える年だ。そんなことを考えていたら、50周年記念式典を行うために右往左往していた10年前の自分を思い出した。

～夜に向かって雪が降り積もると  
悲しみがそっと胸にこみ上げる  
涙で心の灯を消して  
通り過ぎてゆく季節を見ていた～  
(桑田佳祐／白い恋人達より)

この楽曲を使ったコココーラのCMが流れて、もう10年が経とうとしている。

そして我々にとっては、今年、新たな10年がスタートする。キーワードはやはり“公益社団法人”なのだろうと思う。公益社団法人として新たな組織に生まれ変わることが、向こう10年間でおそらく最大の出来事になるのではないだろうか。

平成21年3月に公益社団法人を目指して委員会を発足し、もう少しで2年が経過する。当初の予定では平成23年4月の移行認定(公益社団法人として認められること)を目指していたが、昨年、主務官庁との折り合いがつかず、仕切り直しを余儀なくされた。

～今宵、涙こらえて奏でる愛のSerenade  
今も忘れない恋の歌  
せめてもう一度だけこの出発(たびだち)を  
Celebrate…～

今、まさに私たち執行部はSerenade(小夜曲)を奏でている。お城に向かって恋の歌を奏で、お姫様にプロポーズしているのだ。とは言っても我々にとってのお姫様とは一般市民のことだが。

「私たちは皆さまのお役に立つことができます。どうかこの熱い気持ちを受け止めてください！」

お姫様が微笑んでお城から出てきて、見事ゴールインできれば私たちの勝ち。

「うるさい！おまえのような輩が娘に近づこうとするなど100年早いわあ！！」と王様に追放されたら負けというところか。

現在まで47都道府県の技師会で、めでたくゴールインできたのは広島県放射線技師会(平成22年4月)だけであり、各県ともかなりご苦労されている様子だ。ちなみに埼玉県では移行の対象となる法人約430法人中、ゴールインできたのはたったの4法人に過ぎない。これは全国的に見ても東京を除けば似たような傾向で、この有り様では期限までにゴールインできる法人はほんの一握りになりかねない状況だ。

王様は誰か？ということをご想像にお任せしたまま、たとえ話を終わりにして、公益社団法人に移行するにあたり、公益法人の在り方について改めて考えてみたい。

私が技師会に入会した動機は単純明快「みんなが入っているから」だった。初めは日々の仕事をこなすのが精一杯で、会誌も読んだり読まなかったり。当時の上司から促され(半強制的に?)勉強会などに出たり、地区の役員をしたりしているうちに、自分の職場以外の知り合いが増えた。次第に仲間と呼べるような関係ができて、いろいろなことを勉強させてもらった。それは私だけでなく多くの会員が経験しているのではないかと思う。こういった関係はとても楽しい。しかし、「楽しい」で完結してしまっただけでは、技師会は共益の集団に過ぎない。地位向上や待遇改善運動なども同じこと。自分たちの利益を追求することは共益と分類される。したがって、技師会を通じて得た様々な情報を駆使し、医療の質を向上させ、一般市民に間接的、直接的に還元することで初めて「公益」と認められる。

これからは「自利利他(じりりた)」という精神が大切になると思う。「他人に尽くせば巡り巡って自分に利益が戻ってくる」とも解釈できるが、本来、自利利他の精神とは、他人に尽くすことが自分の幸福だと感じることだそう。

患者さんから「ありがとう」と微笑んでもらったら、どんな技師でも少しは幸福感を感じられるだろう。一般市民から「ありがとう」と言ってもらえるように会員全員で努力していこう。その先に公益社団法人埼玉県放射線技師会がある。

## 公 示

平成23年1月13日

(社) 埼玉県放射線技師会  
選挙管理委員会委員長 大 嶋 健 悟

定款13条並びに役員選挙規程に基づく平成23年・24年度役員選挙について、  
下記の立候補者および推薦の届け出を受理いたしました。

## 記

## 1. 会長候補者（1名）

氏 名：小川 清  
年 齢：58歳  
所 属：第四地区  
推 薦：第四地区

## 2. 監事候補者（2名）

氏 名：山本 英明  
年 齢：57歳  
所 属：第六地区  
推 薦：第六地区

氏 名：鈴木 正人  
年 齢：42歳  
所 属：会員外（埼玉県議会議員）  
推 薦：第二地区

以上

総会資料・学術大会

第27回社団法人埼玉県放射線技師会総会

|                     |    |
|---------------------|----|
| 平成23年度事業計画(案)       | 22 |
| 平成23年度当初予算(案)       | 24 |
| 平成23年度一般会計予算の概要について | 25 |

第26回埼玉放射線学術大会

テーマ

「希望」 ～10年先の未来へ～

|                    |    |
|--------------------|----|
| 第26回埼玉放射線学術大会      | 28 |
| 第26回埼玉放射線学術大会会場案内図 | 29 |
| 第26回埼玉放射線学術大会プログラム | 30 |
| 参加登録手続きについて        | 31 |
| 演題発表要綱             | 32 |
| ■大会セッション1          | 35 |
| ■テクニカルディスカッション     | 36 |
| ■ランチョンセミナー1・2      | 37 |
| ■大会セッション2          | 38 |
| 県民公開講座             | 39 |
| ■一般演題目次            | 40 |
| 一般                 |    |
| RI・MMG・教育          |    |
| CT①                |    |
| CT②                |    |
| ■学生演題目次            | 42 |
| 一般演題抄録             |    |
| セッションI～IV          | 43 |
| 学生演題抄録             | 48 |

共同企画

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 埼玉核医学技術研究会の紹介               |    |
| 戸田中央総合病院 大川 健一              | 50 |
| 『埼玉核医学技術研究会所属の施設紹介』         |    |
| 埼玉医科大学国際医療センター 核医学検査室       |    |
| 埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 山岸 正和 | 52 |
| 埼玉核医学技術研究会30周年記念大会開催のお知らせ   |    |
| 大会長 大川 健一                   | 58 |

学術特集

連載企画 MRI特集

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| MR画像のコントラスト ～MR画像は特定因子強調画像～ |    |
| 済生会川口総合病院 放射線技術科 浜野 洋平      | 61 |

学術(原著)

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| フィルムレス・システムの導入検証 -マンモグラフィーについて- |    |
| 小川赤十字病院 松本 洋栄 小川 清              | 66 |

巻頭言

Serenade(小夜曲)

|               |   |
|---------------|---|
| 社団法人埼玉県放射線技師会 |   |
| 副会長 堀江 好一     | 2 |

公示

|    |   |
|----|---|
| 公示 | 3 |
|----|---|

会告

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 第27回社団法人埼玉県放射線技師会総会の開催  | 5  |
| 第26回埼玉放射線学術大会の開催のご案内    | 7  |
| 第2回CT認定講習会(試験)のお知らせ(改訂) | 8  |
| 第2回地域読影講習会のお知らせ         | 10 |

お知らせ

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 第20回東京・埼玉医用乳房画像研究会               | 11 |
| 第57回関東部会研究発表大会の参加についてお願い         | 13 |
| (社)日本放射線技術学会第57回関東部会研究発表大会概要     | 14 |
| 第57回関東部会研究発表大会における合同企画について       | 15 |
| 第32回埼玉消化管撮影研究会開催案内               | 16 |
| 第23回SAITAMA MRI Conferenceのご案内   | 17 |
| 沖縄乳癌勉強会のお知らせ                     | 18 |
| メールマガジン配信登録のご案内                  | 19 |
| 社団法人日本放射線技師会への入会金ならびに再入会金の免除について | 20 |

本会の動き

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 第35回ソフトボール大会報告                | 72 |
| 医療被ばく相談セミナー開催報告               | 73 |
| 第2回マネージメントセミナー開催報告            | 74 |
| 第1回地域読影セミナー開催報告               | 75 |
| 平成22年度 胸部、上部消化管認定講習会報告        | 76 |
| MRIセミナー開催報告                   | 77 |
| 平成23年社団法人埼玉県放射線技師会「新春の集い」開催報告 | 78 |

各地区掲示板

|      |    |
|------|----|
| 第1地区 | 80 |
| 第2地区 | 82 |
| 第3地区 | 86 |
| 第4地区 | 88 |
| 第5地区 | 89 |
| 第6地区 | 93 |

自由投稿

|                          |     |
|--------------------------|-----|
| みんなのカプリッチオ               |     |
| ことわざ全集その32・その33          |     |
| スペシャリストとプロは違う            | 97  |
| お金だけが幸せではない              | 97  |
| SARTランニングクラブ通信           |     |
| 上尾マラソン2010 小江戸川越マラソン2010 | 98  |
| エピソード集その6                | 100 |

議事録

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 平成22年度 第3回常任理事会議事録(抄) | 104 |
| 平成22年度 第4回理事会議事録(抄)   | 106 |

会員の動向

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 会員の動向(平成22年11月29日現在) | 112 |
|----------------------|-----|

役員名簿

|               |     |
|---------------|-----|
| 平成21,22年度役員名簿 | 114 |
|---------------|-----|

|          |     |
|----------|-----|
| 投稿規定     | 117 |
| 年間スケジュール | 118 |
| FAX申込書   | 119 |
| 編集後記     |     |

## 第27回社団法人埼玉県放射線技師会総会の開催

(社) 埼玉県放射線技師会  
会長 小川 清

日 時：平成23年3月13日（日）  
会 場：日本医療科学大学  
〒350-0435 埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276  
内 容：第27回社団法人埼玉県放射線技師会総会（予算）

### 総会次第

開 会 の 辞  
会 長 挨 拶  
来 賓 挨 拶  
総会運営委員会報告  
議 長 選 出  
総 会 職 員 任 命  
議 事

1. 平成23年度事業計画案
2. 平成23年度予算案
3. その他

役 員 選 挙

1. 選挙管理委員長報告
2. 新旧役員挨拶

閉 会 の 辞

総会運営委員

間山 金太郎、浜野 洋平、栗田 恭介、小林 茂幸、金子 初穂、榎本 雅彦

※委任状（往復はがき）を後日郵送いたします。欠席されます会員の方は、必ず委任状を返信していただきますよう宜しくお願い致します。

## 第26回埼玉放射線学術大会開催

### 大会テーマ

### 「希望」～10年先の未来へ～

新企画いろいろ開催！参加して時代を先取り！  
お誘い合わせの上ご参加を！！

開催日 : 平成23年3月13日(日)  
場所 : 日本医療科学大学キャンパス内  
住所 : 埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276

#### 大会企画概要

- 一般研究発表を例年通り実施します！
- チーム医療に関するディスカッション 今できることは？
- 学生と現役技師による総合ディスカッション
- テクニカルディスカッション MMG UGI CT など基礎講座
- 県民公開講座 骨塩測定、小講演など
- 読影企画(乳腺、CT、US、上部消化管) 終日開催！！  
今回は懇切丁寧に解説します！！
- 学生何でも相談コーナー

はじめての大学開催!

※駐車場スペースは十分確保しております。

当日お車でお越しの際には指定の駐車場所をお願いいたします。

尚、大会当日に大学隣接駐車場所案内の看板を立てますので、ご確認の上  
駐車をお願いいたします。





## 第26回埼玉放射線学術大会の開催のご案内

(社) 埼玉県放射線技師会

会長 小川 清

平成22年度、第26回埼玉放射線学術大会の日程が決定致しました。今大会は、昨年度開催した大宮ソニックシティに代わり、日本医療科学大学にて開催が決定しました。大学での開催は今回が初めての試みであり、新たな企画も多数用意してお待ちしております。

学術大会は埼玉県放射線技師会における最大のイベント事業であり、多数の会員に出席を頂きたいと考えております。公私共々お忙しいと存じますが、ご参加の程、お願い申し上げます。

尚、プログラム詳細につきましては、順次埼玉県放射線技師会Webサイトもしくは、本会会誌「埼玉放射線」をごらんください。

### 記

日 時：平成23年3月13日（日）

会 場：日本医療科学大学

〒350-0435 埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276

内 容：会員研究発表、チーム医療に関するディスカッション、学生及び現役技師総合ディスカッション、県民公開講座、読影企画（乳腺、CT、US、上部消化管：終日開催）、学生何でも相談コーナー。

※その他企画は順次埼玉県放射線技師会Webサイトにアップ致しますのでご期待ください

※本大会の発表後抄録から、データを電子化し、埼玉県放射線技師会の学術データベースに収載し、Web上に公開する予定ですので、発表される方は、予めご了解下さい。

問い合わせ：(社) 埼玉県放射線技師会学術委員長 富田博信

TEL048-253-1551（埼玉県済生会川口総合病院）

## 第2回CT認定講習会（試験）のお知らせ（改訂）

（社）埼玉県放射線技師会

会長 小 川 清

埼玉県放射線技師会で行っている認定技師制度は平成11年に胸部、上部消化管、乳腺の3部門でスタートしました。その後、乳腺は全国統一認定に移行し、2部門で継続して参りましたが、昨年度からはそれらにCTを加え、胸部、上部消化管、CTの3部門で認定を行っております。

第1回目につきましては、多くの会員の皆様にご参加いただき、本認定制度を埼玉県内で実りあるものになりたいと思います。皆さま、奮ってのお申し込みをお願いいたします。

---

### プログラム（敬称略）

---

平成23年1月30日（日）

8：45～9：00 受付

9：00～12：00 造影に関する物理特性講義＋実習Ⅲ（TDCファントム体験）

埼玉医科大学総合医療センター

中根 淳

済生会川口総合病院

志藤 正和

13：00～14：00 講義：3DCT造影法概論

株式会社根本杏林堂

弓場 孝治

14：00～16：00 認定試験 筆記試験 読影試験

（物理特性技能試験は午前中の実習Ⅲの時間にグループ分けにて行います。）

詳細につきましては、ホームページでお知らせいたします。

---

### 記

---

場 所：埼玉県済生会川口総合病院 3F 第一会議室

住 所：埼玉県川口市西川口5-12-1

電 話：048-253-1551

受 講 料：1) 1月30日のみ受講

埼玉放技会員 2,000円

非会員 3,000円

※2) 再認定受験のみ

埼玉放技会員 1,000円

非会員 2,000円

定 員：30名程度

申込方法：会誌綴込みの「セミナー申込書」を用いて、FAXにてお申込ください。

認定試験に関してはメールでの申し込みも受け付けます。 h-tomita@sart.jp

締め切り：定員に達した時点。

入金方法：原則として口座振り込みとします。申し込み用紙をFAXした後、振り込みをお願いいたします。当日支払いの場合は、手数料として500円いただきます。

振込先：埼玉りそな銀行宮原支店（口座名）（社）埼玉県放射線技師会口座番号：3574315

連絡先：（社）埼玉県放射線技師会 電話：048-664-2728 FAX：048-664-2733

問い合わせ：埼玉県済生会川口総合病院 富田博信 電話：048-253-1551

E-mail：h-tomita@sart.jp

※物理特性実習、認定試験ではパソコンを使用しますので必ず各自、ご自分のパソコンをお持ちください。パソコンの貸し出しについては若干名分お貸しすることができますので事前にお問い合わせください。

#### ※認定試験について

第1回CT認定講習会を全日程受講された方に関しては、今回再認定試験のみの受講が可能です。第2回認定講習会全日程受講の場合受験資格があります。認定試験も多数のご参加をお待ちしております。

日 時：平成23年1月30日（日）

時 間： 8：45～ 9：00 受付

9：00～12：00 物理特性 実技試験

14：00～16：00 筆記試験 読影試験

#### CT認定試験のみを受講する方へ

1. 物理特性試験については、前回試験にて合格していれば必須ではありません。試験時間は実習Ⅲをグループ分けするため9：00からとなっておりますのでご注意願います。
2. 筆記、読影試験だけを受講される方は、試験当日14：00までに会場へ来てください。
3. 前回受験と今回受験において、どちらかの最高点数がすべて（物理、筆記、読影）70点以上でB認定、すべて90点以上でA認定が取得できます。

## 第2回地域読影講習会のお知らせ

(社) 埼玉県放射線技師会  
会長 小 川 清

平成22年4月に厚生労働省医局長より、『医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について』という文章が提出されました。この中で診療放射線技師が実施することができる業務の具体例として、『画像診断における読影の補助を行うこと』及び『放射線検査等に関する説明・相談を行うこと』が記され、今後の医療においては診療放射線技師に対し読影能力を求めてきています。そこで、県内全体の読影能力向上を図るため、第1回地域読影講習会を小川赤十字病院で開催いたしました。第2回は下記のとおり春日部で開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

---

### プログラム

---

- 内 容：上部消化管、乳腺、CT画像の読影  
30分（総合レクチャー）、各モダリティ50分×3回（読影法レクチャー＋質疑応答）  
グループ形式にて学習します。
- 時 間：15：00～18：00

---

### 記

---

- 日 時：平成23年3月26日（土） 15:00～18:00
- 場 所：春日部市立病院 会議室  
〒344-8588 埼玉県春日部市中央7丁目2番地1  
TEL 048-735-1261（代）
- 受 講 料：会員1000円 非会員2000円
- 定 員：30名
- 申込み方法：返信用FAX用紙、または埼玉県放射線技師会ホームページからお願いします。  
（当日参加も可能ですが可能であれば事前申し込みをお願いいたします）
- 連 絡 先：埼玉県放射線技師会センター TEL 048-664-2728  
FAX 048-664-2733
- 問い合わせ：埼玉社会保険病院 橋本里見 Mail s-hashimoto@sart.jp



## 第20回東京・埼玉医用乳房画像研究会

主催 埼玉医用乳房画像研究会  
 日本放射線技術学会 東京部会  
 共催 富士フイルムメディカル株式会社

第20回東京・埼玉医用乳房画像研究会を下記のとおり開催いたします。

新年を迎え、皆さんと楽しく学んでいける年にしていきたいと思えます。今回は20回記念大会です。「挑戦」をテーマに講義はマンモグラフィ・病理・診療に役立つ内容を取り揃えました。また、「CAD vs 人間読影力」でCADに挑戦します。さらに、治療患者の立場を考えた医療用ウィックの紹介・展示も行います。そして、年の初めの20回記念大会です。何かサプライズがある。かも？

皆様のご参加をお待ちしております。

### プログラム

|       |               |                     |
|-------|---------------|---------------------|
| 12:30 | 受付開始          |                     |
| 13:00 | 医療用ウィックについて   | ADERANS FONTAINE    |
| 13:30 | 休憩            |                     |
| 13:40 | マンモグラフィについて   | 岡山大福クリニック 逸見典子      |
| 15:10 | 休憩            |                     |
| 15:30 | 放射線技師のための乳腺病理 | 日本医科大学付属病院 病理部 永井祥子 |
| 16:50 | CAD症例解説       |                     |
| 17:10 | 終了            |                     |

### 記

日時：平成22年1月30日（日） 13:00から17:10まで（受付12:30から）

場所：さいたま赤十字病院 本館5階 講堂

<http://www.saitama-med.jrc.or.jp/>

（ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください）

会費：1,000円（当日、受付にて徴収いたします）

事前の申し込みは不要です

● 社団法人 日本放射線技術学会

# 第57回関東部会研究発表大会

一步先の放射線医療を目指す ~ To The Next Stage ~



Copyright © SCVB

会期 2011. 2/5 (土) . 6 (日) 会場 大宮ソニックシティ

事前登録 4,000円

当日登録 5,000円

情報交換会 5,000円

大会長：諸澄 邦彦（埼玉県立がんセンター） 実行委員長：柳田 智（北里大学北里研究所メディカルセンター病院）

教育講演

「乳がんの放射線治療と新しい考え方」

獨協医科大学越谷病院 放射線科 教授 野寄 美和子 先生

ランチョンセミナー

キャノンマーケティングジャパン提供

「じん肺とアスベスト関連疾患の胸部画像診断」

高知大学医学部医療学講座 教授 菅沼 成文 先生

(社)埼玉県放射線技師会合同企画シンポジウム（ランチョンセミナー）

「地域医療における画像連携」～半切フィルムからCD-Rへ～

大会ホームページ <http://plaza.umin.ac.jp/~taikai57/>

演題登録:2010年9月1日・事前参加登録:2010年12月1日よりホームページにて受付開始

## 市民公開講座「インフルエンザとインフルエンザワクチン」

講師：学校法人北里研究所生物製剤研究所副所長 五反田 亨 先生

日時 2/6 (日) 13:00 ~ 14:30

会場 大宮ソニックシティ 小ホール

※ 一般の方は入場無料

後援：埼玉県・さいたま市・(社)さいたま観光コンベンションビューロー・(社)埼玉県放射線技師会

## 第57回関東部会研究発表大会の参加についてお願い

社団法人 日本放射線技術学会  
第57回関東部会研究発表大会  
大会長 諸 澄 邦 彦  
(埼玉県立がんセンター)

社団法人埼玉県放射線技師会の会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
平成23年2月5日(土)～6日(日)の両日、(社)日本放射線技術学会第57回関東部会研究発表大会を大宮ソニックシティで開催いたします。

今大会のメインテーマは、「一歩先の放射線医療を目指す(To The Next Stage)」とさせていただきます。シアター500席の小ホールをメイン会場に、国際会議場と市民ホールを第2会場、第3会場として、学術発表をする会員と参加者との活発な意見交換ができるような企画を計画しております。

特別講演は、学校法人北里研究所生物製剤研究所副所長の五反田 亨先生に「インフルエンザとインフルエンザワクチン」をお願いし、市民公開としました。また教育講演を、獨協医科大学越谷病院放射線科教授の野寄美和子先生に「乳がんの放射線治療と新しい考え方」と題してご講演いただきます。ランチョンセミナーでは、高知大学医学部医療学講座の菅沼成文先生に、「じん肺とアスベスト関連疾患の胸部画像診断」と題する、デジタル画像の胸部画像診断のご講演をお願いしております。

今大会の開催では、社団法人埼玉県放射線技師会の小川清会長とも協議し、埼玉県放射線技師会との合同企画「地域医療における画像診断—半切フィルムからCD-Rへ—」のシンポジウムを企画いたしました。

情報交換会につきましても、参加される会員の利便性を考慮し、同一会場内の国際会議場で開催いたしますので、学会の疲れをリフレッシュしていただき、会員の皆様方とお酒を酌み交わしながら懇親を深めていただきたいと思います。

柳田智実行委員長(北里研究所北里メディカルセンター病院)を始め実行委員一同、多くの埼玉県放射線技師会の会員のご参加をお待ちしております。

## (社) 日本放射線技術学会第57回関東部会研究発表大会概要

大会名：(社) 日本放射線技術学会第57回関東部会研究発表大会

大会テーマ：「一歩先の放射線医療を目指す (To The Next Stage)」

大会ホームページ：<http://plaza.umin.ac.jp/~taikai57/index.html>

主催者：(社) 日本放射線技術学会関東部会

大会長：諸澄 邦彦 (埼玉県立がんセンター)

実行委員長：柳田 智 (北里大学北里研究所メディカルセンター病院)

実行委員会事務局：〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室818

埼玉県立がんセンター 放射線技術部内

開催会期：平成23年2月5日 (土) ~6日 (日)

開催場所：埼玉県さいたま市大宮ソニックシティ

会場：メイン会場 大宮ソニックシティ小ホール  
 第二会場 大宮ソニックシティ国際会議場  
 第三会場 大宮ソニックシティ市民ホール  
 ハンズオンセミナー 大宮ソニックシティ市民ホール

参加登録費：事前登録 4,000円 当日登録 5,000円 (事前登録は大会ホームページより)  
 情報交換会 5,000円 (事前、当日共に)

プログラム：・一般演題発表 2月5日, 6日 メイン会場, 第二会場, 第三会場

・シンポジウム (関東部会3研究会)

CTGUM 2月5日 第二会場

「救急を探る」

関東RT研究会 2月5日 第三会場

「乳房放射線治療における照射技術上の問題点」

関東DR研究会 2月6日 第二会場

「デジタル画像における被ばく線量と画質の最適化を探る」

・ランチョンセミナー1 2月5日 メイン会場

「じん肺とアスベスト関連疾患の胸部画像診断」

講師：高知大学医学部医療学講座

予防医学・地域医療学 (環境医学) 教授 菅沼 成文 先生

・ランチョンセミナー2 2月6日 メイン会場

埼玉県放射線技師会合同企画シンポジウム

「地域医療における画像連携」～半切フィルムからCD-Rへ～

・ハンズオンセミナー 2月5日, 6日 ハンズオンセミナー会場

「3Dワークステーション」

富士フィルムメディカル株式会社

(株) エルクコーポレーション/テラリコン・インコーポレイテッド

・市民公開特別講演 2月6日 メイン会場 (一般の方入場無料)

「インフルエンザとインフルエンザワクチン」

講師：学校法人北里研究所生物製剤研究所副所長 五反田 亨 先生

・教育講演 2月5日 メイン会場

「乳がんの放射線治療と新しい考え方」

講師：獨協医科大学越谷病院 放射線科教授 野崎 美和子 先生

・情報交換会 2月5日 第二会場

後援：埼玉県、さいたま市、埼玉県放射線技師会、さいたま観光コンベンションビューロー



## 第57回関東部会研究発表大会における合同企画について

第57回関東部会研究発表大会

実行委員長 柳田 智

第57回関東部会研究発表大会では、大会実行委員会と埼玉県放射線技師会における、合同シンポジウムを企画しております。

テーマは、「地域医療における画像連携」～半切フィルムからCD-Rへ～と題し、画像情報の施設間連携に関する話題と致しました。

日時：平成23年2月6日（日） 11時30分から

会場：大宮ソニックシティ 小ホール（大会第一会場）

### <シンポジウム要旨>

最近、政策の誘導もあり、施設の規模に依らずフィルムレス運用を選択する医療機関が増えています。この様な施設では、画像情報の施設間連携時に、CD-R等の可搬媒体を用いた電子的な情報の交換が必須となりますが、フィルムを用いた画像の受け渡しと比較して、見読性や互換性の面で数多くの問題点が浮上しています。

合同シンポジウムでは、可搬媒体を用いた情報交換を実際に行っている現場からの声とともに、可搬媒体を用いた画像情報の交換がどの様に為されれば問題が起きにくいかにについて、医療情報分野の専門家をお迎えし、ディスカッションする予定です。

また、平成22年春に出された、厚生労働省標準規格で推奨されている情報交換技術の解説やその運用法、多くの団体が連名で公開している合意事項についても解説を加えたいと考えておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

注1：本合同シンポジウムの参加には、第57回関東部会研究発表大会へのご登録が必要です。

注2：本合同シンポジウムは、ランチョン形式となっており、お弁当が用意されます。お弁当は先着順となっており、数に限りがありますことをご了承下さい。

以上

## 第32回埼玉消化管撮影研究会開催案内

第32回埼玉消化管撮影研究会を下記要領にて開催致します。

今回は来年度より実施されるNPO日本消化器がん検診精度管理機構の認定制度について、診療放射線技師部門の代表であります木村俊雄先生（早期胃癌検診協会）をお招きして講演を行って頂きます。新しい認定制度に興味がある方、胃がん検診および健診従事者の方など、ご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

### 記

日時：平成23年2月20日（日）  
 場所：大宮法科大学院大学 2階 講堂  
 JR大宮駅 徒歩5分（右図参照）  
 会費：500円



### プログラム

13:15～ 受付開始

13:30～14:50

(仮) NPO 日本消化器がん検診精度管理機構について

講師：木村 俊雄 先生（早期胃癌検診協会中央診療所）

\*\*\*\*\* 休憩 \*\*\*\*\*

15:00～15:30

胃がんX線検診 新しい基準撮影法

講師：工藤 泰 （早期胃癌検診協会中央診療所）

15:40～16:30

症例検討会

司会：今出 克利 （さいたま市民医療センター）

症例提供：大森 正司 （さいたま赤十字病院）

以上

※ 事前申し込みは不要です。

※ 会場には駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用下さい。

※ 日本消化器がん検診学会認定 胃がん検診専門技師 取得単位 参加者：2単位（年間）

共催：埼玉県放射線技師会・埼玉消化管撮影研究会  
 お問い合わせ：埼玉消化管撮影研究会 代表世話人  
 さいたま市民医療センター 今出 克利  
 TEL 048-626-0011（内線：7725）

## 第23回SAITAMA MRI Conferenceのご案内

謹啓

時下ますますご清祥の段、誠にお慶び申し上げます。

さて、下記の通り、SMCを開催する運びとなりました。

翌日の仕事から活かせる様な、フランクな情報交換の場にしたいと考えておりますので、皆様方には奮ってご参加下さいます様、お願い申し上げます。

謹白

SMC代表世話人 栗田 幸喜

— 記 —

日 時：平成 23年2月25日(金) 19:00～

場 所：仲町川鍋ビル 8F 会議室 (下図参照) <http://www.bandai-k.jp>

参加費：500円

### 【一般演題】19:00～

『頭部・脊椎のルーティン検査の施設ごとの状況』

発表施設：①田中 徹 (さいたま赤十字病院)

②岩井 悠治 (済生会栗橋病院)

### 【基礎講座】

『シーケンスを考える』続編

講師：済生会栗橋病院 渡邊 城大

### 【最新技術・最新画像】19:45～

『Multi Phase Transmission を搭載した 3TMRI の実際』

講師：東芝メディカルシステムズ(株)

関東支社 MR担当 金子 敏伸

### 【ワンポイントレクチャー】

『オートプシー・イメージング (Ai) における MRI 画像—技術的側面から—』

講師：筑波メディカルセンター病院：小林 智哉 先生

共催/SAITAMA MRI Conference

バイエル薬品株式会社

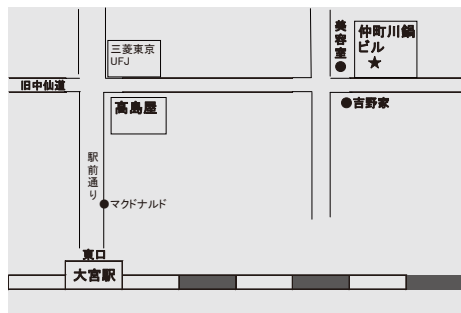
\* **磁気共鳴専門技術者更新のための研究会 (5単位) として認定**されております。

(当日、受付にて更新の為の個人票に押印致しますので、ご提示下さい)

\* 本件に関するお問い合わせは、各施設担当のバイエル薬品 MR もしくは

辰嶋 (090-1581-3244) までお問い合わせ下さい。

### 【会場地図】



住所：埼玉県さいたま市大宮区仲町 2-60 仲町川鍋ビル 8F

電話：048-641-5529

☆大宮駅東口より徒歩6分。

☆会場に駐車場はありません。お車の場合は周辺の時間貸駐車場をご利用ください。

## 沖縄乳癌勉強会のお知らせ



(社) 沖縄県放射線技師会  
会長 平良 淳勇  
沖縄乳房画像研究会  
代表 加藤 好伯

この度、下記の通り、沖縄乳房画像研究会と東京・埼玉医用乳房画像研究会の合同で勉強会を企画致しました。今回は臨牀的な幅広い内容とさせて頂いております。

多くの方のご参加お待ちしております。

---

### 記

---

主 催：沖縄乳房画像研究会 東京・埼玉医用乳房画像研究会  
共 催：日本赤十字放射線技師会 学術分科会  
日 時：3月5日（土）18：00（開場）  
18：30（開始）  
会 場：沖縄県総合福祉センター（首里石嶺）  
場 所：403号室  
内 容：18：30～19：15

#### 「乳癌診療における画像診断の役割」

東京・埼玉医用乳房画像研究会

診療放射線技師 田中 宏

19：30～20：30

#### 「乳癌の臨床」

二宮病院 副病院長

埼玉県立がんセンター 乳腺外科 二宮 淳

会 費：会員（500円）その他（1,000円）

問い合わせ：中部地区医師会立 成人病検診センター 加藤 好伯

098-936-8200

以上

沖縄乳房画像研究会：<http://blogs.yahoo.co.jp/omis123456789>

JART承認講習会となります。カウントを取得される方は技師各カードをご持参下さい。



## メールマガジン配信登録のご案内

(社) 埼玉県放射線技師会  
会長 小川 清

現在、埼玉県放射線技師会では、会員や会員が勤務する施設の運用に活用していただく目的で、数多くの情報を提供・発信しております。

例えば、厚生労働省から発信され、日本放射線技師会を經由し本会へ届いた情報や、本会からのお知らせ等がそれにあたります。

これらを年6回発刊の会誌やホームページを用いて、可能な限り速やかに提供しよう心がけておりますが、医療政策における展開の速さを鑑みると、会員からの閲覧がないと情報が伝わらないという媒体の性質上、リアルタイムに十分な機能を果たせているとは言えません。

そこで、会員の皆様には、技師会からの情報を「的確なタイミングで確実に」受け取る手段として、メールマガジンへの配信にご登録いただければと考えております。

メールマガジン配信登録方法は以下の通りとなっています。皆様のご登録をお待ちしております。

### ■メールマガジン配信登録

登録方法は2通りあります。

①ホームページ上からの申し込み。

[その他] のカテゴリから [メールマガジン購読希望] へアクセス。  
必要事項をご記入下さい。

②メールによる申し込み。

申し込み用メールアドレスに以下の内容を記入して送信下さい。

|                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 申し込み用アドレス：magazine_since2007@sart.jp<br>件名：メールマガジン申し込み<br>本文：(氏名)<br>(受信希望先のメールアドレス) |
|--------------------------------------------------------------------------------------|

※申し込み後自動返信にて確認メールが届きます。

### ■メールマガジンの停止・変更・質問等について

マガジンの停止・変更・質問等は以下のアドレス宛にご連絡下さい。

変更削除用アドレス：mail\_magazine2007@sart.jp

※申し込み用のアドレスと異なりますのでご注意下さい。


### ■個人情報の利用に関するお知らせ

ここで入力いただく利用者の個人情報（メールアドレス）は、メールマガジンの配信を目的として利用し、他の目的では利用いたしません。

## 社団法人日本放射線技師会への入会金ならびに再入会金の免除について

(社) 埼玉県放射線技師会  
会長 小川 清


この度、社団法人日本放射線技師会会長より、下記の通知が行われましたのでご高覧ください。



日放技発 第340号  
平成22年12月17日

〒331-0812  
さいたま市北区宮原町2-51-39  
社団法人埼玉県放射線技師会

会長 小川 清 様

社団法人日本放射線技師会  
会長 中澤 晴夫 

社団法人日本放射線技師会への入会金ならびに再入会金の免除について

拝啓 時下ますますご清祥の事と、お慶び申し上げます。  
平素は本会諸事業活動への多大なるご支援ならびにご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、本会では平成22年度第6回理事会（平成22年12月11日）におきまして、公益社団法人取得に向けた定款・諸規程の改定に向けた会員管理見直しならびに入会促進の一環として、下記のとおり入会金の緩和を決定いたしましたのでご周知の程よろしくお願いたします。

敬具

記

1. 各都道府県技師会のみ所属されている会員が本会へ入会（再入会）を希望する場合は、入会金（再入会金）は免除とする。
2. 会費滞納により本会を除籍となった元会員の再入会時にかかる未納会費の請求額は、最高2ヵ年度分までとする。
3. 上記の措置は平成22年12月11日より本会が公益認定を受けるまで、または平成23年度末（平成24年3月31日）までに入会申請を受付けた元会員までとする。

以上

# 総会資料

平成23年度事業計画（案）

平成23年度当初予算（案）

## 平成23年度事業計画（案）

### 1.はじめに

政治が停滞しております。国会は、音程のずれたオーケストラの如く、不協和音がやまない状況に陥り、議員はお互いの揚げ足取りに終始しております。国家の財政が破綻目前ということ、そして高齢化社会を迎えて医療費、介護費などの社会事業費の増額が必須の状態の中で、どうするのかという理念、今後の日本丸の進路が見えてきません。収入が減ってきた、でも現在受けているサービスは低下させてほしくない国民とその国民の付託を受けた議員から厳しいことが発せられず、すべての懸案事項が後送りされていることに日本の行く末が案じられます

現在において日本の国がおかれている状況は、当然、本会のような小さな法人組織にも同じように陥ってきます。新公益法人移行を目指して収益事業を見直し、公益事業を増やすべく検討をしてみましたがいりませんが、財政状況が厳しくなってきました。本会は社会の要請である「diversity多様性」に基づき、顧客（会員）満足という面から、どんな小さな事業でも、また集客数の得にくい事業でも実施してみましたがいりませんが、今後は収益面も含めた多面的な評価を実施して事業を遂行していくことが求められています。

公益社団法人への移行認定へ向けて定款変更の案を提案し、総会にて会員の皆様にご審議をいただき、承認を受けましたが、主務官庁から再提出という指導を受けております。定款改正について再度のご承認を受けることとなりますのでご協力のほどよろしく申し上げます。他医療職能団体に先駆けて進むゆえに、悩みも大きいですが、本会は「公益目的である県民のために」と「職能団体

の会員のために」をバランスよく調整し活動していきます

平成23年度事業計画案について、昨年と大きな変更はありませんが、昨年に引き続き放射線技師のスキルアップを目指して読影能力を向上させるための講習会を地区ごとに開催していきます。是非とも出不精な心にむち打って出席ください。またマネージメント・セミナーも毎回テーマを決めて定期開催し、リーダーの育成に一役買っていきつもりです。

本会は先人達によって昭和26年に発足した59年の歴史をもった組織です。今年度は本会創立60周年となり、ささやかですが記念祝賀会を計画しておりますので会員の皆様と一緒に60年の歴史を感じ、将来に思いを、また夢を馳せたいと思います。会員各位の変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

### 2.基本方針

- 1) 「*improvement*改善」と「*diversity*多様性」
- 2) 「*complete lifelong education*生涯教育の充実」
- 3) 「*study and investigation*研究と調査」
- 4) 「*cooperation*連携から*collaboration*協働」

### 3.事業計画

#### 3.1.職業人としての質の向上

- 1) 認定講習会・セミナーの定期開催と開催方法などの見直し
  - ・胸部撮影認定講習会

- ・ 上部消化管検査認定講習会
- ・ SARTセミナー
- ・ 放射線技術部門マネジメント・セミナー  
(医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成)
- ・ CT検査認定講習会
- ・ 読影力向上講習会 (地域開催セミナー・地区会と共催)
- ・ 放射線工業界との合同開催企画
- 2) 会員講師の育成と体制づくり
- 3) 他県放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
  - ・ 関東甲信越放射線技師学術大会への協力
  - ・ 埼玉県医師会主催事業への支援
  - ・ 埼玉臨床画像研究会
  - ・ 日放技学会関東部会との合同開催企画
  - ・ 日本放射線技師会学会との合同開催企画
  - ・ 他学会 (関東エリアレベル) 埼玉開催の推進 (開催支援、後援)
- 4) 研究会活動の見直し
- 5) アドバイザー (技術・業務支援) の創設・育成
- 6) 研修病院の創設
- 7) 医療被ばく線量の適正化

### 3.2. 組織運営に関わる事業

- 1) 会員データベースの再構築法の検討
- 2) 行政との連携・ 埼玉県医療整備課との頻繁な情報交換
- 3) 公益法人制度改革への対応・準備

### 3.3. 公益事業

- 1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- 2) 市民公開講座の開催
- 3) 医療画像展の開催と支援
- 4) 市民向けホームページの充実
- 5) 医療被ばく相談の迅速な対応

### 3.4. 情報

- 1) 会員向けホームページの充実
- 2) メールマガジンの有効利用
- 3) 学術データベースの構築

### 3.5. 財務

- 1) 健全財務状況の継続
- 2) 新公益法人会計基準への適応

### 3.6. その他

- 1) 役員外の会員登用によるプロジェクトチームの創設
- 2) 中長期計画の策定
- 3) 医療技術関係団体との連携
- 4) 技師会センター長期修繕計画の立案

ご審議のほどよろしくお願い致します



平成23年度当初予算（案）

自平成23年4月1日 至平成24年3月31日

社団法人 埼玉県放射線技師会

単位：円

| 科目           | 当年度予算額      | 前年度当初予算額     | 増減額          | 備考                    |
|--------------|-------------|--------------|--------------|-----------------------|
| 事業活動収支の部     |             |              |              |                       |
| 事業活動収入       | 16,075,000  | 18,115,000   | ▲ 2,040,000  |                       |
| 会費収入         | 11,645,000  | 11,645,000   | 0            |                       |
| 正会員会費収入      | 11,070,000  | 11,070,000   | 0            | @9000×1230            |
| 賛助会員収入       | 575,000     | 575,000      | 0            | @25000×23社            |
| 事業収入         | 4,240,000   | 6,310,000    | ▲ 2,070,000  |                       |
| 会誌広告料収入      | 1,740,000   | 2,500,000    | ▲ 760,000    | @120000×4社 @60000×21社 |
| 研修事業収入       | 2,000,000   | 2,000,000    | 0            | 各種認定講習会・マネジメントセミナー    |
| その他の事業収入     | 400,000     | 810,000      | ▲ 410,000    | 地域読影会・学術大会            |
| 福利厚生事業収入     | 100,000     | 1,000,000    | ▲ 900,000    | センター利用料               |
| 寄付金収入        | 0           | 0            | 0            | ソフトボール大会              |
| 一般寄付金収入      | 0           | 0            | 0            |                       |
| 一般寄付金収入      | 0           | 0            | 0            |                       |
| 雑収入          | 190,000     | 160,000      | 30,000       |                       |
| 受取利息収入       | 10,000      | 10,000       | 0            |                       |
| 雑収入          | 180,000     | 150,000      | 30,000       | 日放技業務委託費@150×1200     |
| 事業活動支出       | 15,550,000  | 17,898,000   | ▲ 2,348,000  |                       |
| 事業費支出        | 9,150,000   | 10,290,000   | ▲ 1,140,000  |                       |
| 学術・教育費支出     | 2,300,000   | 2,010,000    | 290,000      | 講習会・学術大会等             |
| 出版事業費支出      | 5,000,000   | 5,680,000    | ▲ 680,000    | 出張勉強会・SARTセミナー        |
| 連絡費支出        | 150,000     | 150,000      | 0            | 会誌印刷料・会誌郵送料           |
| 福利厚生費支出      | 400,000     | 1,200,000    | ▲ 800,000    | 郵送料                   |
| 調査事業費支出      | 100,000     | 300,000      | ▲ 200,000    | ソフトボール大会・慶弔費          |
| 公益事業費支出      | 1,200,000   | 950,000      | 250,000      | IT調査費等                |
| その他の事業費支出    | 750,000     | 1,488,000    | ▲ 738,000    | 医療画像展・公開講座・小冊子        |
| 表彰費支出        | 200,000     | 200,000      | 0            | 被曝相談等                 |
| 地区会連絡調整費支出   | 0           | 492,000      | ▲ 492,000    | 表彰状作成・記念品等            |
| 北関東地域技師会費支出  | 0           | 246,000      | ▲ 246,000    | 6地区 @400×1230         |
| 賃借料支出        | 550,000     | 550,000      | 0            | @200×1230             |
| 管理費支出        | 5,650,000   | 6,120,000    | ▲ 470,000    | リース代（コピー機・骨密度測定機）     |
| 給料手当支出       | 1,150,000   | 1,150,000    | 0            | 人件費                   |
| 会議費支出        | 1,000,000   | 1,200,000    | ▲ 200,000    | 理事会・常任理事会             |
| 旅費交通費支出      | 200,000     | 200,000      | 0            | 交通費                   |
| 通信運搬費支出      | 370,000     | 370,000      | 0            | 携帯電話利用料等              |
| 消耗什器備品費支出    | 200,000     | 300,000      | ▲ 100,000    |                       |
| 消耗品費支出       | 350,000     | 350,000      | 0            |                       |
| 修繕費支出        | 100,000     | 100,000      | 0            |                       |
| 光熱水料費支出      | 200,000     | 200,000      | 0            |                       |
| 租税公課支出       | 150,000     | 150,000      | 0            | 固定資産税・収入印紙代等          |
| 業務委託費支出      | 900,000     | 900,000      | 0            | 税理士顧問料等               |
| 支払手数料支出      | 300,000     | 300,000      | 0            | 振込手数料等                |
| 総会費支出        | 430,000     | 600,000      | ▲ 170,000    |                       |
| 保険料支出        | 150,000     | 150,000      | 0            |                       |
| 渉外費支出        | 100,000     | 100,000      | 0            |                       |
| 雑費支出         | 50,000      | 50,000       | 0            |                       |
| 事業活動収支差額     | 525,000     | 217,000      | 308,000      |                       |
| 投資活動収支の部     |             |              |              |                       |
| 投資活動支出       | 2,000,000   | 10,500,000   | ▲ 8,500,000  |                       |
| 特定資産取得支出     | 2,000,000   | 10,500,000   | ▲ 8,500,000  |                       |
| 記念行事積立資産支出   | 1,000,000   | 500,000      | 500,000      | 60周年記念行事              |
| 減価償却引当資産取得支出 | 1,000,000   | 10,000,000   | ▲ 9,000,000  |                       |
| 有形固定資産取得支出   | 0           | 0            | 0            |                       |
| 什器備品支出       | 0           | 0            | 0            |                       |
| 投資活動収支差額     | ▲ 2,000,000 | ▲ 10,500,000 | 8,500,000    |                       |
| 予備費          | 42,000      | 200,000      | ▲ 158,000    |                       |
| 当期収支差額       | ▲ 1,517,000 | ▲ 10,483,000 | 8,966,000    |                       |
| 前期繰越収支差額     | 1,517,000   | 12,000,000   | ▲ 10,483,000 |                       |
| 次期繰越収支差額     | 0           | 1,517,000    | ▲ 1,517,000  |                       |

## 平成23年度一般会計予算の概要について

会員の皆様におきましては、平素から当会の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

平成21年度、22年度は、一般会計予算の内容を予算書だけでなく、概要についても文章でご説明させていただきました。平成23年度につきましても前年度同様、ご説明させていただきます。

平成23年度一般会計予算につきましては、本年10月までの事業の実施状況と予算執行状況をふまえ、次年度の事業計画にもとづき作成いたしました。

次年度予算において大きく変更のあったものにつきましてご報告させていただきます。

### 1 事業収入について

平成23年度の事業収入につきましては、会誌広告料収入・その他の事業収入・福利厚生事業収入それぞれが減額となりました。会誌広告料収入については広告掲載申込の減少と掲載広告の縮小などにより、昨年度の予算額を大きく下回りました。その他の事業収入では、いままで技師会センター2階部分の賃貸の収入がありましたが、次年度ではこの分の収入がなくなるため減額となっております。また、福利厚生事業収入につきましては例年行っておりました賀詞交換会を60周年記念式典と合わせて行う予定でありますので、こちらの会計については特別会計として別枠で収支の計上をいたします。

### 2 事業費・管理費支出について

福利厚生費支出につきましては、収入同様、賀詞交換会の支出が特別会計枠となりますので、この分が減額となります。地区連絡調整費支出につきましては、次年度より当会の会計に含め処理を行っていくため学術・教育費支出、公益事業支出へそれぞれ振り分け予算立てを行っておりません。したがってこの振り分け分がそれぞれの支出で増額となっております。また、北関東技師会費支出につきましても次年度より廃止の方向とのことで予算立てはしておりません。

### 3 投資活動支出について

投資活動支出につきましては今年度と同様、次年度も記念行事積立資産支出で60周年記念行事のための積立を行います。また、今年度の繰越収支差額が1,000,000円強となると予想されますので、この分が遊休財産とならないよう減価償却引当資産取得支出として積立を行います。

以上が平成23年度一般会計予算の概要となります。

ご審議のほどよろしく願いいたします。



# 第26回埼玉放射線学術大会

## プログラム集

テーマ

「希望」 ～10年先の未来へ～

開催日 平成23年3月13日

会場 日本医療科学大学

## 第26回埼玉放射線学術大会

日 時：平成23年3月13日（日） 9:00～15:30

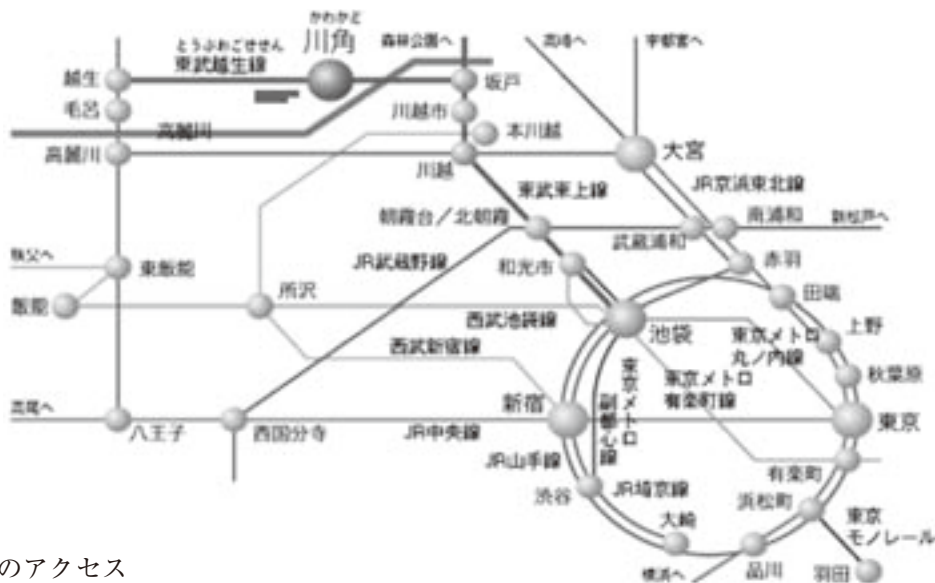
受付開始：8:30～

場 所：日本医療科学大学

〒350-0435 埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276

主 催：社団法人 埼玉県放射線技師会

### ■会場までの交通（電車）案内図■



電車でのアクセス

池袋から東武

●東武越生線「川角駅」下車 徒歩10分

川角駅までの主要駅からの所要時間（乗り換え時間を除く）

- ・東武東上線「池袋駅」から約55分
- ・東武東上線「川越駅」から約25分
- ・西武新宿線「所沢駅」から約60分
- ・JR埼京線「大宮駅」から約50分
- ・JR武蔵野線・京浜東北線「南浦和駅」から約50分

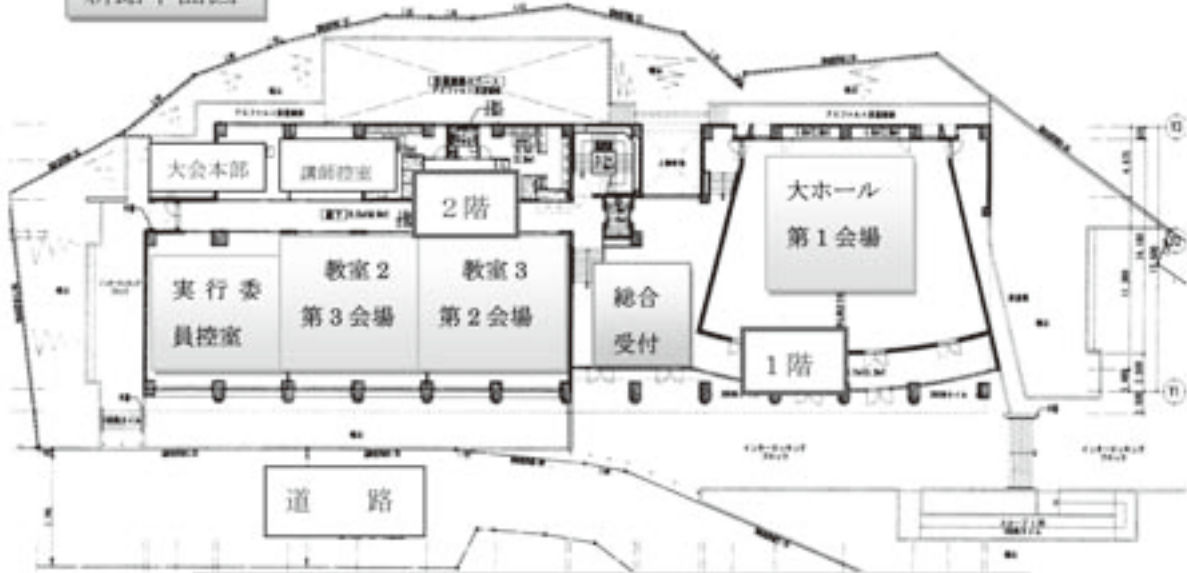
●自動車の場合

- ・関越自動車道鶴ヶ島インターから約20分
- ・圏央道鶴ヶ島インターから約20分



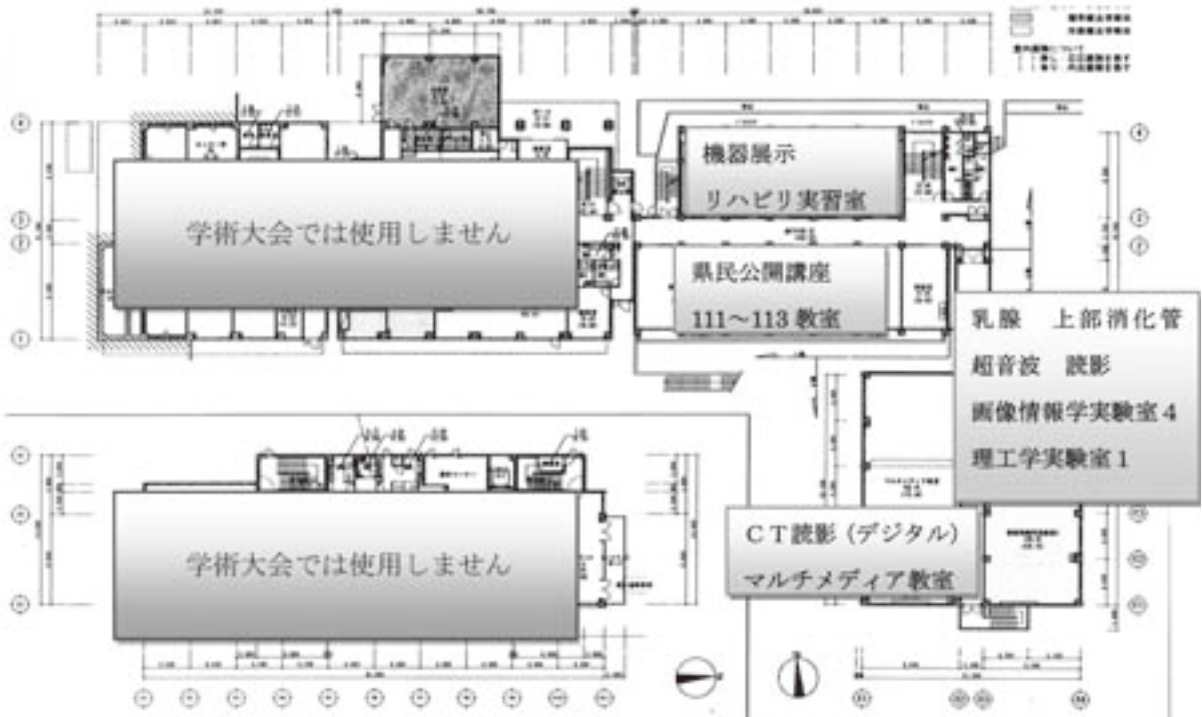
第26回埼玉放射線学術大会会場案内図

新館平面図



新館平面図：総合受付 第1～3会場 大会本部 講師控室

旧館平面図



機器展示 県民公開講座 読影コーナー

## 第26回埼玉放射線学術大会プログラム

### テーマ 「希望」 ～10年先の未来へ～

| 時間                  | 第1会場<br>新館1階メインホール                                                     | 時間                  | 第2会場<br>新館2階 教室3                                 | 時間                  | 第3会場<br>新館2階 教室2                                                  | 県民公開講座<br>旧館<br>111、112教室                                       | 機器展示<br>旧館 リハビリ<br>テーション実習室                                              | フィルムリーディング<br>旧館 マルチメディア<br>教室<br>理工学実験室1<br>画像情報学実験室4 |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------|---------------------|--------------------------------------------------|---------------------|-------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 8:30<br>～<br>9:15   | 受付開始<br>(新館エントランス)                                                     |                     |                                                  |                     |                                                                   |                                                                 |                                                                          |                                                        |
| 9:15<br>～<br>9:25   | 開会式                                                                    |                     |                                                  |                     |                                                                   |                                                                 |                                                                          |                                                        |
| 9:25<br>～<br>10:25  | 大会セッション1<br>「学生、現役技師会<br>合同セッション」<br>座長 越沼 沙織                          | 9:30<br>～<br>10:10  | 演題群 I (一般)<br>4演題<br>座長 佐々木 健                    | 9:30<br>～<br>10:00  | 演題群 III (CT1)<br>3演題<br>座長 鈴木 佳也                                  | 骨密度測定<br>(超音波)<br><br>医療被曝相談<br><br>他<br><br>9:30<br>～<br>15:30 | 機器<br>展<br>示<br><br>賛<br>助<br>会<br>員<br>各<br>社<br><br>9:30<br>～<br>15:00 | フ<br>ィ<br>ル<br>ム<br>リ<br>ー<br>デ<br>ィ<br>ン<br>グ         |
|                     |                                                                        | 10:10<br>～<br>10:40 | 演題群 II (RI・MMG・<br>教育) 3演題<br>座長 大森 正司           | 10:00<br>～<br>10:30 | 演題群 IV (CT2)<br>3演題<br>座長 城處 洋輔                                   |                                                                 |                                                                          |                                                        |
| 10:40<br>～<br>11:20 | 特別講演<br>「日本放射線技師会の現<br>状と今後」<br>司会 橋本 里見<br>講師<br>日本放射線技師会<br>副会長 小川 清 |                     |                                                  |                     |                                                                   |                                                                 |                                                                          |                                                        |
| 11:20<br>～<br>12:10 | 予算総会                                                                   |                     |                                                  |                     |                                                                   |                                                                 |                                                                          | 解説<br>(学生対象)                                           |
|                     |                                                                        | 12:10<br>～<br>13:10 | ランチョンセミナー1<br>エーザイ(株)<br>「海外学会の過ごし方」<br>演者 富田 博信 | 12:10<br>～<br>13:10 | ランチョンセミナー2<br>(株)第一三共<br>司会 西山 史朗<br>「リスクマネージメン<br>ト」<br>演者 手塚 一明 |                                                                 |                                                                          | 乳腺<br>消化管<br>超音波<br>胸部CT<br>9:30<br>～<br>15:00         |
| 13:20<br>～<br>14:00 | 学生演題群 I<br>4演題<br>座長 堀江 好一                                             |                     |                                                  |                     |                                                                   |                                                                 |                                                                          |                                                        |
| 14:00<br>～<br>15:30 | 大会セッション2<br>「私はこうしてチーム医<br>療の一員となった」<br>座長 田中 宏                        | 14:00<br>～<br>15:30 | テクニカルディスカッ<br>ション「乳腺」<br>座長 新島 正美                | 15:00               |                                                                   |                                                                 |                                                                          |                                                        |
| 15:30               | 閉会式                                                                    |                     |                                                  |                     |                                                                   |                                                                 |                                                                          |                                                        |

## 参加登録手続きについて

登録手続きは、午前8時30分より新館エントランス「大会受付」にて開始します。

### ●登録受付時間

8:30~14:30

### ●参加登録費

|      |        |
|------|--------|
| 埼玉会員 | 1,000円 |
| 他県会員 | 1,000円 |
| 賛助会員 | 1,000円 |
| 学生   | 無料     |
| 非会員  | 2,000円 |

### ●登録方法

- ①埼玉放射線技師会会員の方は会員カードをご持参下さい。
- ②参加登録票にご記入の上、大会受付にご提出ください。
- ③イベントパスをお渡ししますので、会期中は必ず着用をお願いします。(要返却)

## 演題発表要綱

### I 口述演題発表

#### 1. 発表方法

- ① 口述7分（口述終了1分前に緑ランプが点灯、終了時に赤ランプが点灯します）。
- ② 口述発表は、PowerPoint等によるPC発表のみとします。
- ③ 動画がある場合とMacintoshをご利用の場合、ご自身のPCをお持ち込みください。
- ④ 発表データは、CD-R、USBメモリー（ともにWindows限定）でお持ち込みください。それ以外のメディアは受付できませんのでご注意ください。
- ⑤ 発表データ登録は、セッション開始30分前までに下記会場にて済ませてください。また、発表時間の15分前までに次演者席にご着席ください。
- ⑥ プログラムの円滑な進行のため、時間厳守をお願いします。
- ⑦ 会場では各演者ご自身で演台上の機材を用いてスライドの操作をしていただきます。（係員もおりますので、ご不明な点はお尋ねください）
- ⑧ 発表は1面投影です。

#### 2. 演題受付

場 所：新館エントランス「大会受付」に演者受付を設置いたします。

時 間：3月13日（日）午前8時30分より開始

#### 3. 発表者の方へ

##### ■パソコンを持ち込まれる方へ

- ① OSは、Windows（Windows2000以降）またはMacintosh（Mac OS 9以降）の双方に対応します。
- ② 演者受付でケーブルの接続を確認してください。
- ③ 事務局ではD-sub15ピン（ミニ）のケーブルを用意します。
- ④ 一部のPCでは本体付属のコネクターが必要な場合がありますので、必ず持参してください。
- ⑤ 事前に各自（自宅・職場等）のPCから外部モニターに正しく出力できることを確認してください。個々のPCやOSにより設定方法が異なります。
- ⑥ 画面の解像度はXGA（1024×768、60Hz）です。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れてしまったり、映らない場合がありますのでこのサイズ以外の解像度の使用はお控えください。
- ⑦ スクリーンセーバーと省電力設定は事前に解除しておいてください。
- ⑧ 会場にて電源コンセントをご用意しておりますので、PC用ACアダプター等、電源コードを必ずお持ちください。
- ⑨ 念のためバックアップデータとして、CD-RもしくはUSBデータを必ずお持ちください。データ形式等は、以下の「データを持ち込まれる方へ」をご参照ください。

- ⑩ 発表後は、会場内（発表演台の近くにオペレータがおります）にて、PCを返却いたします。

■データを持ち込まれる方へ

- ① 事務局で用意するPCのOSは、Windows XPです。
- ② プレゼンテーションソフトは、Microsoft PowerPoint 2003をご用意します。フォントはOS標準のもののみをご用意します。これ以外のフォントを使用した場合は、文字・段落のずれ・文字化け・表示されないなどのトラブルが発生する可能性があります。  
Microsoft PowerPoint 2007をお使いの方はPowerPoint 2003へのバージョンダウンをお願いいたします。
- ③ お持ち込みいただくメディアは、CD-RもしくはUSBメモリーでお願いします。
- ④ 発表データをCD-Rにコピーする時には、ファイナライズ（セッションのクローズ・使用したCDのセッションを閉じる）作業を必ず行ってください。この作業が行われなかった場合、データを作成したPC以外でデータを開くことができなくなり、発表が不可能になります。パケットライト方式のCD-Rは使用できません。
- ⑤ 持ち込まれるメディアには、当日発表のデータ（完成版）以外入れないようにしてください。
- ⑥ 必ず事前にご自身でウイルスチェックを行ってください。
- ⑦ 大会終了後、4月30日までに発表後抄録の提出をお願いいたします。

II 一般演題座長の皆さまへ

- ① 新館エントランス「大会受付」にて大会参加登録をお願いします。
- ② 担当セッション開始20分前までに新館エントランス「座長受付」で受付を済ませ、次座長席にご着席ください。
- ③ 各セッションの進行に関しましては、担当の座長に一任いたしますので、割り当て時間を厳守していただきますようお願いいたします。
- ④ 大会終了後、4月30日までに座長集約の提出をお願いいたします。

III ランチョンセミナー講師の皆さまへ

- ① ランチョンセミナー講師の方は大会登録は必要ありません。
- ② 担当講演開始30分前までに新館エントランス「講師受付」にて受付をお願いします。
- ③ 受付後は、担当係員がご案内します。

IV ランチョンセミナー座長の皆さまへ

- ① 新館エントランス「大会受付」にて大会参加登録をお願いします。
- ② 担当講演開始30分前までに、講師同様、新館エントランス「座長受付」にて受付をお願いします。
- ③ 受付後は、担当係員がご案内します。



V テクニカルディスカッションの演者・座長の皆さまへ

- ① 新館エントランス「大会受付」にて大会参加登録をお願いします。
- ② 新館エントランス「講師受付」にて受付をお願いします。
- ③ 受付後は、担当係員がご案内します。
- ④ 大会終了後、4月30日までに座長集約及び発表後抄録の提出をお願いいたします。

VI 発表後抄録について

- ① 一般演題演者、一般演題座長、テクニカルディスカッション演者、テクニカルディスカッション座長の皆さまは4月30日までに発表後抄録の提出をお願いいたします。
- ② 一般演題演者の皆さまはMicrosoft Word、A4 1ページ以内でお願いいたします。
- ③ 一般演題座長、テクニカルディスカッション演者、テクニカルディスカッション座長の皆さまはMicrosoft Word、A4 2ページ以内でお願いいたします。
- ④ 発表後抄録の送付は電子メールのみとし、送付先は下記の通りとします。

提出先： 〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39  
 社団法人 埼玉県放射線技師会 学術 宛  
 E-mail : h-tomita@sart.jp

## ■大会セッション1

1F 第1会場 9:25~10:25

## 学生から見た診療放射線技師像と 現役から見た実際の現場を踏まえた 診療放射線技師像について

座長 済生会習志野病院 越沼沙織

診療放射線技師養成学校に入り、どんな技師になりたいか、どんな病院で働きたいか、どのモダリティをやりたいか等、一度は考えると思います。そして、診療放射線技師になってみて、理想通りの人、理想と違う人、様々だと思います。そこで、現役の学生さんから理想の診療放射線技師像をお話していただき、現役でSpecialist（スペシャリスト）、Generalist（ゼネラリスト）として活躍されている診療放射線技師から実際の現場についてお話していただきます。これから診療放射線技師を目指していく学生さんに参考としていただけるように企画しました。会場でのディスカッションも予定しています。

皆さまの参加をお待ちしています。

■テクニカルディスカッション

2F 第2会場 14:00~15:30

## 乳腺検査

座長 埼玉協同病院 新島 正美

演者 小川赤十字病院 江守 亜矢子  
 大塚プレストクリニック 堀江 直子  
 熊谷総合病院 白石 広子

近年、乳癌の罹患者数は増加しており、年間4万人にのぼり、死亡者数も1万人を超えています。日本人女性の16人に1人が乳がんにかかるとの報道もありますが、乳がん検診受診率は20%と低いのが現状です。逆に考えれば、受診者はまだまだ増加するといえます。そこで、今回のテクニカルディスカッションでは乳腺検査の基本にたちかえり、マンモグラフィ標準撮影法、超音波検査法、マンモグラフィ追加撮影法について行ないます。

病変を見つけるための存在診断はもちろん、病変の性質や範囲を知るための性状診断を経て治療方針が決定されます。日常の乳腺検査を行うためには、カテゴリー分類だけでは診断に不十分であるケースを経験します。乳腺検査の流れや診断方法、治療方法を理解したうえで我々が検査を行い、患者さん1人1人の診断を決定するとともに今後を決めるための画像をいかに提供できるかが大切となります。

今回の基本的な3つの検査方法の重要性をパネリストと参加者の皆さんでディスカッションしていきたいと思います。

乳腺検査に興味のある方やこれから乳腺検査を始める方、検診やドック健診に従事している方、学生、初級者や上級者などの経験は問いませんので、是非ご参加ください。

■ランチョンセミナー1・2

2F 第2会場 12:10~13:10  
エーザイ(株)

2F 第3会場 12:10~13:10  
(株)第一三共

MEMO

MEMO section with horizontal dashed lines for writing.

Vertical sidebar menu with items: 巻頭言, 公示, 告知, お知らせ, 総会資料, 学術大会, 共同企画, 学術特集, (学術)原著, 動本会, 各地区的, 自由投稿, 議事録, 動会員の, 役員名簿, 投稿規定, ショールーム, 申込書

■大会セッション2

1F 第1会場 14:00~15:30

## 私はこうしてチーム医療の一員となった

座長 (社) 埼玉県放射線技師会  
常任理事 田中 宏

平成22年4月30日付けで厚生労働省医政局長から各都道府県知事宛に「医療スタッフ協同・連携によるチーム医療の推進について」の通達があった。その中で診療放射線技師については以下の行為が明記された。

- ・ 画像診断における読影の補助を行うこと
- ・ 放射線検査等に関する説明・相談を行うこと

今、私たち診療放射線技師に最も必要なことは医師を含めた医療スタッフとの信頼関係を築くことである。その為には患者の情報を共有し、医療の協同作業が必要不可欠である。

どのようにして信頼関係を構築すればよいか、その為には何をしなければならないか、会場の皆様と活発なディスカッションができれば幸いである。

### 演者

1. 小川赤十字病院 松本 洋栄 (まつもと ひろえ)



技師歴19年

検診マンモグラフィ撮影認定技師 第1種放射線取扱主任者  
放射線管理士

2. さいたま赤十字病院 岡田 智子 (おかだ さとこ)



技師歴3年

検診マンモグラフィ撮影認定技師

3. 丸山記念総合病院 木村 浩明 (きむら ひろあき)



技師歴8年

検診マンモグラフィ撮影認定技師

4. 済生会川口総合病院 志藤 正和 (しとう まさかず)



技師歴10年

第1種放射線取扱主任者 放射線機器管理士 放射線管理士  
医用画像情報管理士 医療情報技師





# 県 民 公 開 講 座

第26回埼玉放射線学術大会

## 頸動脈超音波について

講師：田中 宏氏（埼玉県放射線技師会 常任理事）

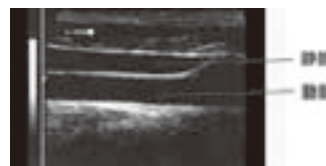
**入場無料**お気軽にお越し下さい！

日時：平成23年**3月13日**（日）

第1回目 9：30～9：50

第2回目 10：30～10：50

会場：日本医療科学大学 旧館1階 111-113教室  
埼玉県入間郡毛呂山町下皮原1276 049-294-9000（代表）



当日は「頸動脈の超音波測定」と「骨密度測定」を無料で体験できます。

入場  
無料

主催 社団法人 埼玉県放射線技師会  
問い合わせ先 TEL 048-664-2728 (9:00～15:00)  
月～金(祭日を除く)

■一般演題目次

■一般

演題群 I

2F 第2会場 9:30~10:10

座長 上尾中央総合病院 佐々木 健

① 腰椎正面撮影時における線量管理指標の検討

済生会川口総合病院 豊田 奈規

② REX値について -検出器到達線量とREX値の関係-

済生会川口総合病院 丸 武史

③ 手術時における体内異物残存確認を目的としたX線撮影とその評価に関する検討

埼玉県立小児医療センター 北井 亜梨沙

④ CT画像を用いた一般撮影ポジショニングマニュアル作成の試み

埼玉医科大学病院 櫻井 葵

■RI・MMG・教育

演題群 II

2F 第2会場 10:10~10:40

座長 さいたま赤十字病院 大森 正司

⑤ 123I-IMPを用いた小児脳血流シンチにおけるARG法とFU法の比較検討

埼玉県立小児医療センター 辻村 明日香

⑥ ステレオガイド下マンモトーム生検における集計と追跡調査-

埼玉医科大学病院 小川 真理子

⑦ 埼玉県内の診療放射線技師における卒後教育の調査

埼玉県放射線技師会第6地区 榎本 雅彦

■一般演題目次

■CT①

演題群Ⅲ

2F 第3会場 9:30~10:00

座長 埼玉医科大学総合医療センター 鈴木 佳也

⑧ 当院撮像プロトコルにおける冠動脈CT被曝線量の現状

所沢ハートセンター 柴 俊幸

⑨ 高心拍数冠動脈CTに対するLow Beam Pitch撮影プロトコルの使用経験

所沢ハートセンター 柴 俊幸

⑩ 心電図同期Axial scanに於ける被曝低減に向けた至適Padding timeの検討

上尾中央総合病院 滝口 泰徳

■CT②

演題群Ⅳ

2F 第3会場 10:00~10:30

座長 済生会川口総合病院 城處 洋輔

⑪ スムーズフィルタ処理の物理特性

埼玉医科大学病院 高橋 忍

⑫ バックボードが頭部CT画像の物理特性に与える影響

埼玉医科大学総合医療センター 大根田 純

⑬ 回転中心外における四肢CTのASiRを用いた画質改善の検討

上尾中央総合病院 石井 建吏

■学生演題目次

■学生セッション

学生演題群 I

1F 第1会場 13:20~14:00

座長 社会保険大宮総合病院 堀江 好一

① 乳癌の乳房温存術後高線量率組織内照射について

日本医療科学大学 磯野 麻衣子

② 甲状腺摂取率測定とその症例について

日本医療科学大学 長谷川 彩

③ 心臓カテーテル検査における被曝線量について

日本医療科学大学 梅掘 貴史

④ Hepatocellular carcinomaにおけるTranscather arterial embolizationについて

日本医療科学大学 小谷 智一

# 一般演題抄録

セッション I～IV

巻頭言

公示

会告

お知らせ

総会資料

学術大会

共同企画

学術特集

(学術)  
原著

動本  
会  
き  
の

掲各  
示地  
板区

自由  
投稿

議  
事  
録

動会  
員  
向  
の

役員  
名簿

投稿  
規定

シ年  
コ間  
ールス  
ルケ

申F  
込A  
書X

### 1 腰椎正面撮影時における線量管理指標の検討

○豊田 奈規 丸 武史 土田 拓治 佐々木 正幸  
 済生会川口総合病院

#### 【要旨】

〔目的〕 X線感度指標値（以下REX値）が線量管理の指標にできるかを腰椎正面撮影時において検討する  
 〔方法〕 PMMAファントムとボランティアの被写体厚特性、REX値をそれぞれ比較した  
 〔結果〕 腹厚と線量の良い相関がとれ、REX値も400付近の値をとった  
 〔結語〕 今回、階調曲線はリニアに設定した。実際の現場では階調曲線を変化させていて、それによりREX値は変動する。今後は臨床画像の適応について検討したい。

### 2 REX値について 一検出器到達線量とREX値の関係一

○丸 武史 豊田 奈規 土田 拓治 佐々木 正幸  
 済生会川口総合病院

#### 【要旨】

〔目的〕 装置のX線感度指標値を用いて、検出器到達線量の管理が行えるか検討した。  
 〔方法〕 X線感度指標値（キヤノン社製CXDIの固有感度指標値；以下REX値）と検出器到達線量の関係を調べた。  
 〔結果〕 REX値と検出器到達線量の直線性は確認できた。  
 〔考察〕 本検討によりREX値は線量管理の指標に利用できる。

### 3 手術時における体内異物残存確認を目的としたX線撮影とその評価に関する検討

○北井 亜梨沙 藤田 茂 田中 宏 原田 昭夫  
 埼玉県立小児医療センター

#### 【要旨】

一般的に手術時の体内異物残存は、手術に関連した医療事故の上位を占めており、その防止対策の一手段として必要時にX線撮影が実施されている。そこでわれわれは、体内異物残存の確認を目的としたX線撮影について、手術時に使用される物品をリストアップし、肺野と縦隔についてX線フィルム上の描出能を検討した。処理条件は当センターで通常使用されているパラメータを使用した。

### 4 CT画像を用いた一般撮影ポジショニングマニュアル作成の試み

○櫻井 葵 和田 幸人 平野 雅弥  
 後藤 正樹 河崎 浩明 高橋 将史  
 埼玉医科大学病院

#### 【要旨】

当院では、撮影技術の修得を目的とした一般撮影マニュアルを作成し活用しているが、関節撮影においては再撮影の割合が比較的高いため、ポジショニングの修正には経験を必要とする。そこで、MDCTで撮影したデータをRay sum（ray summation）法を利用し3D表示させ、単純X線写真に類似した画像を作成した。この画像を利用して、角度の違いによる修正パターンを取り入れたマニュアルを作成したので報告する。



**5 123I-IMPを用いた小児脳血流シンチにおけるARG法とFU法の比較検討**

○辻村 明日香 田中 宏 松本 慎 原田 昭夫  
 埼玉県立小児医療センター

**【要旨】**

123I-IMP脳血流シンチの脳血流測定法は動脈採血を用いるAutoradiography (ARG) 法や投与直後の脳・肺から全脳摂取率を求め脳血流量を推定するFractional Uptake (FU) 法がある。当院では検査対象患児の約8割が乳幼児のため精度の良い動脈採血が困難な場合がある。動脈採血が困難な場合、ARG法より低侵襲なFU法から推定した値が小児脳血流量として有用であるか検討した。

**6 ステレオガイド下マンモトーム生検における集計と追跡調査**

○小川 真理子 橋本 利恵子 安江 章則  
 山崎 富雄 和田 幸人  
 埼玉医科大学病院

**【要旨】**

当院では、マンモトーム装置が導入されてから約5年間、計86名の検査を施行してきた。マンモトーム検査毎に次回への課題や検査内容の反省等を話し合う目的の為、生検結果の確認、石灰化の位置、形態、分布、カテゴリー分類等を集計してきた。生検結果が悪性となった組織に対しては、生検病理と手術後の病理を比較し、良性となった組織に対しては、最大5年間の追跡調査を行ってきた。今回この結果について報告する。

**7 埼玉県内の診療放射線技師における卒後教育の調査**

○榎本 雅彦 横山 寛 辻村 明日香  
 佐々木 健 北沢 健司 石川 直哉  
 埼玉県放射線技師会第6地区

**【要旨】**

診療放射線技師（以下技師）における学生教育は、各種学校から大学へと変わり、近年では社会人修士を取得する機会が増えた。しかしながら、卒後新人教育および生涯教育のシステムは職場ごとに異なるのが現状である。そこで、埼玉県内の会員の勤務する職場を対象とし教育システムのアンケート調査を行ったので報告する。

## 8 当院撮像プロトコルにおける冠動脈CT被曝線量の現状

○柴 俊幸 大西 圭一  
所沢ハートセンター

### 【要旨】

機器の発達により件数が増加傾向にある冠動脈CTであるが、被曝線量の高さが指摘されているものの、その撮影条件は標準化されていない現状があり、メーカー推奨条件や経験により撮影条件を決定していることが多く見受けられる。施設により使用機器や検査目的は様々であるが、施設間の撮影条件の適正化の一助を目的として当院プロトコルを提示するとともに、過去に行った検査の被曝線量の現状を報告する。

## 9 高心拍数冠動脈CTに対するLow Beam Pitch撮影プロトコルの使用経験

○柴 俊幸 大西 圭一  
所沢ハートセンター

### 【要旨】

近年、2管球装置やガントリ回転速度の向上により冠動脈CTにおける時間分解能が向上し、心拍数の適応も広がったが、64列single source MDCTでは高心拍数症例においては未だ時間分解能不足による評価不能症例が認められる。そこで時間分解能向上を目的とし、従来よりもBeam Pitchを小さくしたLow Beam Pitch CTプロトコルを高心拍数症例に対して試みたため、その使用経験を報告する。

## 10 心電図同期Axial scanに於ける被曝低減に向けた至適Padding timeの検討

○滝口 泰徳 佐々木 庸浩 佐々木 健  
太田 陽一郎 佐々木 和義 田中 武志  
上尾中央総合病院

### 【要旨】

当院では、平成21年8月よりGE社製64列CT装置のバージョンアップに伴い心電図同期Axial scanによる撮影が可能となった。これによりHelical scanに比べ被曝低減となることは明らかだが、更なる被曝低減に向けた心拍数毎のPadding timeの検討を行ったので報告する。

### 11 スムーズフィルタ処理の物理特性

○高橋 忍 林 洋希 紀陸 剛志 岡本 泰正  
戸矢 雅人 渡部 進一 和田 幸人  
埼玉医科大学病院

#### 【要旨】

CT検査では、X線管球に掛かる連続した過度な高負荷によりノイズ増加を招き、撮像画像にて、低コントラスト分解能の著しい低下がみられる事がある。低コントラスト分解能向上の為のフィルタ処理として、シーメンス社製装置では、ASA、LCEの2種のスムーズフィルタ処理があり、このフィルタ処理の物理特性について検討したので報告する。

### 12 バックボードが頭部CT画像の物理特性に与える影響

○大根田 純 中根 淳 河原 剛 小林 芳春  
埼玉医科大学総合医療センター

#### 【要旨】

外傷初期診療ガイドラインの付属DVDにおいて、切迫するDysfunction of CNSに対するSecondary surveyでバックボードを外さずに頭部CTを施行するシナリオが示されている。しかし当院における高度救命救急センターでは日常的にバックボードを外してCT検査が施行されている。そこで頭部CTにおいてバックボード本体及びその付属品が画像に与える影響を把握する為、CT性能評価用ファントムを用いて物理特性を測定し検討したので報告する。

### 13 回転中心外における四肢CTのASiRを用いた画質改善の検討

○石井 建史 佐々木 庸浩 佐々木 健  
佐々木 和義 田中 武志  
上尾中央総合病院

#### 【要旨】

当院では整形外科の手術前、医師によって3D画像を作成することが多くなっている。そのため、以前は精細な3D画像を作成し提出していたが、今後は3D作成に適したAxial画像を提出する必要がある。しかし、四肢CTでは回転中心に患部を配置できないことが多く、画像の劣化を伴ってしまう。そこで、今回は逐次近似法を応用した画像再構成法（ASiR）による四肢CTの画質改善を目的とし、検討を行ったので報告する。

# 学生演題抄録

### 1 乳癌の乳房温存術後高線量率組織内照射について

○磯野 麻衣子 市川 真澄 中谷 儀一郎 望月 安雄  
 上田 大輔 中村 修 浦橋 信吾  
 日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科

#### 【要旨】

乳癌温存術後の予防照射としてAPBIは治療日数が5日と少なく、腫瘍に限局して照射するため皮膚や肺などのリスク臓器の被曝線量を抑制でき、整容性がよいという利点がある。しかし、麻酔薬によるアレルギーや感染症といった欠点がある。現在は臨床試験の段階なので治療法として確定はしていないが、将来有用な治療法になると考察できた。

### 2 甲状腺摂取率測定とその症例について

○長谷川 彩香 市川 真澄 中谷 儀一郎 望月 安雄  
 上田 大輔 新藤 博明 坂本 重巳  
 日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科

#### 【要旨】

$^{99m}\text{TcO}_4^-$ を用いた場合のカウントと $\text{Na}^{123}\text{I}$ カプセルを用いた場合のカウントを測定し、それぞれ測定したカウントから甲状腺摂取率を算出した。その後症例を比較し、 $^{131}\text{I}$ 治療についての評価を行った。考察の結果、 $^{99m}\text{TcO}_4^-$ は甲状腺機能低下症、 $\text{Na}^{123}\text{I}$ カプセルでは甲状腺機能亢進症が適していると考えられる。

### 3 心臓カテーテル検査における被曝線量について

○梅掘 貴史 中谷 儀一郎 望月 安雄  
 市川 真澄 上田 大輔 小川 互  
 日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科

#### 【要旨】

近年、食の欧米化などに伴い、虚血性の心疾患が増加傾向にある。外科手術などと比べて侵襲性が少なく、身体への負担も少ない心臓カテーテルによる検査や治療が多く行われている。しかし、X線の透視下で術式が行われるため、X線被曝が問題となっている。そこで、実際に心臓カテーテル検査ではどれほど被曝しているのかを測定し考察した。

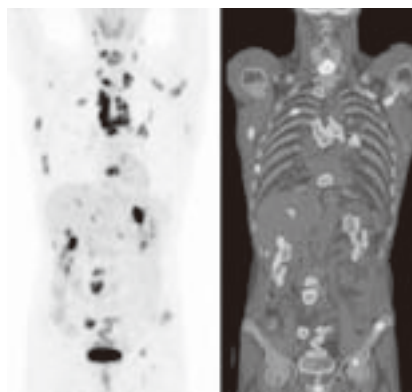
### 4 Hepatocellular carcinomaにおける Transcather arterial embolizationについて

○小谷 智一 鈴木 保 中谷 儀一郎 望月 安雄  
 市川 真澄 上田 大輔 岡本 浩  
 日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科

#### 【要旨】

血管造影室はチーム医療の観点からとても興味を持ったと共に、技師が重要な役割を担っている。中でもTAEはHCCにおいて外科的アプローチと同等の治療効果を有し、かつ低侵襲で患者の身体的負担も少ないことから今後も需要が高まると考えられ、その知識を深めることは大切であると思ひ考察した。

## 【埼玉放射線】への共同企画



## 埼玉核医学技術研究会の紹介

代表世話人

戸田中央総合病院 大川 健一

## ○はじめに

この度、埼玉県放射線技師会常任理事の松田恵雄氏より「核医学に携わっていない埼玉県放射線技師会の会員に我々の活動報告ができる良い機会ではないか」とお話をいただき「埼玉放射線」への共同企画として今回「当研究会の紹介」、「埼玉核医学技術研究会所属の施設紹介」、「研究会設立30周年記念大会開催の案内」を投稿させていただきます。

気軽に参加できる研究会ですので埼玉県放射線技師会の皆様をはじめ、核医学に興味のある方の参加を、世話人一同お待ちしております。

## ○研究会の軌跡

埼玉核医学技術研究会の誕生は、昭和55年（1980年）10月9日に和田一之氏（丸山記念病院：当時）と関守雄氏（埼玉医科大学：当時）が中心となって埼玉医科大学附属病院にて研究会第1回が開催されています。また埼玉県放射線技師会会長である小川清氏も発足当初メンバーの1人です。

第1回 埼玉核医学技術研究会（昭和55年10月9日）

- 演題 1. スキャナとカメラの比較検討 関 守雄  
2. 核医学イメージングの規格化に関する勧告 関 守雄

開催当時は、検査を施行している施設は少なく『こぢんまり』とした研究会でした。

その後、年に4～6回の割合で開催し続け、発足当時の有志の諸先輩方の努力と苦悩、人材育成により、今年（2010年）10月には創立30周年を迎えることができました。

現在、県内では約30の施設でSPECT・PET核医学検査を行っています。しかし、核医学専門医が常勤している施設が少ないことや核医学検査の経験が浅い若い技師が多いことなどから、核医学の基礎技術と検査手技の統一化など明日から現場で活用できる内容を議論し、または各施設間の情報を交換することを目的として、現在4回/年、川越市の埼玉医科大学総合医療センターとさいたま市のさいたま赤十字病院にて研究会を開催しております。毎回約30～40名が出席するまでになっています。



○研究会参加者取得認定単位

日本核医学技術学会 核医学専門技術者認定 認定単位 1点

日本核医学専門技師認定機構 核医学専門技師認定 認定単位 3点

○研究会の現世話人

|       | 氏名    | 所 属                  |
|-------|-------|----------------------|
| 代 表   | 大川 健一 | 戸田中央総合病院             |
| 副代表   | 山岸 正和 | 埼玉医科大学国際医療センター       |
| 副代表   | 芝崎 匡樹 | 埼玉県立循環器呼吸器病センター      |
| 会計・総務 | 丸山 一幸 | 埼玉医科大学総合医療センター       |
| 世話人   | 黒田 裕幸 | 埼玉医科大学総合医療センター       |
| 世話人   | 市川 賢一 | 埼玉医科大学総合医療センター       |
| 世話人   | 小池 克美 | さいたま赤十字病院            |
| 世話人   | 北山 早苗 | さいたま赤十字病院            |
| 世話人   | 三原 常径 | 埼玉医科大学国際医療センター       |
| 世話人   | 小林 悟史 | 上尾中央総合病院             |
| 世話人   | 岡村 聡志 | 上尾中央総合病院             |
| 世話人   | 野村 安雄 | 川口市立医療センター           |
| 世話人   | 若林 康治 | 埼玉県立がんセンター           |
| 世話人   | 古閑 健次 | 埼玉医科大学病院             |
| 世話人   | 守谷 文貴 | 埼玉医科大学病院             |
| 世話人   | 染谷 豊  | 自治医科大学附属さいたま医療センター   |
| 世話人   | 岩田 雅巳 | 北里大学北里研究所メディカルセンター病院 |
| 世話人   | 吉澤 隆雄 | 獨協医科大学越谷病院           |
| 世話人   | 清水 邦昭 | 深谷赤十字病院              |
| 顧問    | 伊勢谷 修 | 埼玉医科大学国際医療センター       |
| 顧問    | 上原 晃  | 埼玉県立がんセンター           |

## 『埼玉核医学技術研究会所属の施設紹介』

## 埼玉医科大学国際医療センター 核医学検査室

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1 電話：042-984-4111

<http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/index.html>

埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部 山岸 正和

## 1. 開設経緯

当センターは第4次埼玉県地域保健医療計画に基づき埼玉県全域を範囲とし、がん・心臓病に対応する高度専門特殊医療や救命救急医療の提供を目的として計画され埼玉医科大学日高キャンパス内に平成19年4月1日にオープンしました。



図1 国際医療センター概観

## 2. 当センターの構成

- ・包括的がんセンター300床
- ・心臓病センター200床
- ・救命救急センター100床

合計600床ですが現在100床増床のための工事中で、来年には700床になる予定です。

## 3. 核医学部門

核医学検査室(図2)は1F中央部門棟にあり3箇所の入り口を設けそれぞれPET検査専用受付、SPECT検査専用受付、職員専用入り口としPET患者、SPECT患者、職員の導線を完全に分離することで無用な被ばくを最小限に抑えるように努めています。特に管理区域常勤の職員は専用のIDカードを各自が携帯し、入室の際カードを通さないと職員専用入口からは入れないようなシステムになっており関係者以外の入室制限と同時に職員の管理区域入室記録としています。

また、被ばく線量の高いPET患者の待機室(図3)では各ブースでTVの視聴も可能な案内表示システムを導入し、FDG投与後から撮像開始までの待機時間中に飲水や排尿、撮像開始時間の案内や対話型のナースコールにより患者との接触機会を最小限にしています。更にPET薬剤の注射担当看護師は腕時計型の線量計を装着し高線量時にはアラームが鳴るようすることで職員の被ばく低減にも役立っています。

画像関連では当センターはPACSの導入にともない核医学画像の完全フィルムレス運用も実現しています。検査後の画像はすべてPACSサーバー内に保管され電子カルテと連動し画像の参照が可能となっています。

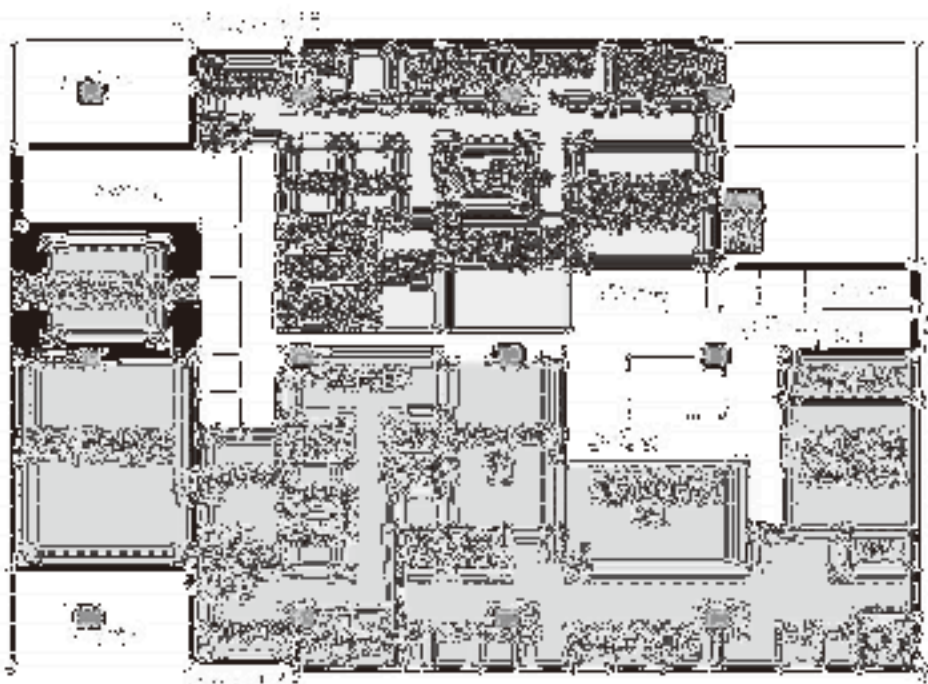


図2 核医学施設レイアウト

また、近隣の施設から PET 検査、SPECT 検査の紹介や委託契約にて当センターの機器を有効に活用出来るような体制が整備され検査終了後には記録媒体にて依頼元へと返信しています。

大学病院として通常の検査以外に研究としての検査もおこなわれており、松田博史核医学科教授のもと超高感度 LSO クリスタルを組み込んだ PET/CT 2 台とマルチスライス

(6 列) CT 搭載の SPECT/CT を用い全身の腫瘍、脳神経、心臓等、各分野の診断の向上に役立てています。PET 検査では O-15 ガスを利用した脳循環代謝 PET 検査、C-11 を利用したメチオニンによる腫瘍 PET 検査、アミロイドイメージング (PiB-PET) によるアルツハイマー診断、F-18 を利用した低酸素腫瘍 FMISO (18 F-fluoromisonidazol) -PET 検査も開始されました。



図3 PET 患者待機室

### 3. 1 機器構成

|             |              |                                       |                        |       |
|-------------|--------------|---------------------------------------|------------------------|-------|
| PET/CT      | (SIEMENS 社製) | Biograph 6                            | (LSO 6 列 MDCT)         | (図 4) |
|             | (SIEMENS 社製) | Biograph16                            | (LSO 16 列 MDCT)        | (図 5) |
| SPECT/CT    | (SIEMENS 社製) | SymbiaT6                              | (角度可変型 2 検出器 6 列 MDCT) | (図 6) |
| WorkStation | (SIEMENS 社製) | Leonard・e-soft Turbo-P・e-soft Turbo-V |                        |       |
|             | (AZE 社製)     | AZE-Virtual Place                     |                        |       |
| サイクロトロン     | (住友重機械工業)    | CYPRIS HM-18                          |                        |       |



図 4 PET/CT Biograph 6



図 5 PET/CT Biograph 16



図6 SPECT/CT Symbia T6

### 3.2 スタッフ

- 医師：4名
- 診療放射線技師：5名（核医学専門技師3名）
- 看護師：3名
- 受付事務：2名
- 薬剤師：2名
- サイクロトロンオペレータ：1名

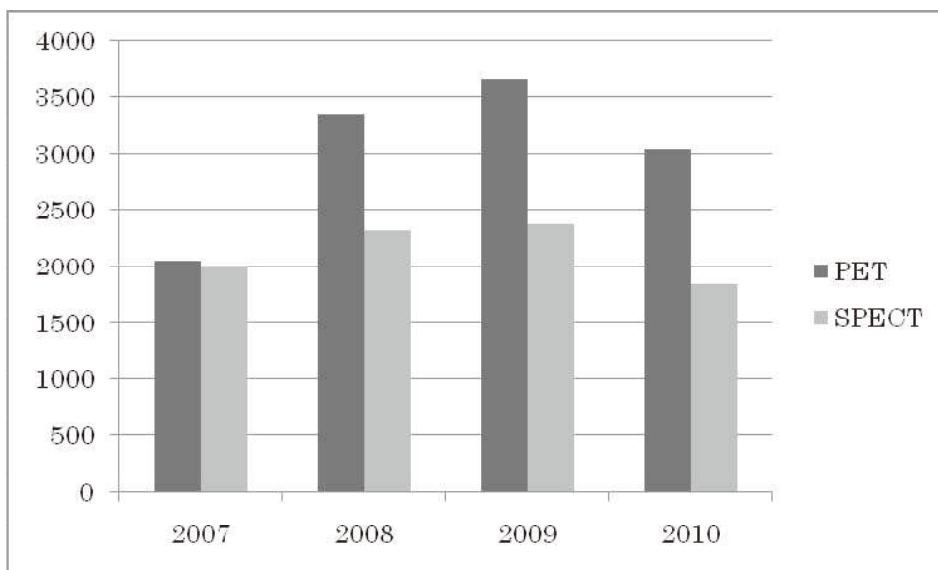
(図7)



図7 核医学のスタッフ



4. 検査実績



検査数の推移 2010年12月時点 (図8)

SPECT検査は装置が1台ということもありPETに比べるとすでにプラトーに達していますが SPECT/CT 装置の特性を生かし脳血流、心筋血流においては全例 CT も同時に撮影し、骨シンチ、Ga シンチなどの体幹部の検査においても SPECT 撮像の際は減弱補正や fusion 画像を作成して診断に役立てており、今後装置の増設による検査数の増加も期待できます。

PET検査は2007年4月の開院以降毎年増加しており今年の春に10000件を突破しました。そこで9月に残暑会を兼ねて「祝 PET 1万件突破」としてスタッフ一同で盛り上がりました。(図9)



図9 祝 PET 検査1万件突破 (愉快的仲間オールキャスト)



## 5. おわりに

こんな研究も多い検査室ですが 5 名の技師で足りない脳みそをフル稼働して頑張りますので（まあ限度はありますが・・・）温かく見守ってください。

今回このような機会を与えて下さった関係者の方々に感謝をいたします。またこれからも埼玉核医学技術研究会所属施設として皆様のご協力をいただきながら頑張っていきますので宜しくお願いします。

以上

## 執筆者 紹介

山岸 正和

（埼玉医科大学国際医療センター中央放射線部）

1967年 埼玉県生まれ

1988年 埼玉医科大学付属病院入職

2007年より埼玉医科大学国際医療センター

現在、中央放射線部係長として主に核医学業務に従事

・核医学専門技師



## 埼玉核医学技術研究会 30 周年記念大会開催のお知らせ

埼玉核医学技術研究会 30 周年記念大会  
大会長 大川 健一  
(戸田中央総合病院)

新年明けましておめでとうございます。社団法人埼玉県放射線技師会会員の皆様におかれましては、良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、お陰様で平成 22 年度をもちまして埼玉核医学技術研究会が創立 30 周年を迎えることとなりました。

この節目の年を無事に迎えることができましたのも、ひとえに皆様方の絶大なるご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

平成 23 年 2 月 26 日(土)に埼玉核医学技術研究会 30 周年記念大会を大宮ソニックシティ会議室 906 にて開催いたします。

今大会のテーマは「埼玉核技研のさらなる成長へ ～そして未来へ～」とさせていただきます。教育講演に日本アイソトープ協会の中村佳代子先生を、記念講演に埼玉医科大学国際医療センターの松田博史先生を、お招きしております。

また、埼玉核医学技術研究会の歴史についての講演を埼玉医科大学国際医療センターの伊勢谷修氏に、埼玉県核医学検査の実態調査報告を上尾中央総合病院の岡村聡志氏にお願いしております。

記念パーティーにつきましても、参加される皆様の利便性を考慮し、同一施設内である大宮ソニックシティビル 31 階「ペイサージュ」にて開催いたしますので、ご参加される皆様方とお酒を酌み交わしながら懇親を深めていきたいと考えています。

三原実行委員長(埼玉医科大学国際医療センター)をはじめ、実行委員一同、数多くの皆様に、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

# 埼玉核医学技術研究会 30 周年記念大会

## 埼玉核技研のさらなる成長へ ～そして未来へ～



会期 平成 23 年 2 月 26 日（土）15 時～

会場 大宮ソニックシティ会議室 906

大会長 : 大川 健一（戸田中央総合病院）  
 実行委員長 : 三原 常径（埼玉医科大学国際医療センター）  
 参加費 : 記念大会 1,000 円 記念パーティー 6,000 円

総合司会 : 丸山 一幸

「埼玉核医学技術研究会の歴史」

埼玉医科大学国際医療センター 伊勢谷 修 氏

「埼玉県核医学の実態調査報告 2010」

上尾中央総合病院 岡村 聡志 氏

教育講演

「放射性医薬品の取扱いについて」

日本アイソトープ協会 中村 佳代子 先生

記念講演

「マルチモダリティと核医学～高齢化社会を迎える医療」

埼玉医科大学国際医療センター 松田 博史 先生

埼玉核医学技術研究会 30 周年記念大会実行委員会事務局  
 〒350-8550 埼玉県川越市鴨田辻道町 1981  
 埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 核医学診療内



## MR画像のコントラスト ～MR画像は特定因子強調画像～

済生会川口総合病院  
放射線技術科 浜野 洋平

### 1. はじめに

MR画像のコントラストを決定する因子は、X線写真やX線CTと比べて多数存在しますが、大きくは内的因子と外的因子に分けられます。内的因子には、プロトン密度 ( $\rho$ )、縦緩和時間 ( $T_1$ )、横緩和時間 ( $T_2$ )、流速分布 [ $f(v)$ ]、拡散係数 ( $D$ ) などがあり、これらは生体組織自体の特性であり撮影者により変化させることはできません。外的因子としては、繰り返し時間 (TR)、エコー時間 (TE)、反転時間 (TI)、フリップ角 ( $\alpha$ ) などがあり、これらは撮影者によって設定可能なものです。

MR画像を評価していく上で、画像のコントラストを決定している因子を知ることは重要なことです。今回は内的因子である縦緩和時間 ( $T_1$ )、横緩和時間 ( $T_2$ )、外的因子である繰り返し時間 (TR)、エコー時間 (TE) を中心に考えていきたいと思えます。

### 2. $T_2$ 緩和曲線 (MR信号の減衰)

RFパルス照射によって生じるMR信号は図1のように指数関数的に減衰していきます。

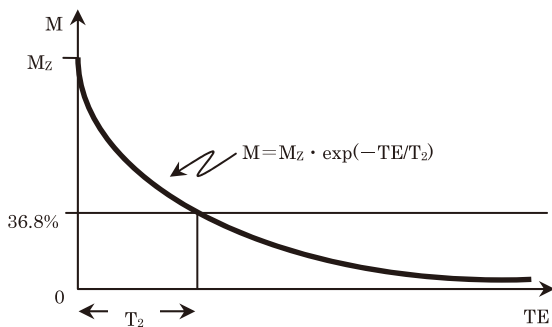


図1:  $T_2$ 緩和曲線

MR信号 ( $M$ ) の減衰は次式で表すことができます。

$$M = M_z \cdot \exp(-TE/T_2) \dots \dots \textcircled{1}$$

$M$ : TE時間後の信号強度

$M_z$ : 最初の信号強度

TE: エコー時間 (減衰に費やす時間)

$T_2$ : 横緩和時間

①式で $T_2$ 時間後の信号強度は $M = M_z \cdot \exp(-T_2/T_2)$ 、すなわち $M/M_z = e^{-1} \approx 0.368$ 。したがって、 $T_2$ は信号が36.8%に減衰するのに要する時間となります。

$T_2$ は組織によって様々な値をとり、 $T_2$ が短いほど信号は急激に減衰し、逆に長いと信号はなかなか弱くなりません。つまり $T_2$ は信号の持続時間を表す指標と考えられます。

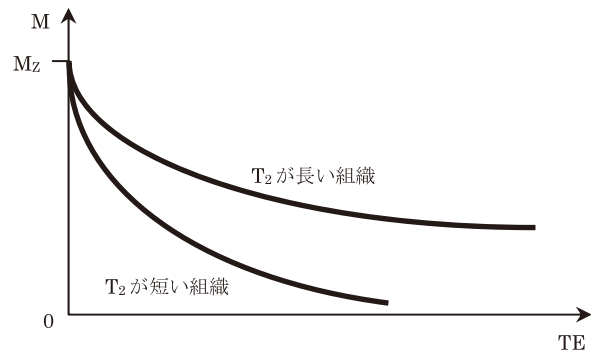


図2:  $T_2$ の異なる組織の $T_2$ 緩和曲線

### 3. $T_2$ (横緩和時間) とTE (エコー時間)

$T_2$ は組織によって固有の値ですが、TEは撮影者側で設定可能な値です。

図3のように、TEを長めに設定した場合 (TE②)、 $T_2$ が長い組織と $T_2$ が短い組織との信号強度差 (コントラスト) はTEが短い時 (TE①) と比べて大きくなります。

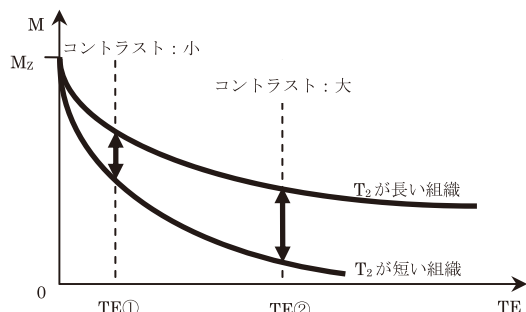


図3：T<sub>2</sub>とTEの関係

4. T<sub>1</sub>緩和曲線（縦磁化の回復）

MR画像を取得する場合、多数のボクセルの信号強度を特定するために何回もの信号測定が必要です。1度信号を出したあとにRFパルスを照射して信号を得るためには、縦磁化（信号放出能）の回復時間が必要になります。縦磁化の回復が不十分だと、次のRFパルスによって信号を出させたとしても信号は弱くなります。この縦磁化の回復過程も指数関数として表せます。（図4）

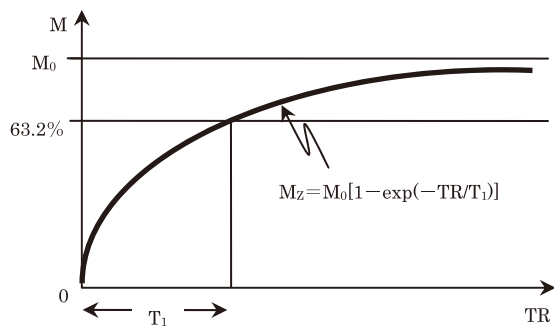


図4：T<sub>1</sub>緩和曲線

縦磁化（Mz）の回復は次式で表せます。

$$M_z = M_0 [1 - \exp(-TR/T_1)] \quad \dots \dots \textcircled{2}$$

Mz：TR時間後の縦磁化

M<sub>0</sub>：100%回復時の縦磁化

TR：繰り返し時間

（縦磁化の回復に費やす時間）

T<sub>1</sub>：縦緩和時間

②式で、T<sub>1</sub>時間後の縦磁化はMz = M<sub>0</sub> [1 - exp(-T<sub>1</sub>/T<sub>1</sub>)]、すなわちMz/M<sub>0</sub> = 1 - e<sup>-1</sup> ≒ 0.632。つまり、T<sub>1</sub>は縦磁化が63.2%まで回復するのに要す

る時間となります。

T<sub>1</sub>もT<sub>2</sub>と同じように組織固有の値をとり、T<sub>1</sub>が短い組織ほど回復能力が高く、短時間の回復時間でも次のRFパルスで強い信号を得ることができます。つまり、T<sub>1</sub>はMR信号を放出する能力がどのくらい早く回復するかを表す指標と考えられます。

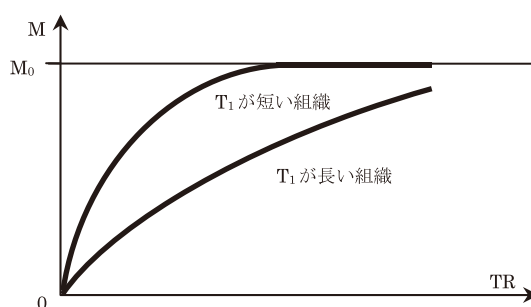


図5：T<sub>1</sub>が異なる組織のT<sub>1</sub>緩和曲線

5. T<sub>1</sub>（縦緩和時間）とTR（繰り返し時間）

T<sub>2</sub>とTEの関係と同じように、T<sub>1</sub>とTRにも深い関係があります。T<sub>1</sub>は組織によって決まった値をとりますが、TRはTEと同じように撮影者側で設定可能です。

図6のようにTRを短く設定した場合（TR①）、2つ組織の信号強度差（コントラスト）はTRが長い時（TR②）と比べて大きくなります。

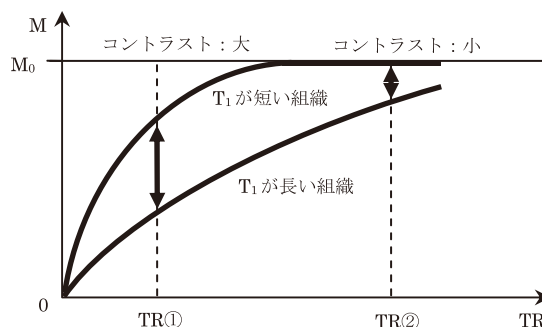


図6：T<sub>1</sub>とTRの関係

6. 緩和曲線とT<sub>2</sub>強調画像・T<sub>1</sub>強調画像・プロトン密度強調画像

MR信号には前述したT<sub>2</sub>緩和およびT<sub>1</sub>緩和がRFパルス照射直後に同時に起こります。しかし、



画像のコントラストを考える上で、 $T_1$ 緩和と $T_2$ 緩和を個別に考えると非常に理解しやすくなります。ここでは、脳脊髄液と白質の緩和曲線を利用して、 $T_2$ 強調画像、 $T_1$ 強調画像、プロトン密度強調画像について説明します。

$T_2$ 強調画像は組織の $T_2$ を強調して、 $T_1$ をできるだけ強調しない画像です。そのためには、長いTRで $T_1$ 緩和での信号差を小さくし、長いTEで $T_2$ 緩和での信号差を大きくします。したがって、脳脊髄液は白質よりも高信号となります。(図7)

$T_1$ 強調画像は組織の $T_1$ を強調し、 $T_2$ を強調しな

い画像です。そのためには、短いTRで $T_1$ 緩和での信号差を大きくし、短いTEで $T_2$ 緩和の影響を小さくします。したがって、脳脊髄液は白質よりも低信号となります。(図8)

また、 $T_1$ も $T_2$ どちらも強調しない場合、つまりTRを長く、TEを短くした場合はプロトン密度強調画像となり、信号強度は組織のプロトン密度( $\rho$ )によって左右されます。(図9)

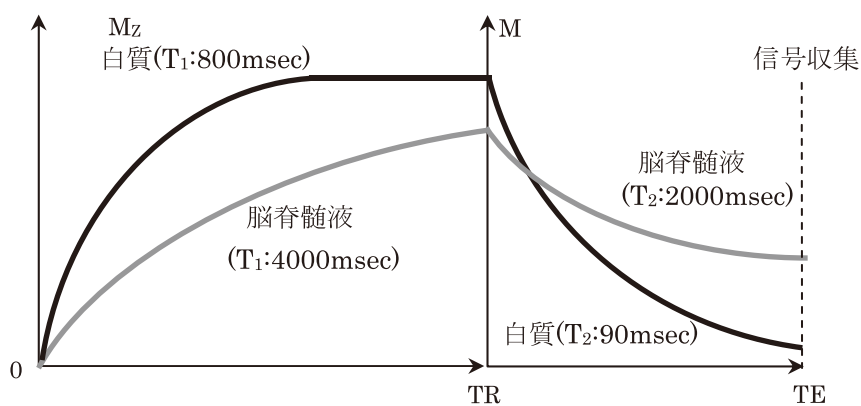


図7： $T_2$ 強調画像

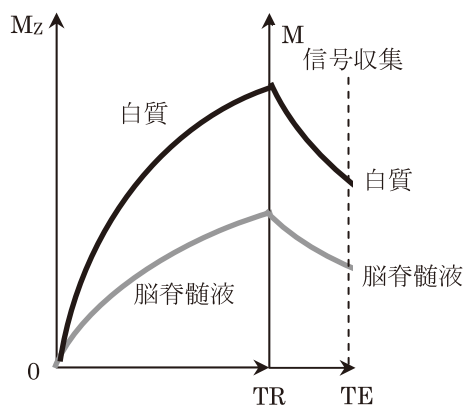


図8： $T_1$ 強調画像

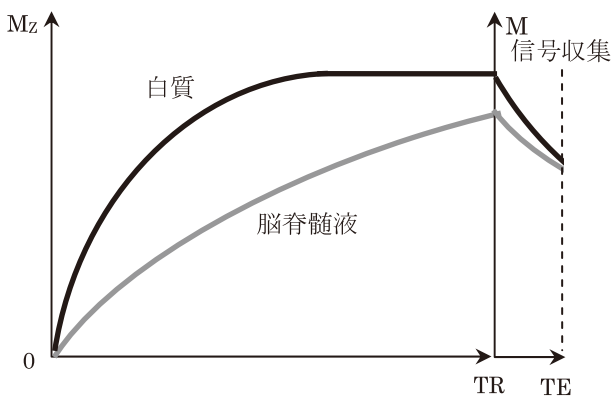


図9：プロトン密度強調画像

### 7. MR画像は特定因子強調画像

これまでの内容でT<sub>2</sub>強調画像にはT<sub>1</sub>の影響が、T<sub>1</sub>強調画像にはT<sub>2</sub>の影響が少なからずあることが理解できたと思います。

以下にスピンエコー法における信号強度 (S) を表す式を示します。特定の内的因子を強調するため、外的因子を適宜設定する必要があることが分かります。

$$S \propto f(v) \cdot \rho \cdot [1 - \exp(-TR/T_1)] \cdot \exp(-TE/T_2) \cdot \exp(-bD)$$

※[1 - exp(-TR/T<sub>1</sub>)] : T<sub>1</sub>を強調する要素

exp(-TE/T<sub>2</sub>) : T<sub>2</sub>を強調する要素

exp(-bD) : 拡散係数を強調する要素

#### 内的因子

f (v) : 流速分布

ρ : プロトン密度

T<sub>1</sub> : 縦緩和時間

T<sub>2</sub> : 横緩和時間

D : 拡散係数

#### 外的因子

TR : 繰り返し時間

TE : エコー時間

b : bvalue

頭部検査でよく撮像される拡散強調画像は、内的因子のD (拡散係数) を強調するためにMPG (motion probing gradient) と呼ばれる特殊な傾斜磁場を利用します。その磁場強度を外的因子のb valueとして設定しています。

拡散強調画像にも他の因子が影響してきます。その代表が組織のT<sub>2</sub>延長効果です。高信号を示したとしても、それが組織の拡散制限を表しているのか、それともT<sub>2</sub>が延長しているのかどちらか不明な場合があります。そのような場合には、ADCmapを作成して確かめます。このようにT<sub>1</sub>強調画像、T<sub>2</sub>強調画像だけでなく、拡散強調画像にも他の因子が影響していることが分かります。

MR画像にはこの他にも血液の流れを強調した

TOF画像、磁化率を強調した磁化率強調画像など多くあります。これら強調画像も特定の因子を強調したものであり、他の因子の影響を少なからず受けています。

MR検査では目的とする画像コントラストを得るために、如何にして特定の因子を強調し、その他の因子を目立たなくするかが重要になります。

### 8. 最後に

今回は、MR画像のコントラストについてお話をさせていただきました。

画質の評価項目には、空間分解能やSN比など重要なものが多数ありますが、MR画像は十分な画像コントラストがなければ臨床的価値を見い出せません。

MR画像の最大の特徴は、組織のコントラスト分解能が他のモダリティよりも優れていることにあります。

MR検査において、臨床的に有意義なコントラストを得ているのかを判断すること、また、撮像パラメーターを適宜変更して病変を明確に表現しようとすることは大変難しいことです。しかし、これらのことは技師に与えられた特権であり、MR検査の醍醐味でもあると考えています。

今回の内容を日々の業務に役立てていただけたら幸いです。

### 9. 参考文献

- 1) 荒木 力 : クイズMRI 秀潤社
- 2) 荒木 力 : 決定版 MRI完全解説秀潤社
- 3) ルイテン・ヤンセン編著 石川 徹 監訳 : MRIの原理と応用 通商産業研究社
- 4) 日本磁気共鳴医学会 教育委員会 編 : 基礎から学ぶMRI インナービジョン
- 5) 杉村 和朗 監修/編集 : MRIの原理と撮像法 MEDICAL VIEW

[執筆者紹介]

1980年生

技師歴 9年

担当歴 5年

第5回磁気共鳴専門技術者認定試験合格



## フィルムレス・システムの導入検証 —マンモグラフィーについて—

小川赤十字病院

○松本 洋榮 小川 清

### 1. はじめに

近年、診療報酬改定にて電子画像管理加算が新設され、フィルムレスシステムを導入する施設が増加している。一般撮影のフィルムレスについて、出力形式がフィルムのみである施設は、平成19年77%であったが、平成20年56%、平成21年38%と激減し、一部フィルムを出力とした併用を含むフィルムレスは平成19年23%、平成20年41%、平成21年60%と増加した。そして今後導入を検討している施設は、近々移行予定31%、計画があるが時期は未定61%、全く考えていない6%であった。そのなかで乳房撮影の読影方法はモニタ読影16%、フィルム65%、併用15%であった。<sup>1)</sup>

フィルムレスシステム導入に際し、診療放射線技師がフィルムレス運用に中心的な役割を果たしていくべきと考える一方で、フィルムにとって代わる機器の特性および機能の知識や従来と異なる管理法が求められているにもかかわらず、その対応は十分ではない。フィルムは先人達が数多くの研究を重ね、放射線技師の王道的な研究となり、情報が蓄積され、強固なる地位を得た。そしてフィルムは担保された唯一物であるゆえ、いつでもどこでも同じであるが、モニターは複数間でのバラツキ、同一機の経時的変化があり、管理することは容易ではない。

当院では、平成22年6月、PSP社のフィルムレスシステムを導入した。導入に際して、診療放射線技師が撮影した画像が、読影室、診察室等どのように表示されているかを、一部検証した。臨床的検証作業は、診療放射線技師業務として極めて重要な仕事であり、受入試験の一部とも言える

が、検証する意志はあっても、大変だ、やり方がわからないなどから、曖昧にしているのが現状ではなかろうか。

マンモグラフィー用モニターとしては5Mモノクロモニターを選定し、その評価をすべきと考えるが、当院はフィルムを残すことも十分に選択枝に残しつつ、経済的な面から3Mモノクロモニターを選んだ。画像診断において読影モニターの性能を把握し、その読影現場の実情を理解しておくことは必須であり、検証作業（仮説としてモニターへの移行は可能か、無理とすればどのような状況か）を実施したので報告する。

### 2. 対象と方法

#### 2-1使用機器

- ①乳房撮影装置 東洋メデイック社  
Performa型 (平成17年設置)
- ②CRコニカミノルタREGIUS MODEL190  
高精細モード 43.75  $\mu$ m読み取り
- ③モニター EIZO GX-320 3MP  
モノクロ液晶モニター
- ④156ファントム
- ⑤高輝度シャウカステン AMM2-1C

#### 2-2比較者

乳腺外科医2名  
放射線科読影医1名  
マンモグラフィーを担当する診療放射線技師8名

#### 2-3方法

156ファントム、臨床症例 (9症例) についてフィ

フィルムと3Mモニターの見え方を比較する。

①156ファントム(繊維、石灰化、腫瘍)

臨床9症例(石灰化5症例、腫瘍7症例、スポット3症例、その他3症例)

以上の合計21項目について比較する。

②それぞれについて比較し、 $< = >$ のいずれかの記号を表に記入する。

③フィルムでの読影は、拡大鏡等も使用して、一番見やすい状態でおこなう。

モニターでの読影は、拡大やネガポジ反転等も利用して、一番見やすい状態でおこなう。

④補足の検討として、結果について、乳腺の量による傾向があるか確認する。

⑤医師と技師により傾向が異なるか確認する。

3. 結果

3-1全体の傾向

①全体ではフィルムの方が良とする結果が50%となった。(図1)

モニターの方が良は8%、同等とする結果は42%となり、1/2はモニターが同等まで見えている結果となった。

②石灰化については2/3以上でフィルムの方が良になった。(図2)

石灰化はフィルムの方がくっきり見える印象があった。

モニターでの画像の反転で、石灰化が見やすくなる傾向があった。

③腫瘍については1/2弱は同等とする結果となり、モニターの方が良と合わせると56%になった。(図3)

モニターでの濃度調整により、見やすくなった症例もあった。

④スポットについてはフィルムの方が良とする結果が1/2強となった。(図4)

スポットの症例7はフィルムで濃度が不良気味であったため、モニターで濃度調整をし、その

結果1名以外はモニターの方が良もしくは同等とする結果になった。

⑤その他(繊維、リトラクションなど)では、同等まで見えるとする結果が57%あり、モニターの方が良とする結果を合わせると、2/3となった。(図5)

3-2乳腺の量による傾向

①症例を乳腺の少ない順にして石灰化、腫瘍、スポット、その他で検討してみたが、乳腺の量により有意な傾向はみられなかった。

②石灰化については、乳腺が少ない症例で、モニターの方が見えやすいとする意見があった。

3-3技師と医師別による傾向(図6)

①全部の比較のうち、医師がモニターの方が良とする項目はなかった。

②全体では、技師はモニターが良と同等まで見えるとする結果を合わせると約1/2となった。医師はフィルムの方が良とする結果が56%になった。

③石灰化については、フィルムの方が良とする結果が技師で65%、医師は78%となった。

④腫瘍については、モニターの方が良と同等まで見えるとする結果を合わせると、技師で55%、医師は58%になった。

⑤スポットについては、フィルムの方が良とする結果が技師で46%、医師は67%となり技師と医師で異なる傾向になった。

⑥その他については、モニターの方が良と同等まで見えるとする結果を合わせると、技師で69%、医師は58%になった。

モニターが優れる 8%

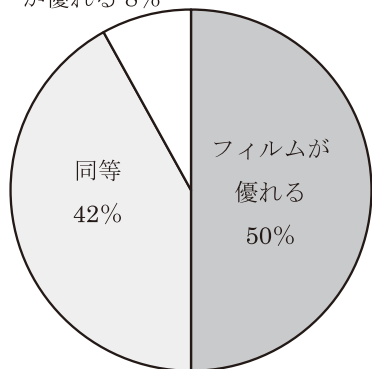


図1：総合結果 (n=11)

モニターが優れる 15%

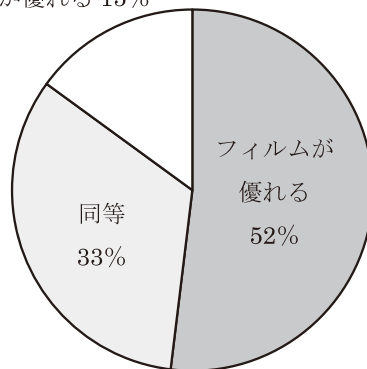


図4：スポット (n=11)

モニターが優れる 5%

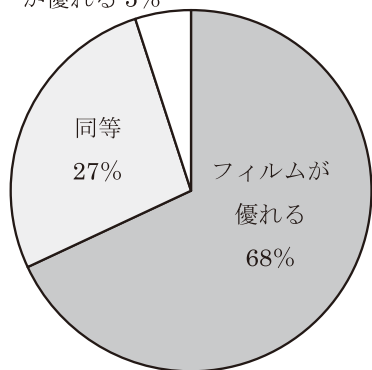


図2：石灰化 (n=11)

モニターが優れる 9%

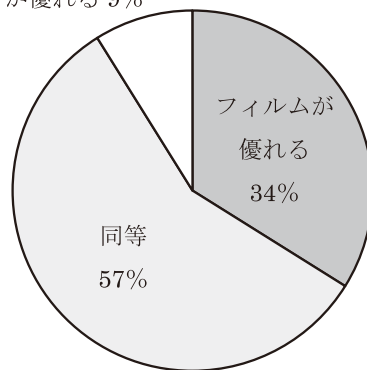


図5：その他 (n=11)

モニターが優れる 8%

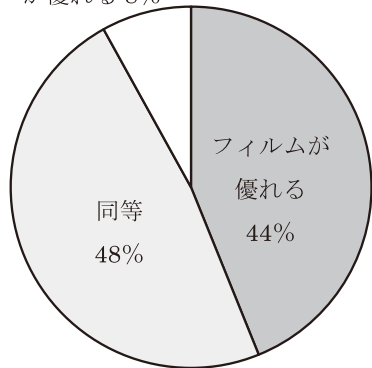


図3：腫瘍 (n=11)



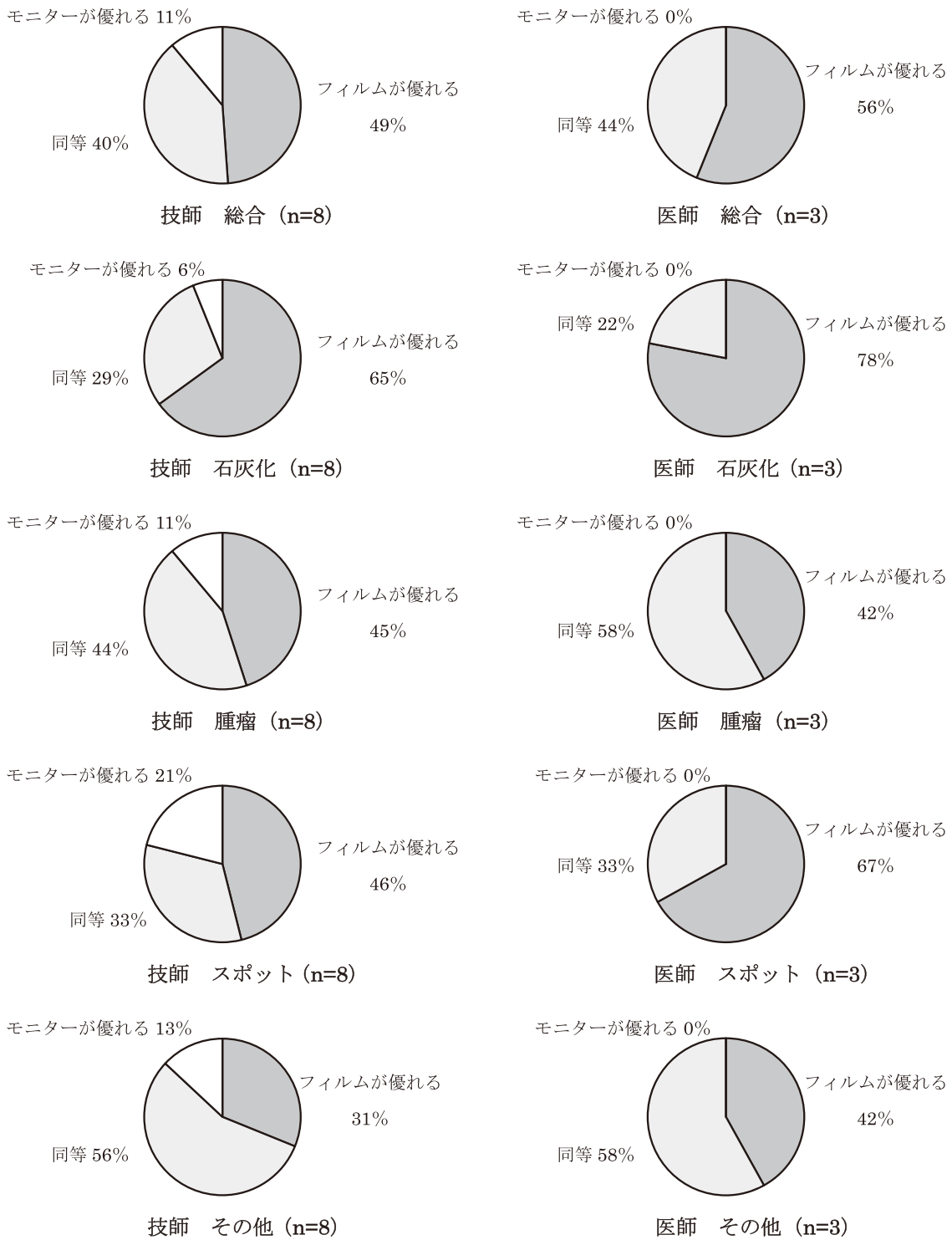


図6：技師・医師別結果

#### 4. 考察

- ①全体の結果から、モニターの方が良、同等まで見えるとする結果を合わせても半分に留まった。よって現状でフィルムをモニターに置き換えるのは難しいと考えられる。
- ②石灰化については、フィルムの方がコントラスト良くはっきり描出されている。モニターでの読影は、画像の拡大（微小石灰化については、Pixel等倍での観察が必要とされている）や反転を用いることで精度が上がり、診療の補助になると考えられる。
- ③腫瘍やFAD、リトラクションなどについては、約2/3は同等まで見えている。反転により、156ファントムで今までフィルムで確認できなかった、最小の腫瘍の存在を確認できた。これらの結果から、腫瘍の形態や辺縁の様子を確認する上で、モニターでの濃度調整や拡大が診療に有効に利用できると考えられる。
- ④スポットについては、所見により結果がばらついたが、症例7のようにフィルムで描出不良だった画像を、モニター上で調整し確認できることは、モニターの最大の利点と考えられる。
- ⑤その他として、現在フィルムでの読影をおこなっているため、フィルムの画像に目が慣れてきている（フィルムのベースがブルーなのに対し、モニターはグレーであることなど）点も今回の結果の要因であると思われる。
- ⑥技師と医師別の比較で、技師の方がモニターの方が良、同等まで見えるとする結果が多かったのは、技師の方が、モニターでの画像の操作に慣れていることが考えられる。コントラストなどわずかな画像調整で見え方に差が出てくるので、いかに見やすい画像を表示できるかは重要と思われる。

#### 5. 結語

- ①当院のマンモグラフィーは現状で、フィルムをモニターに置き換えるのは難しいと考えられる。
- ②モニター上で濃度調整や拡大、反転した画像が、フィルムで見えづらい部分を補い、診療に有効に利用できると考えられる。
- ③モニターでの画像自体や、画像を見易くする操作に慣れると、さらにモニターの有効性は高まると考えられる。（今回の試みで医師に画像の調整法を知らせられたのは有意義であったと思われる。）

#### 6. さいごに

我々は、フィルム撮影時には、最大限の情報をフィルムに写し込むよう努力していた。そしてフィルムレスになっても、同様な作業をきちんと行う臨床責任を果たす義務があるはずだ。基礎的な検討はもちろん必要であるが、どのような方法でもよいので診療室の画像を確認しておくことが大切であり、検証方法は学会発表ではないので、その施設独自の方法で、与えられた材料、環境下で行えばよい。局限すれば医師にモニター画像について意見を聞くだけでも検証になるが、満足度調査を実施すればもっと良い。しかし我々は医療技術者であるから、科学的、論理的な回答を出して貰いたい。それでないとな当事者のみの情報交換となってしまう、相手や仲間に伝わらず、数年後の将来にも情報として生きてこない。科学的なレポートが求められる。

#### 7. 参考文献

- <sup>1)</sup>「診療報酬に関する調査報告」  
P10 2009.12月



## 第35回ソフトボール大会報告

(社) 埼玉県放射線技師会  
総務常任理事 矢部 智

休日・祝祭日は、埼玉県放射線技師会や日本放射線技師会の講習会やセミナー等のイベントが埋め尽くしています。その合間をぬって10月31日（日）、東京石油健保グラウンド（東松山市）において第35回ソフトボール大会の開催を予定いたしました。

このように忙しい毎日の中、108名、9チームの参加申し込みをいただきましたこと、誠にお礼申し上げます。本大会は、時間的に余裕をもったプログラムを作成し、当日を心より楽しみにいたしていましたが、不運にも季節外れの台風が上陸してしまい中止とさせていただきます。日程の都合上、延期開催ができませんことを心よりお詫び申し上げます。

### 参加予定チーム

|      |                    |
|------|--------------------|
| 賛助会員 | MITAYA（三田屋製作所）     |
| 賛助会員 | 東洋メデック（株）          |
| 賛助会員 | TMCA（東芝メディカルシステムズ） |
| 会員   | 埼玉医大（ダーツ工務店）       |
| 会員   | POCKIES（ポッキーーズ）    |
| 会員   | ソルティーズ             |
| 会員   | 上尾中央総合病院           |
| 会員   | 第6地区会              |
| 会員   | 埼放技 チーム馬車馬         |

## 医療被ばく相談セミナー開催報告

(社) 埼玉県放射線技師会  
公益委員会 星野 弘

標記セミナーを下記日程で開催しましたので報告します。当日は、平日の業務終了後にも関わらず30名の参加がありました。また、その中には看護師さん(2名)の参加もあり、医療被ばくに対する関心の高さが伺えました。

日 時：平成22年11月18日(木) 18:30~20:30

場 所：埼玉会館(7階 7A号室)

講 師：東松山市立市民病院 工藤 安幸氏

内 容：「医療被ばく相談の時に役立つ基礎知識」

講義内容は、自然放射線など身の回りの放射線のお話から始まり、検査で受ける被ばく線量の事や、その評価方法など、また、患者様説明時に大切なことや、対話の進め方など事例を踏まえたお話もあり、大変わかりやすい講義でした。また、質疑応答では、行為の正当化や防護の最適化に関する内容もあり受講生の熱心さが伝わってきました。昨今、情報メディアの普及に伴い医療被ばくに関する報道をよく見かけようになりました。また、その情報を見聞きする患者様の医療被ばくに対する関心(不安)も高まっています。しかし、その中には間違った情報も少なくありません。そのような中、医療における放射線の専門家である私たち診療放射線技師が適切に対応していくことができればと考えます。今回受講した内容を日常業務の一助としてに生かして頂ければ幸いです。

最後に、今後も医療被ばく相談セミナーを企画いたしますので会員の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



講師：工藤 安幸 氏



会場

## 第2回マネージメントセミナー開催報告

(社) 埼玉県放射線技師会  
副会長 橋本 里見

平成22年11月27日(土)に第2回マネージメントセミナーを開催し、放射線業務における管理者および次世代管理者候補の14名が参加されました。

今回も第一三共株式会社の土田講師に、組織の活性化や人材育成の手法について講演をしていただきました。受講者が一方的に聴講する方法とは違い、グループでの議論や講師とのやり取りなどを含めた参加型といわれる講演でした。

今後について、グループ討論は長い時間を要するため半日程度のスケジュールでは十分ではなく、より深い内容にて行うマネージメント手法習得を目的とした講習を取り入れてはどうかと助言を受けました。

来年度も継続して開催する予定ですが、講師の助言を参考にし、目的を明確にした企画を立て、2日または3日開催としてより深い内容を討論する方法も検討していきます。技師長各位におかれましては、次世代管理職候補者とともに来年度開催の折には是非ご参加いただき、診療放射線技師の資質、マネージメント能力共に向上し、病院経営に貢献できる診療放射線技師の育成にお力添えをいただけますよう、よろしくお願いいたします。

プログラムは以下のとおり (敬称略)

- 1、組織の活性化と人材育成 その2  
第一三共株式会社 埼玉支店学術課  
医療環境担当 土田 和智

第1回および第2回の参加会員所属施設

|                    |              |
|--------------------|--------------|
| 春日部市立病院            | 磯部クリニック      |
| 丸山記念総合病院           | 小川赤十字病院      |
| 防衛医科大学校病院          | 中島病院         |
| 東松山医師会病院           | 川口工業総合病院     |
| 埼玉社会保険病院           | 厚生連熊谷総合病院    |
| (財) 埼玉県健康づくり事業団    | 石心会狭山病院      |
| 国立障害者リハビリテーションセンター | さいたま市民医療センター |
| 獨協医科大学越谷病院         | 朝霞台中央総合病院    |
| 豊岡第一病院             |              |

ディスカッション中の会員





## 第1回地域読影セミナー開催報告

(社) 埼玉県放射線技師会  
 学術常任理事 富田 博信

平成22年4月に厚生労働省医局長より、『医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について』という文章が提出された。この中で診療放射線技師が実施することができる業務の具体例として、『画像診断における読影の補助を行うこと』及び『放射線検査等に関する説明・相談を行うこと』が記され、今後の医療においては診療放射線技師に対し読影能力を求めてきている。

そこで、県内全体の読影能力向上を図るため、地域読影講習会を開催した。第1回セミナーは小川赤十字病院、5階会議室にて開催され、乳腺、上部消化管、CTにおいて、少人数、グループ学習方式にて行った。それぞれ読影を行ってもらい、納得するまで学習し、活発なディスカッションが行われた。参加者は18名でそれぞれ自分のレベルにあった学習ができ、「参加して非常に楽しかった」と好評を得た。以下に当日のプログラムを示す。今後、会員の皆さまの活発な参加を期待する。尚、第2回は平成23年3月26日(土曜)春日部市立病院での開催を企画している。

最後に今回セミナー開催におきまして小川赤十字病院の皆様にも多大なご尽力をいただき感謝申し上げます。

内 容：上部消化管：講師 大森、志田、田中  
 乳腺：講師 尾形、越沼、岡田  
 CT：講師 富田 中根

それぞれ実際に読影し、ディスカッション形式にて進める。

時 間：15：00～18：00

45分（レクチャー＋読影）、15分（質疑応答） 合計1時間×3回  
 グループ形式にて学習。

グループ学習で小人数制になり、細かく、いきとどいた講義と質疑ができた



乳腺講義



上部消化管講義



CT講義

## 平成22年度 胸部、上部消化管認定講習会報告

(社) 埼玉県放射線技師会  
学術常任理事 富田 博信

平成22年度、胸部、上部消化管認定講習会及び認定試験が終了しました。

胸部の受験者は22名でA認定2名、B認定7名という結果です。初回の受験者よりも2回目以上の受験者の方々が確実に成績を伸ばしており、今回の認定者の多くは2回目以上の受験者の方々でした。上部消化管の受験者は10名でA認定2、B認定2名という結果でした。胸部と比較し、通常胃、横胃の写真評価があるため、認定のハードルも高いと思われます。

本会でやっている認定講習会について改めてご紹介させていただきます。

平成11年より、県内の検診精度の標準化を目的とし、胸部単純、上部消化管、マンモグラフィの検診3モダリティでスタートしました。NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会の講習会が全国的に普及してきたため、現在では胸部、上部消化管の2モダリティとなりました。そして、今年度よりCT認定講習会がスタートし、現在3モダリティの認定制度を行っております。

内容は、機器・精度管理、検査方法、読影、臨床・病理であり、放射線技師に必須の基本的技術論から臨床的な知識まで網羅されています。

本会では放射線技師の業務を以下のように考えています。

- 1 機器管理、精度管理
- 2 撮影及び検査業務
- 3 読影
- 4 診断
- 5 治療

1から3までを放射線技師、3から5までを医師が担当します。3の「読影」は放射線技師と医師で二重となりますが、以下の理由によります。

- (1) 放射線技師が1次読影、医師が2次読影を行い、読影の正確性を高める。
- (2) 医師が2重読影を行うより、業務の一端を放射線技師が行うことにより、医師の負担を少なくできる。
- (3) 放射線技師が読影に関与することで、上記1,2にフィードバックすることにより、検査精度の向上が期待できる。
- (4) 業務の流れの中で、コミュニケーション・エラーを少なくすることが期待される。
- (5) チーム医療に必要な他職種とのコミュニケーションを円滑に期待できる。

これまでに認定を受けた方々は胸部認定でA認定16名、B認定87名、上部消化管認定ではA認定6名、B認定40名です。本会独自の認定資格ですが、自分の知識、技術の確認の為に受講していただければ幸いです。

## MRIセミナー開催報告

(社) 埼玉県放射線技師会  
 学術常任理事 富田 博信

晩秋、秋晴れの日曜日、平成22年12月5日に大宮法科大学大学院講堂において日本放射線技師会主催のMRIセミナーを開催した。会に先立ち埼玉県放射線技師会会長、小川清会長から日本放射線技師会の今後の学習プランに関する概要が説明され、開会の挨拶の運びとなり講習会がスタートした。本セミナーは全国的に開催され、受講すると当日、技能試験3級の受験ができる。参加者は埼玉近県を中心に、北は山形、南は福岡から合わせて80名が受講され、盛会にて終了した。終日、タイトなスケジュールの中、受講生においては真剣にメモを取るなどし、興味深く講義を聴講している姿は印象的であった。埼玉県放射線技師会では県単位でのMRIセミナーは現在開催していないので、今後MRI従事者が地元で学習できる機会を作っていきたいと思う。

内容的にも、専門技師認定機構のカリキュラムとの摺合せを行い、一元化した教育内容になるように取り組んで参りたいと思うので、ご期待下さい。

本セミナー開催に当たり多大なご尽力をいただきました日本医科大学付属病院の土橋先生には深くお礼するとともに、当日の講師の先生、実行委員の皆様にも厚く御礼申し上げます。当日のプログラムに関しては以下に示します。



|   | 時間          | 分  | 科目                    | 講師                        |
|---|-------------|----|-----------------------|---------------------------|
| 1 | 09:00~09:45 | 45 | MR装置                  | 青木 郁男<br>東芝メディカルシステムズ株式会社 |
|   |             | 5  | 休憩                    |                           |
| 2 | 09:50~10:35 | 45 | 基礎原理                  | 土橋 俊男<br>日本医科大学付属病院       |
|   |             | 15 | 休憩                    |                           |
| 3 | 10:50~12:20 | 90 | パルスシーケンスと<br>画像コントラスト | 栗田 幸喜<br>埼玉県済生会栗橋病院       |
|   |             | 60 | 昼休憩                   |                           |
| 4 | 13:20~14:50 | 90 | アーチファクト・<br>脂肪抑制・造影剤  | 藤田 功<br>さいたま市立病院          |
|   |             | 15 | 休憩                    |                           |
| 5 | 15:05~15:50 | 45 | 画像評価・性能評価             | 後藤 政実<br>東京大学医学部付属病院      |
|   |             | 5  | 休憩                    |                           |
| 6 | 15:55~16:40 | 45 | 安全管理                  | 土橋 俊男<br>日本医科大学付属病院       |
|   |             | 20 | 休憩・試験準備・説明            |                           |
| 7 | 17:00~17:30 | 30 | 認定試験                  |                           |
|   | 17:30~17:45 | 15 | 修了式 (修了証書授与)          |                           |

## 平成23年社団法人埼玉県放射線技師会「新春の集い」開催報告

(社) 埼玉県放射線技師会  
副会長 橋本 里見

平成23年1月7日(金)、大宮サンパレスにおいて恒例の平成23年社団法人埼玉県放射線技師会(以下本会)「新春の集い」を開催しました。出席者は会員58名(内新入会員11名)賛助会員43名、合計101名が出席され盛会のうちに終了いたしました。

集いの内容は、日頃大変お世話になっている賛助会員の皆様のスピーチ、平成22年度表彰者の峯崎会員のお言葉、そして、将来を担う11名の新入会員から前向きなご挨拶をしていただきました。特別なアクションはなかったものの和やか雰囲気の中進行されました。乾杯の音頭では小島会員が執行部を会員が後押しする、賛助会員には共に成長し本会の発展に協力していただくよう呼びかけました。締めは濱守会員に本会の飛躍とご出席の皆様のご健勝を祈念し「一本締め」で締めていただきました。

閉会の辞で堀江副会長が述べたとおり、会の運営は執行部だけで行うことでの発展は望めません。是非とも会員と賛助会員の力をお貸してください。

今後は小川会長が挨拶で申した会員数の伸び悩み、財務状況の厳しさ等課題はあるものの、皆様のご意見を取り入れ、本会伝統の人の和をベースに新しい人材を積極的に活用し前進していく所存です。

最後に、お忙しいところ出席していただいた会員、賛助会員の皆様に心より感謝申し上げるとともに今後も会員の皆様のご協力を賜りたくよろしく願いいたします。



小川会長 挨拶



乾杯の音頭



公衆衛生事業功労者表彰受賞  
峯崎 隆 氏 挨拶



挨拶後の峯崎氏と小川会長





第31回日本核医学技術学会総会学術大会  
大会長 荒井 孝 氏 挨拶



第57回日本放射線技術学会関東部会研究発表大会  
実行委員長 柳田 智 氏 挨拶



新入会員挨拶



歓談



歓談



一本締め音頭



一本締め

**第1地区****報 告 事 項**

## 1、第2回地区役員会開催

日 時：平成22年10月28日（木）18：30～20：30

場 所：埼玉社会保険病院 第2会議室

内 容：第2回地区勉強会の開催日、内容など

出席者：川口市立医療センター（草間、斉藤）、浦和医師会メディカルセンター（宮沢）さいたま市立病院（双木、佐藤）、済生会川口総合病院（浜野、城處）

（財）埼玉県健康づくり事業団（小笠原）、埼玉社会保険病院（橋本、八木沢、阿野） 計11名

## 2、第2回 第一地区勉強会 開催

日 時：平成22年12月2日（木） 19：00～20：30

場 所：埼玉会館 7階 7A会議室（くぬぎ）

## a、施設発表（4施設）

ア、マンモグラフィー検診施設画像認定施設 更新について

（財）埼玉県健康づくり事業団 岡田 義和

埼玉社会保険病院 早瀬 将子

イ、検診マンモグラフィー撮影認定技師 更新について

済生会川口総合病院 飯嶋 亜弥子

済生会川口総合病院 土田 拓治

## b、メーカープレゼンテーション（3社）

ア、デジタルマンモグラフィー用CADについて

（株）GEヘルスケア・ジャパン 営業技術部 阿久津 拓光

（株）日立メディコ XR営業部 小松 浩樹

（株）シーメンス・ジャパン ヘルスケア事業本部 橋本 尚美

## c、地区忘年会

今回の勉強会は、マンモグラフィー更新について、CAD、マンモグラフィー最新技術などの勉強会で企画しました。約40名の参加で第一地区外の参加もあり地区としても光栄に思いました。また、更新、認定を考えている方の手助けになっていただけたらと考えます。

メーカープレゼンではCAD、マンモグラフィー最新技術のお話が聞けて常に勉強をしていかなければいけないと感じました。（写真：勉強会風景1、2、）

勉強会終了後、地区忘年会をしゃぶしゃぶ温野菜浦和店で約20名で歓談のときを過ごしました。

第3回地区勉強会も沢山の方々が参加していただける企画を地区役員で考えていきますので、よろしくお願ひ致します。



### 3、さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業

「わくわく☆さいたま☆いきいき祭り」に参加予定

開催日時：平成23年3月12日（土）10：00～16：00

開催場所：さいたま市市民活動サポートセンター/コムナーレ9階（浦和パルコ内）

参加内容：医療で用いる放射線検査についての説明

無料骨密度測定の実施

問い合わせ：埼玉社会保険病院 放射線技術部

第一地区理事 八木沢 英樹

TEL 048-832-4951（内線1150） h-yagisawa@sart.jp



## 第2地区

### 所沢市健康まつり参画

2地区理事 肥沼武司

平成22年11月14日（日）、所沢市保健センターにて所沢市健康まつりが開催された。

天候は晴れ、地域市民の方が参加するのはちょうど良い気候となった。

我々、第二地区は毎年この健康まつりには参画しており、自分が役員となって12年間継続した公益活動と記憶している。ここ数年、放射線ブースは主催者側から同じ場所を提供されており、準備や運営については役員はじめ手馴れたもので何一つトラブルもなくスムーズに運営を図ることが出来た。

内容は毎年好評を得ている骨密度測定はじめ、パネル展示、小冊子の配布、子供向けゲームを行った。保健センター全体の来場者は1171名、放射線ブースには約400名の方がお見えになり350名の骨密度の体験計測を行った。

公益活動は今後、県技師会組織として公益社団法人を取得するため、実績のある事業であり、重要な役割を占めていると思われる。しかしながら公益事業は直接会員個々の利益還元繋がらなく、通常一般会員が参加するということはない。逆言えば会員が知らない事業が行われていると思われる可能性がある。近年、日本放射線技師会は「国民から必要とされる職業へ」というキャッチコピーを用いている。公益活動において一般市民の方と触れ合えるのは最高の機会であるが、公益活動を主体と考えるとそこに実際会費を払っている会員への直接的な利益還元の矛盾を少なからず感じる。

はじめに述べたが所沢健康まつりは12年連続で参画しており、地域にある程度認知されている団体だと自負している。今後は県や全国でも同様なイベントが増えることが示唆されることから、地区として10年という一つの時代を経験したことから別の形で公益活動を催す方法はないかと感じたりする。特に思いついた手法はないので無責任だが、市民にも会員にも同時に利益のある活動があれば素敵なことと思う。

今回開催された健康まつりは市制60周年記念として開催された。内容は例年通りの感じであったが当麻市長、自民党衆議院委員の柴山氏が訪れ、医師会をはじめ薬剤師会、栄養士会など15を超える参画団体に労いの言葉をかけた。このような団体が集まり地域に健康促進をめざす所沢市としては良いイベントだと思ひ、長年参画してきた我々も地域に貢献ができたことを誇りに感じた。

公益活動実施にあたり役員はじめ実行委員の方には地域の方と楽しく触れ合えスムーズに運営が行えたことを感謝いたします。

【実行委員】 肥沼武司 武田義昭 安保靖彦 柴俊幸 伊藤寿哉 藤井大悟 中邑友香

【協力】 肥沼春人



## 「第9回 市民公開講座」 開催報告

第2地区 原田病院 瀧澤 誠

平成22年11月17日（水）18時より埼玉県放射線技師会第2地区主催の市民公開講座が開催されました。今回で9回目を迎え、テーマは「乳がん」です。

平日の18時、当日は冷たい雨と言う悪条件の中、約60名の皆様のお集まりいただきました。

講演内容は、「乳がんを体験して」、「乳房撮影（マンモグラフィ）について」、「乳がん～検診の意義と最新治療～」の3講演です。

最初に「乳がんを体験して」。この講演は一般市民の体験談です。よくそんな人が見つかりましたね？とお思いですか？ はい、実は、2地区会員の職場の看護師さんです。

しこりが気になり、受診、検査、診断、乳がんと判ったときは、医療職とは思えないほど動揺したそうです。しかし、病気を受け止め、戦う覚悟ができたそうです。放射線治療、抗がん剤の話など実際に乳がんに罹り治療までの貴重なお話でした。

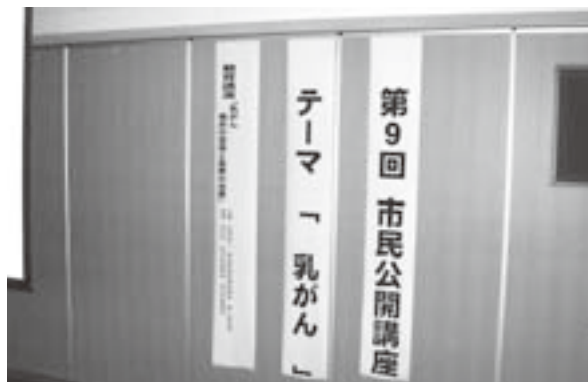
次は「乳房撮影（マンモグラフィ）について」。2地区会員で所沢市市民医療センター勤務の中邑氏の講演です。日本人は、生涯でどのくらい乳がんにかかるのか、罹りやすい年齢はどの年代なのか、検診の内容はどんなものか、実際の撮影風景をビデオで流し説明していただきました。市民の皆様に非常に分かりやすい講演でした。

最後に「乳がん～検診の意義と最新治療～」。瀬戸病院 乳腺外科非常勤医師 佐藤先生の講演です。乳がんとはどんなものなのか、罹りやすい人はどんな人なのか、検査とはどんなものなのか、浸潤癌と非浸潤癌の違い、乳がん手術の方法、化学療法、遺伝子検査の話と盛り沢山でした。専門的で、市民の皆様には難しいところもありましたが、検診マンモグラフィの有効性は十分理解していただけたのではないのでしょうか。

乳がんは、早期に発見できれば、生存率の高いがんです。マンモグラフィの有効性をもう一度考えましょう。

放射線技師会の活動、診療放射線技師の仕事が市民の皆様に少しでも理解していただければ幸いです。最後に、講師の皆さん、実行委員の皆さん、ご協力ありがとうございました。





## 第3地区

### 第三地区会だより

○平成22年11月7日(日) 第24回 川越健康まつりに協賛しました。

川越みんなの健康プラン 家族そろって健康づくり 川越総合保健センター 川越市小ヶ谷817-1

協賛催し内容：『あなたのための医療画像展』コーナー

埼玉県放射線技師会パネル展示と各種放射線検査についての説明

川越総合保健センター乳房用X線撮影装置の説明

3Dワークステーション (Konica & GE) 展示

来場者および医療画像に関するクイズ参加者に川越お菓子屋横丁ご用達菓子と餅飴の景品配布

オープニングイベント オカリナ演奏

セカンドイベント 獅子舞



賛同ご協力 コニカミノルタヘルスケアさん



GEヘルスケア・ジャパンさん



参加者：埼玉医科大学病院

地区役員 戸矢 雅人 栗田 京介

協力参加 山村麻衣子 菅原 香里

埼玉医科大学総合医療センター地区役員 沼本 健一 永井 敦志

埼玉医科大学国際医療センター地区役員 星野 孝之

第3地区理事 澁市 直紀



川越のゆるキャラも参加：健康まる君 と ときも (時の鐘とさつま芋から命名)



川越総合保健センター来場者総数 2685人



『あなたのための医療画像展』コーナー 621人 + 健康まもる君も来訪 (^ ^)  
 しっかり景品ももって行きました。

年々自身、家族の健康に興味ある方が増えている。GE さんのたらばがにの3Dが好評であった。

○平成 22 年 11 月 25 日 (木) 19:00～ 第2回 勉強会開催

場 所：埼玉医科大学国際医療センター C棟1階 カンファレンスルーム 13

内 容：【造影剤と腎障害】 バイエル薬品株式会社 越膳 久之 様

参加人数：14名

○平成22年11月26日 (金)

第24・25回川越健康まつり第3回実行委員会 澁市理事出席

①第24回 川越健康まつり 事業報告

②実施状況報告

③来場者調査結果報告

④第25回 川越健康まつり 開催計画

○平成23年1月8日 (土) 19:00～ 新年会開催

会 場：和風居酒屋 旬天旬菜 然 (ぜん)

\* 今 後 の 予 定 \*

平成22年度 第三地区 総会

1. 日 時：第3回勉強会後企画

2. 場 所：検討中

第3回 第三地区 役員会

1. 日 時：第3回勉強会後企画

2. 場 所：検討中

**第4地区****深谷市福祉健康まつり医療画像展報告**

第4地区会 長谷川英治誠

10月31日（日）深谷市ビッグタートルにて第5回深谷市福祉健康まつりにて医療画像展を行いました。この福祉健康まつりは10月30日、31日の2日間での予定でありましたが、折しも台風14号の接近により、30日（土）は中止を余儀なくされ、31日（日）1日だけの開催となりました。当日は雨も上がり、多くの方々が各テントを回る中、医療画像展ブースにもお立ち寄りいただき、人気の骨密度測定では、250名ほどの方々の計測を行いました。計測をお待ちいただくあいだ、各パネルも興味深く見ていただき、実行委員も熱心に説明を行っていました。

今回もコニカミノルタヘルスケア(株)にご協力いただきPACSビューアーを展示し、フィルムレス化への動きを、一般市民の皆様へ説明できたかと思えます。

実行委員の皆さまお疲れ様でした。



# 第5地区



## 第五地区



### 地区勉強会

放射線部門におけるネットワークの基礎と必要性

アライドテレシス株式会社

2月18日(金)に越谷中央市民会館にて開催

午後7時～



### 第五地区親睦ゴルフ

4月29日(水)に千葉カントリー越谷コースにて開催予定



## 第5地区医療画像展in第36回越谷市民祭り

第五地区理事 矢崎 一郎

10月24日（日曜日）、最高気温17.5度の曇り空の中、第36回越谷市民祭りが開催されました。

越谷市は、古くは日光街道の宿場町として栄え、昭和33年の市制施行以来、都市化が進み現在は人口32万7千人を擁する埼玉県東南部地域の中核都市として発展を続けています。最近では、JR武蔵野線の越谷レイクタウン駅にあるイオンレイクタウンショッピングセンターは、日本最大級の規模でテレビでも度々放送されるスポットとなっており週末は多くの人で賑わっております。

越谷市民祭りも第36回を迎え、本会第五地区も今年で5回目の参加となりました。

越谷市民祭りは10年近くも雨に当たらず、今年も例年の通り雨の心配はありません。

例年20万人の人出でにぎわう市民祭りですが、不景気といわれる昨今ですが例年以上の盛り上がりを見せていたように感じました。医療画像展のブースも、骨密度測定をはじめ3Dワークステーションのデモンストレーションや被ばく相談と例年通りではありましたが、骨密度測定は、403名の方の測定を行いました。用意したパンフレットは、あっという間に無くなり、年々関心の高さが増しているように感じました。病院では話すことのないような会話がフランクに交わされながらも、こちらの解説には真剣に耳を傾けていただき、楽しみながらもいろいろな勉強ができ良い経験が出来た一日でした。



東武伊勢崎線の越谷駅



再開発中の駅前



各種団体によるパレード



早くから大勢の人で賑やか





いろいろなイベントが催されていた。



子供達には、特典がいっぱい



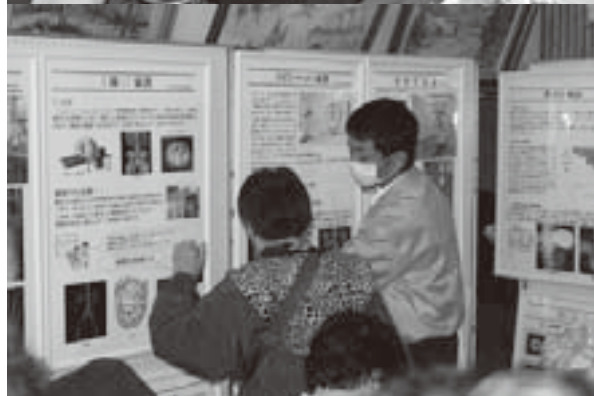
アトラクションも大人気!



演舞も多くチームがエントリーされていました。



隣のブースでは、血管年齢の測定も



相談者の熱心さに脱帽！



403 名の方が測定をされました。



3 D 画像は、親子連れに人気がありました。



## 第6地区

# Lock ON

埼玉県放射線技師会第六地区

発行：埼玉県放射線技師会第六地区会

1. 巻頭言 総務 大角 哲也
2. 第2回定期講習会報告
3. 忘年会報告
4. 定期総会及び第3回定期講習会のお知らせ

2010年12月5日 平成22年度 第5号

## 一人ではない！

総合療育センターひまわり学園 大角 哲也


第六地区会の役員を担当することになってから、早いもので2年が経とうとしています。六地区では総務を担当しており、納涼会、ボーリング大会、忘年会等の行事を企画しています。まだまだ未熟な私ですが、他の担当者に力をかしていただき、また協力しながら会員の皆様方が少しでも楽しめるような企画を用意してきましたつもりです。今後いろいろな行事を企画していく予定ですので、会員の皆様にはぜひともご参加いただければと思います。

さて、今回の巻頭言では、少し私のことを話させていただこうと思います。こんな私でも診療放射線技師になってから約8年、現在の職場で働くようになってから約4年になろうとしています。現在の職場では診療放射線技師が1人しかおらず、数年前からはもう1つの施設でも私1人で診療放射線技師の業務を行っている状況です。以前六地区会の会報誌の『LOCK ON』や埼玉県放射線技師会の会報誌でも掲載させていただきました施設紹介での説明にもあったように、主な日常業務としては、リハビリテーション科と整形外科の一般撮影と小児神経科からのVF検査（嚥下造影検査）になります。

総合療育センターひまわり学園は大病院でもなく、また、入院設備もないため一日の撮影人数は少ないです。言い訳になると思いますが、このようなことから一般撮影などの撮影技術が他の病院の診療放射線技師と比

較すると劣っていると常常感じています。しかし、このような状態を少しでも改善できたらと思数年より医療科学社が出版している『X線撮影法』を再度読み直し撮影のポジションニング等を確認し、日々の撮影に望んでいます。また、近年では医療被ばくについての意識や関心が診療放射線技師、患者ともに高まってきていると感じます。今では『医療被ばく低減施設』に認定されている病院も多くなってきています。総合療育センターひまわり学園では『医療被ばく低減施設』に認定されることは非常に難しいですが、小児専門の施設と言うこともあり、医療被ばくを少しでも低減できるように撮影条件等にも気を配りながら日々の撮影に臨んでいます。

簡単ではありますが、私の業務と現状を話させていただきました。しかし、皆様方の職場ではどうでしょうか。私と同じような状況に置かれたことはなかなかないと思います。皆様方の職場では同じ診療放射線技師が複数人



L o c k O N

いるのではないのでしょうか。自分の周りには同じ職種の人が出て、何か困ったことがあれば相談できる素晴らしい環境があると思います。そのような職場を私は羨ましく思っています。ただ、羨ましく思っているだけではいけないので、日本放射線技師会や埼玉県放射線技師会に入会し、いろいろな勉強会に参加し、

私自身の疑問を解決し、相談事にもものってもらっています。皆様方も、職場では解決できない疑問等があった場合には、日本放射線技師会や埼玉県放射線技師会や各地区会にその疑問等をぶつけてみてはいかがでしょうか。きっと何か良い解決方法が見つかるはずです。

## 平成 22 年度 第 2 回定期講習会報告

上尾中央総合病院 酒井 千尋

平成 22 年 11 月 4 日（木）に上尾中央総合病院看護研修センターにて第 2 回定期講習会が開催されました。

今回は『コメディカルスタッフに対する MRI 検査講習会を開催して～臨床画像を中心に～』『ブラウン法とニフレック・ガスモチン併用との比較』『当センターにおけるステレオマンモトームの現状』の 3 つのテーマについてご講演いただきました。

1 題目の『コメディカルスタッフに対する MRI 検査講習会 講師：上尾中央総合病院 矢島 慧介様』は、診療放射線技師が定期的に全職員を対象とした講習会を開催し、他職種スタッフにも検査の流れや内容を理解してもらうことで、スタッフ間の連携を高めているとのことでした。

今回取り上げた MRI 検査の講習会においては、MRI 検査で度々問題となる体内金属や磁性体の検査室持込みの危険性について他職種にも分かりやすく解説されており、安全管理に対する意識も高まったようです。また、様々な症例の画像を提示することで画像に対する興味が深まり、より一層検査への協力が得られる結果となったとのことでした。

2 題目の『ブラウン法とニフレック・ガスモチン併用との比較 講師：丸山記念総合病院 高嶋 豊様』は、ニフレックにガスモチンを併用することで、ニフレックのみの前処置での問題点であった水分の残留を大幅に改善できるそうです。下剤効果の比較でも、最大 22 時間続くブラウン法での下剤効果がニフレックでは 30 分～1 時間程度と短く、患者様の負担が軽減されるとのことでした。

注腸検査に携っていると、患者様から下剤効果や検査食についての辛さを訴えられることがあります。様々な前処置方法とその利点・欠点を理解し、患者様の負担が軽減できるような処置を選択できるように知識を深めていく必要があることを実感いたしました。

3 題目の『当センターにおけるステレオマンモトームの現状 講師：埼玉県立がんセンター 坂本 恭子様』では、検査手技の流れや適応についてご講演いただきました。当院では 10 月にマンモトーム生検を始めたばかりということもあり、多数の症例をご提示いただきながら生

Lock ON

検手順をご教示いただくことで、よりわかりやすく検査を理解することが出来ました。なかでも、当院では未だ経験の無い横アプローチの手技での針の開口部と石灰化位置の読み方は大変参考になりました。

今回の3題を通して、どの検査においてもスタッフの知識や技術・スタッフ間の連携・患者様の協力なくして安全かつ高度な医療は提供できないということを改めて感じました。

ご講演いただきました講師の皆様には深く感謝申し上げます。



## 忘年会報告

指扇病院 榎本雅彦

11月25日(木)に大宮個室物語竹取御殿にて、平成22年度第六地区忘年会が行われました。寒い中、ご参加された会員の皆様ご協力ありがとうございました。

参加人数25人と前回より多数のご参加、企画側としてうれしい限りです。他施設の会員の方々との親睦がはかれ情報交換やモチベーションの向上に役立ったのではと思っております。今回ご多忙のため参加できなかった会員の皆様、平成23年度も納涼会や忘年会等を企画致しますので、是非ご参加くださいますようよろしくお願い致します。

お知らせ

L o c k O N

## 平成22年度 埼玉県放射線技師会第六地区会 定期総会及び、第3回定期講習会のご案内

平成22年度 埼玉県放射線技師会第六地区会定期総会及び、第3回定期総会を下記のとおり開催いたします。ご参加の程よろしく願いたします。

1. 日時 平成23年 3月17日(木) 19:00～
2. 会場 さいたま赤十字病院 本館5階 第3会議室
3. プログラム

(1) 総会

- ・平成22年度事業報告
- ・平成22年度決算報告
- ・監査報告  
事業監査報告  
会計監査報告
- ・平成23年度事業計画案
- ・平成23年度予算案
- ・その他

(2) 定期講習会

テーマ1 : 『各施設の教育システムに関するアンケート調査報告』  
発表者 第六地区会役員

テーマ2 : 『もやもや病について』  
講師 指扇病院 安川 鉦平様

### 告示

埼玉県放射線技師会第六地区会規約に基づき平成23年度及び平成24年度の役員選挙を下記のとおり告示します。

1. 選挙にて選出する役員の定数  
会長：1名

## みんなのカプリッチオ

## ことわざ全集その32

## スペシャリストとプロは違う

HT

よく耳にする言葉です。

ドライバーに例えるなら、レーシングドライバーは“スペシャリスト”、トラックドライバーやタクシードライバーは“プロ”ということになるのではないのでしょうか。

どちらも、職業として考えれば“プロ”ということになりますが、レーシングドライバーは勝敗が全ての結果であり、高度な技術が要求されます。時には危険を冒してまで勝つことを優先しなければならぬ場面もあります。それに対し、ト

ラックドライバーやタクシードライバーに求められることは、まずは安全です。もちろん、レーシングドライバーとは異なる高度な技術が要求されますが、同乗者、周囲の人々に安心感を与える運転技術が必要だと思うのです。

つまり、スペシャリストは“最高の技術”であり、プロは“最高の安心”であると思うのです。

自分自身が周囲の人たちを安心させてあげることができたら最高ですね。

## ことわざ全集その33

## お金だけが幸せではない

HT

幸せはお金ではない、でも、お金がなかったら幸せにはなれない。なんてことを聞いたことがあります。では、お金と幸せがどのような関係なのでしょう。

先日、インターネットでアメリカのおもしろい調査結果を見つけました。収入と幸せ度の関係です。年収約630万までは、収入が増えるに対し幸せ度も増加するのですが、それ以上は非常に緩やかな上昇でプラトーに近くなるというものです。

僕が学生時代に読んだ本にユダヤ人の言葉がありました。

「お金は人生の不安と危険を排除するだけあればよく、それ以上の幸せは本人次第である」

人が人を支配するのが当然であった60年前の時代を生き抜いた人が言った言葉で、非常に説得力があり、今でも記憶しています。

現代の日本人は保険が好きな理由もここにあるのでしょうか。

この言葉は、裕福さに麻痺してしまった私たちに何かヒントを与えてもらったような気がします。



## SARTランニングクラブ通信 上尾マラソン2010 小江戸川越マラソン2010

国立障害者リハビリテーションセンター 肥沼武司

### 上尾マラソン2010

2010年11月21日（日）晴れ。太陽の下に立っていると少し暑いくらい。マラソンをするには良い気候。この日、SARTランニングクラブのメンバーで上尾シティマラソンに参加！ ハーフに5名出場しました。新メンバーの工藤さんはハーフ初挑戦とランニングクラブも楽しみが増えてきました。

上尾マラソン参加人数は各部門合わせて1万人以上。ものすごい人数が上尾の地に集結します。本大会は陸連公認の大会でもあり、大学のトップクラスの選手が集まります。そのためスタート最前線は緊張感のある雰囲気を発しますが、後方は仮装するランナーなどfun runの一般市民の方々と全体的に楽しい会場になっています。

さて、我々メンバーは全員完走！ さらに内田さんは100分超えのすばらしい記録をたたきだし50代の底力を感じさせました（すごい）。

恒例の補給宴会は上尾駅近くで乾杯！ 最初のビールの1口目は「ク〜ッ！！」っと声が出るほど最高の味でした。



レース前



補給宴会

川田さん、西山さん



工藤さん、内田さん、著者

初ハーフ！川口総合病院 工藤さんの完走記  
「閉鎖まであと3分でーす。」2ヶ所の関門を時間ギリギリに通過し、人生初のハーフマラソンなんとか完走できました。まったく走ることは縁のなかった私ですが、半年ほどで準備できました。ちなみに私の年齢は今年51歳。皆さんも気楽に挑戦し、少し走れるようになったら、ぜひSARTへの

入会をお勧めします。大会終了後はエネルギー補給会がセットであります。5人の前にいきなりジョッキー10杯、補給しすぎにかなりの注意を要しますが、筋肉痛を忘れるには有効です。ランニングブームで埼玉県でも各地で大会が開催されています。一緒に走りましょう。

### 小江戸川越マラソン2010

さて、上尾マラソンから1週間後。今度は川越でマラソン大会が開催されました。川越マラソンは今年初めての開催の第1回記念大会となります。天候も良く、初めての大会でどんなことが待ち受けているのかワ



大量の送迎バス



クワクしながら会場に向かいました。

はじめに驚いたのは会場へ向かう送迎バス。川越駅から「これでもか!」というほどバスが並び、次々とランナーを運びました。通常送迎バスはぎりぎりまで詰め込んで送迎するのが定番ですが、川越では乗車人数を決めて誰ともぶつからないくらい余裕のスペースで次のバスに。大量にバスをチャーターするなんて川越市財政潤っているなあと感じさせられました。

レースコースはフラットだけでなく多少のアップダウンもあり、ランナーを飽きさせないコース設定。またボランティアスタッフが多く、周りが盛り上げるなどの光景が見られ、東京マラソンを参考にしたのか、そんな雰囲気全体を感じさせました。

ランニングクラブメンバーは3名参加!全員無事完走しました。そして恒例の補給宴会ですが会場(水上公園内)はアルコール禁止となっており、屋台は多いけど少し物足りない感を持ちました。ビール好きの著者はメンバーと乾杯したく徒歩で川越市駅に向かい、途中の焼肉チェーン店に飛び込み、乾杯しました。周りのお客さんもランナーばかりで、「みんな考えていることは同じなんだなあ」と思い、ビールで喉を潤しました。

来年、興味がありましたら出場してみたいはいかがでしょうか。結構いい大会でした。

ブラスバンドが大会を盛り上げます



内田さん、著者、平野さん



恒例の補給宴会 完走証を手に



## 次回、SARTランニングクラブ

### 参加予定大会

今回は5月4日ごろ開催の「春日部マラソン」に照準を合わせ参加しようと思います。

この大会会場はBBQがOKとのことで走り終わった後に、ささやかながら現地で焼肉パーティーを

催そうと計画しております!! 是非皆さん興味がありましたらSARTランニングクラブのメンバーとして一緒に走りませんか!ご連絡お待ちしております。

### SARTランニングクラブメンバー募集

「関心はあるけど1人で大会に出るのはちょっと・・・」という方もチームとして一緒に出場すれば完走の喜びを皆さんで分かち合えること必至です。趣味の範囲で、以下のゆる〜い内容で一緒に楽しく走りませんか?

- [1]: 練習は各自自主活動
- [2]: 大会出場の際所属は「SART」と記載
- [3]: 出場後は走った分のカロリーをビール等で補給宴会
- [4]: 連絡窓口(国立リハビリ 肥沼t-koinuma@sart.jp)まで

## エピソード集その6

H・シーサー

このエピソードは僕が実際の診療でのお話を紹介させていただきます。但し、登場人物のプライバシー、個人情報に配慮して一部内容を変更させていただいております。

その日、いつものように僕は乳腺MRIを担当していた。

午後だけで10件の乳腺MRIが予約されており、テキパキと患者さんの入れ替え、撮像、処理をしなければ、5時までには終わらない。

個々の患者さんの病態については前日の夜に全て確認済みである。事前確認の利点は次のことが考えられる。

ポジショニングをする際に僅かな時間で患者さんと病態について会話することにより信頼関係を築き安心感を与えることが出来る。同じコミュニケーションでも天気の話や一般的な話は、場が和むかも知れないが信頼関係は築けない。さらに、撮像中にシーケンス追加、削除をある程度予測でき、短時間で的確な判断が可能となる。これらのことから、自分自身の検査に対する余裕も生まれ、結果的に検査の正確性や時間短縮につながる。

「検査を終了するときとは、検査中、自分の頭の中で読影レポートが出来上がった時だ」

そう先輩から教わった。

10人目の患者さんは、Aさん、40歳、既婚で1児の母である。MMGで右A領域に多形性の微細石灰化を伴う2cm大の境界不明瞭で高濃度腫瘍を認め、カテゴリ4の画像である。さらに病変を含んでAC領域に淡く不明瞭な微細石灰化を認める。分布はやや横に広がり認め、明らかな区域性とは言えず、撮影担当技師も悩んだと思われるレポートであった。MMGの結論としては、「A領域に認める2cm大の腫瘍は乳頭腺管癌疑い。微細

石灰化は腫瘍に伴うもので形状は多形性で、AC領域に分布するものは淡く不明瞭と形状が異なり乳腺症の可能性もあるが、AC領域への広範な乳管内進展を否定できず」というものであった。

超音波検査でも「A領域に2cm大の境界不明瞭内部不均一、後方エコー増強の腫瘍形成性病変としてカテゴリ4、乳頭腺管癌疑い。AC領域には軽度の乳腺肥厚を認めるのみで、積極的に乳管内進展を疑う所見ではない。腋窩に明らかな転移を疑う所見は認めない」という結果であった。

針生検の結果は乳頭腺管癌であった。

僕の施設では手術が確定した患者さんだけMRI検査を行っている。つまり、良悪性の診断の為に、切除範囲を決定するための検査とすることになる。

今回のMRI検査でのポイントはA領域の腫瘍ではなく、淡く不明瞭な微細石灰化が分布しているAC領域が乳腺症によるものか、それともA領域に付随した乳癌の一部なのか？

術式パターンとしては3つ考えられる。

1. AC領域に広範な乳腺症があり、淡く不明瞭な微細石灰化はそれによるもので、その一部のA領域に乳癌が出来た。理由は微細石灰化の形状が異なることと、分布が区域性ではない。術式はA領域の部分切除とセンチネル。
2. A領域に乳癌をつくり、AC領域に乳管内進展を起こした。理由は乳癌が乳頭腺管癌で乳管内進展を起こしやすい組織型だからだ。この場合、乳房の上半分ということになるので、全部切除とセンチネルということになる。

3. AC領域に広範なDCISが存在し、A領域で一部浸潤し、腫瘤を形成した。この場合発育形態が異なるが、術式は上2番と同じである。

患者さんの希望は部分切除であった。

このエピソードを経験したときは全部切除してインプラントという選択肢もあったが、それほど普及してはいなかった。

私はMRI検査室で造影剤の注射を担当しているN先生にこう言った。

「MRIで決着ですね。私は乳癌はA領域だけでAC領域の微細石灰化は乳腺症と考えます。理由は腫瘍に伴う微細石灰化は壊死型ですが、AC領域に認める石灰化は分泌型と考えられるからです。先生はどう思います？」

「いや～、これは難しい症例ですよ。他の病院でしたら、それほど悩まずに全部切除を選択しますが、この患者さんは可能であれば部分切除を希望して来院したようですからね。」

しかし、MRIの結果は僕の予想に反したものであった。A領域の腫瘤は典型的な癌パターンを呈し何ら問題はない。しかし、AC領域は漸増型に濃染されたのである。このパターンは多くは乳腺症であるが、新生血管をもたないDCISもこの乳腺症のパターンになることがある。

今であれば両側乳房のMRIを撮像し、左右比較することも可能であるが、当時は分解能の問題から、片側乳房のMRIのみを施行していた。

「N先生、どうでしょうか？これ以上シーケンス増やしても情報量が増えないと思いますので、検査はこれで終わりにしますね。他のモダリティと総合的に考えますね」

「わかりました。来週、Aさんの術前カンファレ

ンスなので、Hさん、読影レポートよろしくお願  
いします」

いつもどおり、17時半くらいに予定の検査が全  
て終了した。体はまったく疲れていないが、精神的に妙に疲れている。こんな時不思議と甘い物が  
欲しくなる。言い訳かも知れないがささやかな自  
分へのご褒美である。

カルテを返却したりして、読影レポートを書き  
始めるのは18時半くらいからである。

Aさんを除く9人はそれほど問題なくレポート  
を仕上げたが、Aさんだけはどうしても書けない。  
再度、Aさんのカルテを見るためにカルテ室に  
行った。

僕はいつも悩んだときは、その患者さんの家族  
構成を含めて再度考え直すことにしている。

Aさん、40歳、既婚で1児の母。子供は5歳の女  
の子で幼稚園の年中である。不妊治療の末、やっ  
と授かった子供らしい。若年で乳癌になり、子供  
のためになんとか病気を克服したいという母親の  
熱意がカルテに記入されている。やはり、母親は  
強いと思った。その反面、可能であれば乳房を全  
部失いたくはない。そう考えるのも自然のことで  
ある。

カルテをほぼ全部読み切ったとき、僕の気持ち  
は決まった。

僕はいつも悩んだときは「自分の家族だったら  
どうしようか？」そう考えるようにしている。医  
学的な根拠ではないが、自分の判断に後悔をした  
くないからだ。

－自分のカミさんであれば、どんな姿でも元氣  
に生きていてもらいたい。5歳の子供が大きくな  
ったときもそう考えるに違いない－

今であれば、術中迅速病理診断で切除断端を病  
理で診てもらおうか、C領域の淡く不明瞭な微細石

灰化をマンモトームを施行して、良悪性の診断を術前に行うことは容易であるが、当時はその方法もそれほど普及していなかった。

僕の結論は「右乳房全部切除」である。

－術前カンファレンスで－

術前カンファレンスは1週間分の手術の患者さんの術式を最終決定する場所である。研究会で行う症例検討会とは違い、その患者さんの一生を左右するものなので非常に緊張する。

参加者は、乳腺外科医、病理医、腫瘍内科医、放射線科医、放射線技師である。

Aさんの主治医であるT先生Aさんの病状説明に入った。主訴、MMG、US、MRI、針生検の病理診断の結果を読み上げた。

「皆さんどうでしょうか？」

数人の医師が

「悩ましい症例ですね～」

T先生が

「ここは、一番画像の数を診ているHさんの意見はどうですか？」

「はい、MMG、US、MRIの3モダリティ全て悩ましい結果となっています」

「本人が可能であれば乳房を残したいと言ってるからね～。そうでなければ、悩まないんですけどね」

「そうですね」

「Hさんの意見を率直に聞かせてもらいたいんですけど」

「はい、私はAC領域の上半分には癌があると思います。つまり、淡く不明瞭な石灰化も癌と考えます。理由は本院のデータではMMG、US、MRIでDCISや乳管内進展について、感度、特異度が最も高いのはMRIです。USは感度は高いですが、特異度は低いです。そう考えるとAC領域のMRIでの濃染はDCISもしくは乳管内進展を強く疑います」

「わかりました。Hさん、参考になりました。患者さんと相談してみます」

そう言ってカンファレンスが終了した。

－Aさんの手術が終わり、1週間が経過し、Aさんは元気に退院した。－

Aさんの病理結果が出たところを見計らって病理科に出向いた。

「U先生、失礼します」

U先生は女性の病理医である。乳腺病理で著名なK先生の元で勉強中の美人の先生だ。特に意識しているわけではないが、何か解らないことがあったときはいつもU先生に聞きに行っている。

「Aさんの結果どうでしたか？」

すると、非常に厳しい答えが返ってきた

「癌はA領域の腫瘍だけで、その他には広範なやや強めのductal hyperplasia（乳管過形成）を認めます。Atypicalというほど強いものではありませんが、やや強めですね。標本見ますか？」

「ありがとうございます。見てもわからないと思いますが・・・」

「病理も数を見るのが大事なんです。どうぞ」

やっぱり標本を見てもわかるはずなかった。

僕は病理結果を聞いて、非常に大きなショックを受けた。もちろん、悩んだ末に出した結果であるが、カンファレンスでは僕の意見を取り入れたと言ったらおこがましいかもしれないが、患者さんのAさんと主治医のT先生に申し訳ない気持ちでいっぱいであった。

自分の先輩であるSさんにこのことを打ち明けた。するとSさんは

「外科医というのは全て自分の責任でメスをいれるんだよ。だから、カンファレンスなどで意見を聞くときは相手が医師か技師なんて関係ない、自分が信じている人の意見を聞きたいと思うものな



んだ。それが結果的に正しかろうが、間違っているように思うよ」

僕はいてもたってもいられなく、T先生のPHSに電話した。

「T先生ですか」

「どうしました？」

「今、お時間ありますか」

「いいですよ。私の部屋でいいですか？」

「今からお伺いします」

「お待ちしております」

—T先生の部屋の扉を開けて—

「T先生、すみません！」

「もしかしてAさんの病理結果のこと？」

「はい」

「僕も昨日病理結果見たけど、しょうがないよ」  
「でもAさんは部分切除が希望だったんですよね」  
「そうだけど、実は今日Aさんの外来だったんだけど、Aさんは十分に納得していたし、局所再発の心配はないことを説明したら喜んでたよ。子供のためにまだ死ねないって！」

「そうですか」

「医療は蓋を開けないと解らないことが沢山ある。結果が問題ではないと思いますよ。私は一番努力している人の意見を聞きただけです。最後は私の責任で決断します。これからもHさんの意見を聞くからよろしくお願いしますね」

Sさんと同じ答えが返ってきた。

—明日からまたがんばろう—

## 平成22年度 第3回常任理事会議事録（抄）

日 時：平成22年9月2日（木）

場 所：技師会センター

出席者：会 長 小川 清

副 会 長 堀江 好一、橋本 里見

常 任 理 事 田中 宏、結城 朋子、

松田 恵雄、富田 信博、

中村 正之、矢部 智

### 第1. 会長挨拶（要旨）

まだまだ、暑い日が続いていますが、体には十分に気を付けてください。

### 第2. 議事録作成人、議事録署名人の選出

議 長 小川 清

議事録署名人 堀江 好一、橋本 里見

議事録作成人 田中 宏と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出につづき、小川会長を議長に選出し、平成22年度、第3回常任理事会を開催した。

### 第3. 報告及び確認事項

#### 1. 会 長（小川）挨拶

- (1) 平成22年度関東甲信越放射線技師学術大会（平成22年10月9日13：00より）への出席・祝辞依頼、主催者出席として小川挨拶予定、埼玉県放射線技師会として堀江副会長登壇予定。

#### (2) 表彰関係

- ア. 第39回医療功労賞候補者について
- イ. 平成22年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰について
- ウ. 保健文化賞について
- エ. 叙勲申請について

#### (3) 後援依頼

ア. 看護協会主催の埼玉医療安全大会後援（平成22年11月13日 ラフレさいたま 12：00）

イ. 乳がん市民フォーラムin埼玉（平成23年4月17日 大宮ソニックシティ）

(4) 新公益法人制度に基づく一般法人又は公益法人の移行について。

(5) 日本放射線技師会主催、レントゲン週間イベント開催に伴う共同開催のお願いならびに実行委員の派遣依頼について。その他、その後骨密度測定、パネルを要請あり。

(6) 日本放射線技術学会関東部会研究発表大会開会式出席依頼について。

(7) 日本放射線技師会総会関係について。

(8) 第10回上部消化管認定講習会への講師派遣回答拝受について。

(9) 臨床工学技士会から案内通知。

(10) 日本放射線技師会から事業推進委員の推薦について。

#### 2. 副会長（橋本）

(1) 9月25日（土）予定のマネージメントセミナー案内を会員2名以上の施設に郵送し、HPにも掲載した。

(2) 日本放射線技師会永年勤続表彰（50年、30年）今年度対象者をリストアップし、提出してもらった履歴書の様式を来週中には郵送する予定である。

(3) 出張読影講習会は12月4日を予定している。

#### 3. 総務（田中）

(1) 第2回常任理事会議事録確認



## 4. 総務（矢部）

- (1) ソフトボール大会について
  - ア. 賛助会員宛てに、参加申込書を発送した。
  - イ. 昨年度のソフトボール大会の問題点を集めて、円滑な開催に準備をしたい。
- (2) MRI講習会（日放主催：埼玉開催）については、富田常任理事の協力のもと準備中。
- (3) 技師会センター1階に8月16日エアコン設置完了。
- (4) 技術学会関東部会合同シンポジウムの準備会に出席した。（8月24日（火）技師会センター）

## 5. 公益（中村）

- (1) 第3回志木市医療被ばく相談
  - ア. 日 時：9月26日（日）9：00～13：00
  - イ. 場 所：志木市総合福祉センター303会議室
  - ウ. 相談員：レインボークリニック 志田智樹 氏
- (2) 医療被ばく相談セミナー
  - ア. 日 時：11月18日（木）18：00～20：30
  - イ. 場 所：埼玉会館
  - ウ. 講 師：東松山市立市民病院 工藤 安幸 氏
- (3) 第4回志木市医療被ばく相談
  - ア. 日時：11月28日（日）

3. 日本放射線技師会主催レントゲン週間イベントに首都圏放射線技師会として本会に共催が要請されたので審議し、承認した。（議案書番号：理-44）（承認）
4. 日本放射線技師会事業推進委員の推薦依頼に対し審議し、富田常任理事を推薦することで承認した。（議案書番号：理-45）（承認）

報告事項および承認審議事項を確認し、次回理事会の日程を決定し閉会となった。

次回、平成22年度 第4回常任理事会予定 平成22年11月10日（水）

配布資料（メール配信を含む）

- (1) 会長資料
- (2) 副会長資料
- (3) 総務・財務資料
- (4) 編集・情報資料
- (5) 学術資料
- (6) 公益資料
- (7) ホームページ資料
- (8) 議案書

## 第4. 審議・承認事項

1. 埼玉県看護協会が主催して開催される埼玉医療安全大会からの名義後援につき審議し、承認した。（議案書番号：常理-42）（承認）
2. 乳がん市民フォーラムへの名義後援につき審議し、承認した。（議案書番号：理-43）（承認）

## 平成22年度 第4回理事会議事録（抄）

日 時：平成22年10月6日（水）  
午後6時30分～午後9時00分

場 所：技師会センター

出席者：会 長：小川 清  
副 会 長：堀江 好一、橋本 里見  
常 任 理 事：田中 宏、矢部 智、結  
城 朋子、松田 恵雄、  
中村 正之、富田 博信  
理 事：潮田 陽一、星野 弘、  
八木沢 英樹、肥沼 武  
司、澁市 直紀、矢崎  
一郎、石川 直哉  
顧 問：和田 幸人

委任状提出者：小林 剛、尾形 智幸、西山 史朗、  
長谷川 英治

欠 席：鈴木 正人、山本 英明

- (1) 日本放射線技師会総会理事会に出席した。
- (2) ISRRT2010に参加した。
- (3) 日本放射線技師会レントゲン週間イベント協力してほしい。
- (4) 日本放射線技師会臨時総会が11月13日に決定した。
- (5) 日本放射線技師会出資金について連絡があった。
- (6) 日本放射線技師会と本会との業務委託契約を行う。
- (7) 埼玉医療安全大会が11月13日に開催する。

### 第1. 会長挨拶（要旨）

理事の皆様、お疲れ様です。この時期は現在の職務執行をしながら次年度の企画も立てていくことが必要です。よろしくお願いいたします。

ISRRTでの日本は、アジアの為に積極的な活動が行われていません。日本はアジアでの役割を果たしていかなければならないと考えています。国内外又は地方技師会問わず、私たちの分野では、高いレベルと、基本的な技術の双方を考えていかなければならないと考えています。

### 第2. 議事録作成人、議事録署名人の選出

議 長：小川 清  
議事録署名人：橋本里見、矢部 智  
議事録作成人：田中 宏と定めた

### 第3. 報告及び確認事項

#### 1. 会 長（小川）抜粋

#### 2. 副会長（堀江）

- (1) 8月19日と9月15日に公益法人改革検討小委員会を開催した。

#### 3. 副会長（橋本）

- (1) 9月25日（土）に開催された第1回マネージメントセミナーには16名の参加者があった。

講義だけではなく二人一組によるディスカッションを含め有意義な内容であった。

第2回目は、11月27日埼玉会館にて開催予定。

- (2) 地域読影講習会は12月4日午後、会場は小川赤十字病院会議室を予定している。
- (3) 日本放射線技師会からの「医療被ばく相談事業に関するアンケート調査」に回答した。

#### 4. 総務（田中）

- (1) 会議事録確認  
ア. 第3回理事会議事録（平成22年8月4日）

- (2) 議事録フォーマットの変更  
議事録フォーマットは次回から以下の通りとする。

例

### 第3 報告及び確認事項

#### 1. 会長（小川）抜粋

- (1)  
ア.  
（ア）  
a.  
（a）

#### 5. 総務（矢部）

- (1) 日放技永年勤続表彰者について  
30年表彰対象者（20名）に郵送にて連絡を行った。50年表彰対象者（1名）については、橋本副会長が連絡を取っている。また、ホームページでも、告知を行った。9月30日で締め切り計10名からの返信があったので来週中に日放技へ申請する。
- (2) ソフトボール大会について  
ア. 参加チームを募集しているが、現在エントリーは、2チーム。  
イ. 第4回常任理事会にて、エントリー数8チーム未満の場合は、大会中止とする決議となった。  
ウ. 昨年のソフトボール大会の問題点を見直し改善に取り組みたい。
- (3) 会員情報データベースについて  
ア. 会員データベースのデモが出来るようになったことから、IT検討委員会の開催し詰めてゆきたい。10月20日（水）18：30～技師会センターにて開催。
- (4) 平成22年度 診療放射線技師基礎講習「MRI検査」について

- ア. 基礎講習「MRI検査」埼玉開催に向け、必要書類を作成中。今週中に日放技へ提出する。

#### 6. 学術（富田）

- (1) 第4回学術委員会を平成22年10月5日に開催した。

#### 7. 編集・情報（松田）

- (1) 編集・情報委員会の開催報告。  
ア. 平成22年8月10日、第五回の編集・情報委員会を開催した。  
イ. 平成22年8月26日、第六回の編集・情報委員会を開催した。  
ウ. 別途資料の議事録を添付した。

#### (2) 埼玉放射線編集関連

- ア. 埼玉放射線につきましては、9月号を9月14日に発行済み。  
イ. 次号埼玉放射線11月号の原稿締め切りは、10月10日。

#### (3) Webサイトの運営・メールマガジンの配信

- ア. 担当者の尽力により、順調に運営されている。

#### (4) 会員データベースの件

- ア. 試験実装版が稼動しており、現在仮想データの流し込み試験を行っています。もう少しで、公開可能なレベルである。

#### (5) その他

- ア. Sartサーバの拡張に伴い、ファイルのやり取りを可能とする、アップローダの実装が完了している。

#### 8. 編集・情報（潮田）

- (1) 埼玉放射線2010年第5号発刊にむけての活動

- ア. 第5回編集情報委員会 (2010 No.5-1)  
(ア) 日時：平成22年8月10日 18：30～  
20：30  
(イ) 場所：技師会センター  
(ウ) 内容：  
a. 第5号内容説明  
b. 次号以降の企画  
c. 校正作業の予定  
d. 第5号表紙検討  
e. 第5号裏表紙検討  
f. その他  
(エ) 参加者：編集情報委員7名
- イ. 「埼玉放射線2010年第5号校正依頼」の  
送信 (平成22年8月20日18：48)
- ウ. 第6回編集情報委員会 (2010 No.5-2)  
(ア) 日時：平成22年8月26日 18：30～  
20：30  
(イ) 内容：  
a. 初校正結果確認  
b. 第5号見出し検討  
c. その他  
(ウ) 参加者：編集情報委員6名
- エ. 「埼玉放射線2010年第5号初校正確認  
依頼」の送信 (平成22年8月30日19：  
12)
- オ. 望月印刷へ最終校正後の原稿提出 (平  
成22年9月3日12：00)
- (2) 今後の予定
- ア. 第7回編集情報委員会 (2010 No.6-1)  
(ア) 日時：平成22年10月12日 18：30  
(予定)  
(イ) 場所：技師会センター  
(ウ) 内容：  
a. 埼玉放射線 2010年第6号発刊に  
ついて  
b. 2011年「埼玉放射線」表紙候補  
検討
- イ. 第8回編集情報委員会 (2010 No.6-2)  
(ア) 日時：平成22年10月26日18：30  
(予定)  
(イ) 場所：技師会センター  
(ウ) 内容：埼玉放射線 2010年第6号発  
刊及び校正について
- ウ. 埼玉放射線 2010年第6号発刊  
(ア) 日程：平成22年11月15日 (予定)
- (3) 埼玉放射線 2010年第6号掲載予定内容
9. 編集・情報 (肥沼)
- (1) HPの更新 学術案内
- ア. 学術案内  
(ア) 第2回フィルムレスマスターセミ  
ナー (PDF)  
(イ) 第5地区勉強会  
(ウ) 第31回 埼玉消化管撮影研究会  
(エ) 第2地区会勉強会  
(オ) 埼玉医療安全大会 (PDF)  
(カ) 医療被ばく相談セミナー  
(キ) 第1回埼玉CTテクノロジーセン  
ター  
(ク) 平成22年度第4回CTGUMセミナー  
(ケ) マネージメントセミナー  
(コ) 2地区 第9回市民公開講座  
(サ) SAITAMA MRI Conference  
(シ) 埼玉医療安全大会  
(ス) 第2回CT認定講習会 及び 試験  
のお知らせ
- イ. 一般用HP  
(ア) 2地区 第9回市民公開講座
- ウ. 会告  
(ア) ソフトボール大会  
(イ) 日本放射線技師会永年勤続表彰候  
補者推薦について  
(ウ) 5地区 第5回地区親睦ゴルフコン  
ペ

- (2) メールマガジン発行  
 ア. no26 (8月16日発行)  
 イ. no27 (9月3日発行)
- (3) アップローダー  
 ア. HP内にある各委員会内にデータを保管するためのアップローダーを設置。  
 イ. 情報委員会にて試験的に試行し良好な運用であった。  
 ウ. 各委員会にも運用のため、後日パスワードを通知する。
10. 公益 (中村)
- (1) 第3回志木市医療被ばく相談を開催  
 ア. 日 時：9月26日(日)9：00～13：00  
 イ. 場 所：志木市総合福祉センター303会議室  
 ウ. 相談者：0名  
 エ. 相談員：田中 宏 志田 智樹
- (2) 今後の予定  
 ア. 医療被ばく相談セミナー  
 (ア) 日 時：11月18日(木)  
 18：30～20：30  
 (イ) 場 所：埼玉会館  
 (7階 7A号室)  
 (ウ) 内 容：医療被ばく相談の時に役立つ基礎知識  
 講 師：東松山市立市民病院  
 工藤 安幸
- イ. 第4回志木市医療被ばく相談  
 (ア) 日 時：11月28日(日)  
 9：00～13：00  
 (イ) 場 所：志木市総合福祉センター  
 303会議室  
 (ウ) 相談員：未定
11. 公益 (星野)
- (1) リレーフォーライフ2010川越に参加  
 (尾形、越沼、星野)
12. 財務 (結城)  
 (1) 会費納入状況 (平成22年9月29日現在)  
 (2) 予算執行状況 (平成22年9月末日)
13. 第一地区 (八木沢)  
 (1) 地区役員会を10月28日(木)6：30～開催予定  
 (2) 平成23年3月12日(土曜)さいたま市民活動および協働の推進助成事業「わくわくさいたまいきいき祭り」に参加予定
14. 第二地区 (肥沼)  
 (1) 第2回勉強会  
 ア. 日 時：平成22年9月16日(木)  
 18：00～  
 イ. 会 場：所沢市保健センター 3F  
 ウ. 参加者：34名  
 エ. 内 容：  
 (ア) カイゲン製品紹介  
 株式会社カイゲン 営業企画推進部  
 永長 正樹  
 (イ) 埼玉西部地区医療画像研究会 症例検討  
 石心会狭山病院 藤井大悟  
 (ウ) NPO法人 日本消化器がん検診精度管理機構「胃がんX線検診新しい基準撮影法」  
 東京都予防医学協会 佐藤 清二
- (2) 役員会  
 ア. 日 時：10月4日(月)18：30～  
 イ. 場 所：国立障害者リハビリテーションセンター  
 ウ. 内 容：健康まつり・公開講座の確認



- (3) 今後の予定  
 ア. 所沢市健康まつり  
 イ. 第9回市民公開講座
15. 第三地区（澁市）  
 (1) 今後の予定  
 ア. ボーリング大会  
 (ア) 日時：10月28日（木） 19：00～  
 (イ) 場所：川越ボウリングセンター  
 イ. 川越市健康まつり  
 (ア) 日時：11月7日（日） 6日（土）  
 13：00～設営準備  
 (イ) 場所：川越市総合保健センター
16. 第四地区（長谷川）  
 (1) 地区役員会  
 ア. 日 時：平成22年9月14日（火）  
 イ. 場 所：深谷赤十字病院にて  
 ウ. 参加者：6名  
 エ. 内 容  
 (ア) 深谷福祉健康まつりでの医療画像  
 展について確認  
 (イ) 勉強会開催について  
 (ウ) 地区忘年会の開催要項について  
 (2) 今後の予定  
 ア. 地区勉強会  
 (ア) 日 時：平成22年10月21日（木）  
 (イ) 内 容：モニターの制度管理  
 イ. 医療画像展開催として深谷市福祉健康  
 まつりに参加  
 (ア) 日 時：平成22年10月31日（日）  
 (イ) 場 所：深谷市ビッグタートル  
 ウ. 平成22年度第4地区忘年会  
 (ア) 日 時：平成22年11月下旬予定
17. 第五地区（矢崎）  
 (1) 地区勉強会
- ア. 日 時：平成22年9月10日（金）  
 18：30～  
 イ. 場 所：越谷中央公民館  
 ウ. 内 容：一般撮影のコツ地区勉強会  
 講師：春日部市立病院  
 工藤 年男
- エ. 参加人数 61名
- (2) 懇親会  
 ア. 日 時：平成22年9月10日（金）  
 イ. 場 所：花の舞 越谷店  
 ウ. 参加者：14名
- (3) 越谷市民祭り事業室会議  
 ア. 日 時：平成22年9月14日14：00～  
 イ. 場 所：越谷中央公民館  
 ウ. 参加者：1名
- (4) 今後の予定  
 ア. 地区役員会を10月中旬に開催の予定  
 イ. 医療画像展  
 (ア) 日 時：平成22年10月24日（日）  
 (イ) 場 所：越谷市民祭り 越谷市役  
 所内にて
18. 第六地区（石川）  
 (1) ボーリング大会  
 ア. 日 時：平成22年9月11日（木）  
 16：00～  
 イ. 場 所：スポーツ上尾スポーツレーン  
 ズ  
 ウ. 参加者：22名
- (2) 今後の予定  
 ア. 平成22年度 第六地区会第2回定期講  
 習会  
 (ア) 日 時：平成22年11月4日（木）  
 19：00～  
 (イ) 場 所：上尾中央総合病院  
 (ウ) 内 容  
 テーマ1『ブラウン変法とニフレッ

ク・ガスモチン併用との比較』  
丸山記念総合病院 高嶋 豊  
テーマ2『コメディカルスタッフに  
対するMRI検査講習会を開催して  
～臨床画像を中心に～』

上尾中央総合病院  
放射線技術科 矢島 慧介  
テーマ3『当院におけるステレオマ  
ンモトームの現状』  
埼玉県立がんセンター  
放射線技術部 坂本 恭子

次回、平成22年度 第4回理事会予定 平成22  
年12月1日（水）

配布資料（メール配信を含む）

- (1) 会長資料
- (2) 副会長資料
- (3) 総務・財務資料
- (4) 編集・情報資料
- (5) 学術資料
- (6) 公益資料
- (7) ホームページ資料
- (8) 各地区資料（第一地区、第二地区、第三地  
区、第四地区、第五地区、第六地区）
- (9) 議案書

#### 第4. 審議・承認事項

1. 新入会員について審議し、承認した。（議案  
書番号：理-46）（承認）
2. 平成22年度役員研修会開催について審議し、  
承認した。（議案書番号：理-47）（承認）
3. 新春の集いについて審議し、承認した。（議  
案書番号：理-48）（承認）
4. 本会で所有している骨密度測定装置を会員施  
設で行う事業に使用するための貸し出しにつ  
いて審議した。骨密度測定装置貸出規定 第  
2条、第4条に基づき、貸出期間を5日間とし  
承認した。（議案書番号：理-49）（一部修正  
承認）
5. 日本放射線技師会主催、平成22年度レントゲ  
ン週間イベントへの参加要請について審議  
し、承認した。（議案書番号：理-50）（承認）
6. 平成22年度日本消化器がん検診学会関東甲信  
越地方会第43回放射線部会学術集会后援依  
頼について審議し、承認した。（議案書番号：  
理-51）（承認）
7. 「地域読影講習会」について審議し、承認し  
た。（議案書番号：理-52）（承認）

報告事項および承認審議事項を確認し、次回理  
事会の日程を決定し閉会となった。

## 会員の動向 (平成22年11月29日現在)

平成22年12月1日承認

| 事由  | 技師会番号 | 氏名    | 施設名             | 地区 |
|-----|-------|-------|-----------------|----|
| 新入会 | 56723 | 吉岡 希望 | 入間ハート病院         | 2  |
| 新入会 | 80057 | 西浦 由佳 | 東京放射線クリニック      | 1  |
| 新入会 | 56762 | 本郷 久利 | わかさクリニック        | 2  |
| 新入会 | 56776 | 岩松 有紗 | 社会保険大宮総合病院      | 6  |
| 新入会 | 80058 | 石井 建吏 | 上尾中央総合病院        | 6  |
| 新入会 | 56856 | 滝口 泰徳 | 上尾中央総合病院        | 6  |
| 転出  | 52999 | 原 正樹  |                 | 4  |
| 退会  | 46165 | 中山 礼理 |                 | 3  |
| 退会  | 31754 | 平賀 亘  | 国立病院機構 村山医療センター | 2  |

|     |       |             |
|-----|-------|-------------|
|     |       | 前回会員数 1217名 |
| 会員数 | 1219名 | 2名増加        |
| 新入会 | 6名    | 今年度累計 40名   |
| 再入会 | 0名    | 今年度累計 1名    |
| 転入  | 0名    | 今年度累計 6名    |
| 転出  | 1名    | 今年度累計 6名    |
| 退会  | 3名    | 今年度累計 7名    |



社団法人 埼玉県放射線技師会

平成21, 22年度役員名簿

| 役 職 名         | 氏 名   | 勤 務 先                | 勤務先電話        | 技師会メール              |
|---------------|-------|----------------------|--------------|---------------------|
| 会 長           | 小川 清  | 小川赤十字病院              | 0493-72-2333 | k-ogawa@sart.jp     |
| 副 会 長         | 堀江 好一 | 社会保険大宮総合病院           | 048-663-1671 | k-horie@sart.jp     |
| 副 会 長         | 橋本 里見 | 埼玉社会保険病院             | 048-832-4951 | s-hashimoto@sart.jp |
| 常任理事(総務)      | 田中 宏  | 埼玉県立小児医療センター         | 048-758-1811 | h-tanaka@sart.jp    |
| 常任理事(総務)      | 矢部 智  | 越谷市立病院               | 048-965-2221 | s-yabe@sart.jp      |
| 常任理事(財務)      | 結城 朋子 | 済生会栗橋病院              | 0480-52-3611 | t-yuuki@sart.jp     |
| 常任理事(編集・情報)   | 松田 恵雄 | 埼玉医科大学総合医療センター       | 049-228-3804 | s-matsuda@sart.jp   |
| 常任理事(学術)      | 富田 博信 | 済生会川口総合病院            | 048-253-1551 | h-tomita@sart.jp    |
| 常任理事(公益)      | 中村 正之 | 獨協医科大学越谷病院           | 048-965-1111 | m-nakamura@sart.jp  |
| 理 事(学術)       | 尾形 智幸 | さいたま赤十字病院            | 048-852-1111 | t-ogata@sart.jp     |
| 理 事(学術)       | 西山 史朗 | 東京放射線クリニック           | 03-3529-5420 | s-nishiyama@sart.jp |
| 理 事(学術)       | 小林 剛  | 北里大学北里研究所メディカルセンター病院 | 048-593-1212 | t-kobayashi@sart.jp |
| 理 事(編集・情報)    | 潮田 陽一 | 埼玉医科大学総合医療センター       | 049-228-3593 | y-ushioda@sart.jp   |
| 理 事(公益)       | 星野 弘  | 埼玉社会保険病院             | 048-832-4951 | h-hoshino@sart.jp   |
| 理事(総務)第一地区    | 八木沢英樹 | 埼玉社会保険病院             | 048-832-4951 | h-yagisawa@sart.jp  |
| 理事(編集・情報)第二地区 | 肥沼 武司 | 国立障害者リハビリテーションセンター   | 04-2995-3100 | t-koinuma@sart.jp   |
| 理事(総務)第三地区    | 澁市 直紀 | 埼玉医科大学国際医療センター       | 042-984-4192 | n-shibuichi@sart.jp |
| 理事(総務)第四地区    | 長谷川英治 | 羽生総合病院               | 048-562-3000 | e-hasegawa@sart.jp  |
| 理事(総務)第五地区    | 矢崎 一郎 | 春日部市立病院              | 048-735-1261 | i-yazaki@sart.jp    |
| 理事(総務)第六地区    | 石川 直哉 | 指扇病院                 | 048-623-1101 | n-ishikawa@sart.jp  |
| 渉外マネージャー      | 石栗 一男 | 蓮田一心会病院              | 048-764-6411 | k-ishiguri@sart.jp  |

監事・顧問

| 役 職 名 | 氏 名   | 勤 務 先        | 勤務先電話        | 技師会メール             |
|-------|-------|--------------|--------------|--------------------|
| 監 事   | 山本 英明 | 埼玉県立小児医療センター | 048-758-1811 | h-yamamoto@sart.jp |
| 監 事   | 鈴木 正人 | 埼玉県県会議員      |              | m-suzuki@sart.jp   |
| 顧 問   | 和田 幸人 | 埼玉医科大学病院     | 0492-76-1264 | y-wada@sart.jp     |

| 役 職 名 | 氏 名   | 勤 務 先      | 勤務先電話        | 技師会メール |
|-------|-------|------------|--------------|--------|
| 顧問税理士 | 増田 利治 | 増田利治税理士事務所 | 048-649-1386 |        |



総務・財務委員会

| 役職名  | 氏名    | 勤務先            | 勤務先電話        | 技師会メール              |
|------|-------|----------------|--------------|---------------------|
| 委員長  | 田中 宏  | 埼玉県立小児医療センター   | 048-758-1811 | h-tanaka@sart.jp    |
| 副委員長 | 矢部 智  | 越谷市立病院         | 048-965-2221 | s-yabe@sart.jp      |
| 副委員長 | 結城 朋子 | 済生会栗橋病院        | 0480-52-3611 | t-yuuki@sart.jp     |
| 委員   | 堀江 好一 | 社会保険大宮総合病院     | 048-663-1671 | k-horie@sart.jp     |
| 委員   | 橋本 里見 | 埼玉社会保険病院       | 048-832-4951 | s-hashimoto@sart.jp |
| 委員   | 八木沢英樹 | 埼玉社会保険病院       | 048-832-4951 | h-yagisawa@sart.jp  |
| 委員   | 澁市 直紀 | 埼玉医科大学国際医療センター | 042-984-4192 | n-shibuichi@sart.jp |
| 委員   | 長谷川英治 | 羽生総合病院         | 048-562-3000 | e-hasegawa@sart.jp  |
| 委員   | 矢崎 一郎 | 春日部市立病院        | 048-735-1261 | i-yazaki@sart.jp    |
| 委員   | 石川 直哉 | 指扇病院           | 048-623-1101 | n-ishikawa@sart.jp  |
| 委員   | 田中 達也 | 小川赤十字病院        | 0493-72-2333 | t-yanaka@sart.jp    |
| 委員   | 岡田 義和 | 埼玉県健康づくり事業団    | 048-859-5173 | y-okada@sart.jp     |
| 委員   | 平野 雅弥 | 埼玉医科大学病院       | 049-276-1264 | m-hirano@sart.jp    |
| 委員   | 千田 俊秀 | 所沢市市民医療センター    | 04-2992-1170 | t-chida@sart.jp     |

学術委員会

| 役職名  | 氏名    | 勤務先                  | 勤務先電話        | 技師会メール              |
|------|-------|----------------------|--------------|---------------------|
| 委員長  | 富田 博信 | 済生会川口総合病院            | 048-253-1551 | h-tomita@sart.jp    |
| 副委員長 | 尾形 智幸 | さいたま赤十字病院            | 048-852-1111 | t-ogata@sart.jp     |
| 副委員長 | 西山 史朗 | 東京放射線クリニック           | 03-3529-5420 | s-nishiyama@sart.jp |
| 副委員長 | 小林 剛  | 北里大学北里研究所メディカルセンター病院 | 048-593-1212 | t-kobayashi@sart.jp |
| 副委員長 | 石栗 一男 | 蓮田一心会病院              | 048-764-6411 | k-ishiguri@sart.jp  |
| 委員   | 田中 宏  | 埼玉県立小児医療センター         | 048-758-1811 | h-tanaka@sart.jp    |
| 委員   | 塚田 高志 | アジュール竹芝総合健診センター      | 03-3437-2701 | t-tsukada@sart.jp   |
| 委員   | 越沼 沙織 | 済生会習志野総合病院           | 047-473-1281 | s-koshinuma@sart.jp |
| 委員   | 村田 光俊 | 獨協医科大学越谷病院           | 048-965-1111 | mi-murata@sart.jp   |
| 委員   | 岡田 智子 | さいたま赤十字病院            | 048-852-1111 | s-okada@sart.jp     |
| 委員   | 中根 淳  | 埼玉医科大学総合医療センター       | 049-228-3400 | j-nakane@sart.jp    |
| 委員   | 城處 洋輔 | 済生会川口総合病院            | 048-253-1551 | y-kidokoro@sart.jp  |
| 委員   | 大森 正司 | さいたま赤十字病院            | 048-852-1111 | s-omori@sart.jp     |

編集・情報委員会

| 役職名  | 氏名    | 勤務先                  | 勤務先電話        | 技師会メール              |
|------|-------|----------------------|--------------|---------------------|
| 委員長  | 松田 恵雄 | 埼玉医科大学総合医療センター       | 049-228-3804 | s-matsuda@sart.jp   |
| 副委員長 | 潮田 陽一 | 埼玉医科大学総合医療センター       | 049-228-3593 | y-ushioda@sart.jp   |
| 副委員長 | 肥沼 武司 | 国立障害者リハビリテーションセンター   | 04-2995-3100 | t-koinuma@sart.jp   |
| 委員   | 村田 雅弘 | 小川赤十字病院              | 0493-72-2333 | m-murata@sart.jp    |
| 委員   | 富田 欣治 | 深谷赤十字病院              | 048-571-1511 | y-tomita@sart.jp    |
| 委員   | 栗田 幸喜 | 済生会栗橋病院              | 0480-52-3611 | k-kurita@sart.jp    |
| 委員   | 江守亜矢子 | 小川赤十字病院              | 0493-72-2333 | a-emori@sart.jp     |
| 委員   | 阿野 匡昭 | 埼玉社会保険病院             | 048-832-4951 | m-ano@sart.jp       |
| 委員   | 川田 俊彦 | 埼玉社会保険病院             | 048-832-4951 | t-kawata@sart.jp    |
| 委員   | 柳田 智  | 北里大学北里研究所メディカルセンター病院 | 048-593-1212 | s-yanagita@sart.jp  |
| 委員   | 白石 圭  | 伊奈病院                 | 048-721-3692 | k-shiraishi@sart.jp |
| 委員   | 柏 達司  | 塩味病院                 | 048-467-0016 | t-kashiwa@sart.jp   |
| 委員   | 市川 隆史 | 埼玉医科大学病院             | 049-276-1264 | t-ichikawa@sart.jp  |
| 委員   | 諏訪 和明 | 獨協医科大学越谷病院           | 048-965-1111 | k-suwa@sart.jp      |
| 委員   | 栗田 裕樹 | 佐々木病院                | 048-571-0242 | y-kurita@sart.jp    |

公益委員会

| 役職名  | 氏名    | 勤務先         | 勤務先電話        | 技師会メール             |
|------|-------|-------------|--------------|--------------------|
| 委員長  | 中村 正之 | 獨協医科大学越谷病院  | 048-965-1111 | m-nakamura@sart.jp |
| 副委員長 | 星野 弘  | 埼玉社会保険病院    | 048-832-4951 | h-hoshino@sart.jp  |
| 委員   | 磯田 一巳 | 所沢市市民医療センター | 04-2992-1170 | k-isoda@sart.jp    |
| 委員   | 太田 良平 | 埼玉社会保険病院    | 048-832-4951 | r-ota@sart.jp      |
| 委員   | 工藤 安幸 | 東松山市立市民病院   | 0493-24-6111 | y-kudoh@sart.jp    |
| 委員   | 長谷部和仁 | 豊岡第一病院      | 04-2964-6311 | k-hasebe@sart.jp   |
| 委員   | 大嶋 健悟 | 獨協医科大学越谷病院  | 048-965-1111 | k-oshima@sart.jp   |

## 1. 投稿の資格

- 1) 診療放射線技師の原則として、(社)埼玉県放射線技師会会員に限る。
- 2) 診療放射線技師でない執筆者は、その限りでない。

## 2. 投稿の種類

原著論文、総説、誌上講座、資料、学会特集、その他とする。  
但し、原著論文については未発表のものに限る。  
その他については、3200字以内とする。

## 3. 投稿論文の採否

投稿論文の採否は、編集情報委員会で決定する。原著論文、総説、誌上講座、資料の審査には査読制を採用する。掲載は、原則として採用順とする。

## 4. 投稿の方法

原著論文、総説、誌上講座、資料その他を電子メールに添付する。  
原稿作成に使用するファイルは限定をしないが、可能であればテキスト形式に変換したファイルを添付すること。

## 5. 原稿の記載方法

- 1) 表紙：①論文表題 ②全著者名 ③施設名・所属
- 2) 本文：①和文要旨(400字以内、キーワード5個以内)
  - ②緒言、使用機種、対象・方法、結果、考察、結語の順に記載する。
  - ③原稿は、和文または英文とする。英文の場合は、英文要旨も添付する。  
ワードプロセッサによる原稿を原則とし、A4判縦置き、20字×20字(横書き)にて30枚以内とし、図表1枚を用紙1枚とみなす。
- 3) 図・表：別紙に番号を付して添付し、本文中に挿入位置を記す。図、写真は、直接製版できるものとする。
- 4) 文献：引用文献は、本文の終わりに引用順に記す。表記形式は、下記のとおりとする。尚、著者名は筆頭者から3名までとし、それ以上は、和文文献の場合「他」、英文文献の場合は「et al」とする。

## ①雑誌の記載法

著者名：表題、雑誌名(省略形)、巻、初項～終項、発行年(西暦)

## ②単行本の記載法

著者名：表題、書名(版)、発行所、発行地、発行年(西暦)、初項～終項

- 5) 学会特集については、専用の用紙を用い、その他については可能な限り、上記の順に基づくものとする。

## 6. 校正

原著論文、総説、誌上講座、資料の執筆校正は初稿のみとし、直接筆頭者に送付する。7日以内に校正の上返送すること。

## 7. 別刷

原著論文、総説、誌上講座、資料に限り20部まで本会負担とする。追加分の別刷は有償とし10部単位で著者負担する。その際に別紙に表題と希望部数、別刷送付先を明記すること。

## 8. その他

投稿規程は理事会の議を経て改変することがある。

## 9. 原稿の送り先

封書に「原稿在中」と朱色で明記すること。

〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番39  
社団法人 埼玉県放射線技師会 編集情報委員会宛  
E-mail: hensyu@sart.jp

## 10. 問い合わせ

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981 埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 松田恵雄  
電話049-228-3804 E-mail: s-matsuda@sart.jp

平成 22 年度

埼玉県放射線技師会  
日本放射線技師会等

年間スケジュール表

| 平成22年度 (10-12) 予定 |    |                     |               |     |    |                    |      |     |    |      |       |
|-------------------|----|---------------------|---------------|-----|----|--------------------|------|-----|----|------|-------|
| 10月               |    | 埼玉放技                | 日放技等          | 11月 |    | 埼玉放技               | 日放技等 | 12月 |    | 埼玉放技 | 日放技等  |
| 金                 | 1  |                     | MR学会②         | 月   | 1  |                    |      | 水   | 1  | 理事会5 |       |
| 土                 | 2  |                     | MR学会③         | 火   | 2  |                    |      | 木   | 2  |      |       |
| 日                 | 3  |                     |               | 水   | 3  |                    |      | 金   | 3  |      |       |
| 月                 | 4  |                     |               | 木   | 4  | 常任理事会4             |      | 土   | 4  |      |       |
| 火                 | 5  |                     |               | 金   | 5  |                    |      | 日   | 5  |      | MR講習会 |
| 水                 | 6  | 理事会4                |               | 土   | 6  |                    |      | 月   | 6  |      |       |
| 木                 | 7  |                     |               | 日   | 7  | 川越健康まつり<br>所沢健康まつり |      | 火   | 7  |      |       |
| 金                 | 8  |                     |               | 月   | 8  |                    |      | 水   | 8  |      |       |
| 土                 | 9  |                     | 関東甲信越<br>学術大会 | 火   | 9  |                    |      | 木   | 9  |      |       |
| 日                 | 10 |                     |               | 水   | 10 |                    |      | 金   | 10 |      |       |
| 月                 | 11 |                     |               | 木   | 11 |                    |      | 土   | 11 |      |       |
| 火                 | 12 |                     |               | 金   | 12 |                    |      | 日   | 12 |      |       |
| 水                 | 13 |                     |               | 土   | 13 |                    | 臨時総会 | 月   | 13 |      |       |
| 木                 | 14 |                     |               | 日   | 14 |                    |      | 火   | 14 |      |       |
| 金                 | 15 |                     |               | 月   | 15 |                    |      | 水   | 15 |      |       |
| 土                 | 16 |                     |               | 火   | 16 |                    |      | 木   | 16 |      |       |
| 日                 | 17 |                     |               | 水   | 17 | 所沢市民公開講座           |      | 金   | 17 |      |       |
| 月                 | 18 |                     |               | 木   | 18 | 医療被ばく相談 セミナー       |      | 土   | 18 |      |       |
| 火                 | 19 |                     |               | 金   | 19 |                    |      | 日   | 19 |      |       |
| 水                 | 20 |                     |               | 土   | 20 |                    |      | 月   | 20 |      |       |
| 木                 | 21 |                     |               | 日   | 21 |                    |      | 火   | 21 |      |       |
| 金                 | 22 |                     |               | 月   | 22 |                    |      | 水   | 22 |      |       |
| 土                 | 23 |                     |               | 火   | 23 |                    |      | 木   | 23 |      |       |
| 日                 | 24 | 越谷医療画像展             |               | 水   | 24 | 常任連絡会5             |      | 金   | 24 |      |       |
| 月                 | 25 |                     |               | 木   | 25 |                    |      | 土   | 25 |      |       |
| 火                 | 26 |                     |               | 金   | 26 |                    |      | 日   | 26 |      |       |
| 水                 | 27 |                     |               | 土   | 27 |                    |      | 月   | 27 |      |       |
| 木                 | 28 |                     |               | 日   | 28 |                    |      | 火   | 28 |      |       |
| 金                 | 29 |                     |               | 月   | 29 |                    |      | 水   | 29 |      |       |
| 土                 | 30 |                     |               | 火   | 30 |                    |      | 木   | 30 |      |       |
| 日                 | 31 | ソフトボール大会<br>深谷健康まつり |               |     |    |                    |      | 金   | 31 |      |       |

| 平成22年度 (1-3) 予定 |    |        |      |    |    |      |              |    |    |           |      |
|-----------------|----|--------|------|----|----|------|--------------|----|----|-----------|------|
| 1月              |    | 埼玉放技   | 日放技等 | 2月 |    | 埼玉放技 | 日放技等         | 3月 |    | 埼玉放技      | 日放技等 |
| 土               | 1  |        |      | 火  | 1  |      |              | 火  | 1  |           |      |
| 日               | 2  |        |      | 水  | 2  | 理事会6 |              | 水  | 2  | 常任理事会6    |      |
| 月               | 3  |        |      | 木  | 3  |      |              | 木  | 3  |           |      |
| 火               | 4  |        |      | 金  | 4  |      |              | 金  | 4  |           |      |
| 水               | 5  | 常任理事会5 |      | 土  | 5  |      |              | 土  | 5  |           |      |
| 木               | 6  |        |      | 日  | 6  |      | JSRT<br>関東部会 | 日  | 6  |           |      |
| 金               | 7  | 新春の集い  |      | 月  | 7  |      |              | 月  | 7  |           |      |
| 土               | 8  |        |      | 火  | 8  |      |              | 火  | 8  |           |      |
| 日               | 9  |        |      | 水  | 9  |      |              | 水  | 9  |           |      |
| 月               | 10 |        |      | 木  | 10 |      |              | 木  | 10 |           |      |
| 火               | 11 |        |      | 金  | 11 |      |              | 金  | 11 |           |      |
| 水               | 12 |        |      | 土  | 12 |      |              | 土  | 12 |           |      |
| 木               | 13 |        |      | 日  | 13 |      |              | 日  | 13 | 学術大会・予算総会 |      |
| 金               | 14 |        |      | 月  | 14 |      |              | 月  | 14 |           |      |
| 土               | 15 |        |      | 火  | 15 |      |              | 火  | 15 |           |      |
| 日               | 16 |        |      | 水  | 16 |      |              | 水  | 16 |           |      |
| 月               | 17 |        |      | 木  | 17 |      |              | 木  | 17 |           |      |
| 火               | 18 |        |      | 金  | 18 |      |              | 金  | 18 |           |      |
| 水               | 19 |        |      | 土  | 19 |      |              | 土  | 19 |           |      |
| 木               | 20 |        |      | 日  | 20 |      |              | 日  | 20 |           |      |
| 金               | 21 |        |      | 月  | 21 |      |              | 月  | 21 |           |      |
| 土               | 22 |        |      | 火  | 22 |      |              | 火  | 22 |           |      |
| 日               | 23 |        |      | 水  | 23 |      |              | 水  | 23 |           |      |
| 月               | 24 |        |      | 木  | 24 |      |              | 木  | 24 |           |      |
| 火               | 25 |        |      | 金  | 25 |      |              | 金  | 25 |           |      |
| 水               | 26 | 常任連絡会6 |      | 土  | 26 |      |              | 土  | 26 |           |      |
| 木               | 27 |        |      | 日  | 27 |      |              | 日  | 27 |           |      |
| 金               | 28 |        |      | 月  | 28 |      |              | 月  | 28 |           |      |
| 土               | 29 |        |      |    |    |      |              | 火  | 29 |           |      |
| 日               | 30 |        |      |    |    |      |              | 水  | 30 | 常任連絡会1    |      |
| 月               | 31 |        |      |    |    |      |              | 木  | 31 |           |      |

|            |
|------------|
| 第2回CT認定講習会 |
| 第2回地域読影講習会 |

## セミナー申込書

|     |                                                |
|-----|------------------------------------------------|
| 受信者 | FAX番号:048-664-2733<br>(社)埼玉県放射線技師会             |
| 送信者 | 氏名 _____<br>施設名 _____<br>〒 _____<br>施設住所 _____ |

下記のとおり送信いたしますので、よろしくお願いいたします。

|            |                                        |
|------------|----------------------------------------|
| 参加申込者氏名    | 1) _____ 2) _____<br>3) _____ 4) _____ |
| 勤務先名       | _____                                  |
| 勤務先住所      | _____                                  |
| 勤務先電話番号    | _____                                  |
| 勤務先 FAX 番号 | _____                                  |
| 技師会番号      | 1) _____ 2) _____<br>3) _____ 4) _____ |

送付先: 〒330-0038

さいたま市北区宮原町 2-51-39 (社)埼玉県放射線技師会

TEL 048-664-2728

FAX 048-664-2733



会員異動届

ファックス送信票

下記のとおり送信いたしますので、よろしく願いいたします。

|     |                                     |
|-----|-------------------------------------|
| 受信者 | FAX番号：048-664-2733<br>(社) 埼玉県放射線技師会 |
| 送信者 | 氏 名 _____                           |
|     | 施 設 名 _____<br>〒 _____              |
|     | 施設住所 _____                          |

\* 郵送の場合  
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番地39  
社団法人 埼玉県放射線技師会  
電話：048-664-2728

(社団法人) 埼玉県放射線技師会  
会員登録変更届

平成 年 月 日

|               |  |     |    |
|---------------|--|-----|----|
| ふりがな<br>届出会員名 |  | 地区名 | 地区 |
| 技師会番号         |  |     |    |

|                |                            |                    |  |
|----------------|----------------------------|--------------------|--|
| ①転出者は正確にご記入下さい |                            |                    |  |
| 転出先            | ( ) 県へ転出                   | 技師会費を ( ) 年度まで納入   |  |
| 変更項目           | <input type="checkbox"/> 印 | ②変更した項目をご記入下さい     |  |
|                | ふりがな<br>自宅住所               | 〒 - -<br>TEL - -   |  |
|                | ふりがな<br>勤務先名               |                    |  |
|                | ふりがな<br>勤務先住所              | 〒 - -<br>TEL - -   |  |
|                | ふりがな<br>改 姓                |                    |  |
|                | 地 区 変 更                    | 第 ( ) 地区を第 ( ) 地区に |  |
| 連絡先変更          |                            |                    |  |

## —編集後記—

昨年の11月末に当院の職員の結婚式に出席させて頂きました。とても感動した素晴らしい式でした。私自身も昨年4月に挙式を終えたばかりであり、一応、新婚の身ではございますが、とても幸せ？な日々を過ごさせて頂いております。

その式において当院院長の挨拶の一部に、「とにかく幸せな家庭を築いてください。そうなれば、市内が幸せになり、市内が幸せであれば、埼玉県が幸せに。埼玉県が・・・日本が幸せに・・・。」とおっしゃられていました。私自身、改めてなるほどと思いました。人に優しくできる為には、まず自分自身が幸せにならないと。その事により業務内においても、他のスタッフ、患者さんにもさらに優しくなれると感じました。

たまたまこの編集後記を拝見した方には私から一言、『皆様もさらに幸せになってください！』まだまだ未熟な私ですが皆様の幸せを願っております。

そしてこの場をお借り致しまして、私事で恐縮ですが、妻、娘に感謝いたします。

「いつもありがとう」

最後に今年も皆様、埼玉県放射線技師会にとって本当に良い一年でありますよう御健康、御活躍を心よりお祈り申し上げます。

(結衣パパ)

裏表紙に掲載する風景写真を募集いたします。

なお選考は編集情報委員会に一任をお願いいたします。

また、いただいたデータは返却いたしません。

データの送信は編集情報委員会 潮田 (y-ushioda@sart.jp) までお願いいたします。

### 埼玉放射線 第217号

|                  |                                                            |
|------------------|------------------------------------------------------------|
| 印刷               | 平成23年1月18日                                                 |
| 発行日              | 平成23年1月24日                                                 |
| 発行所              | 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-39<br>社団法人 埼玉県放射線技師会              |
| Eメールアドレス         | sart@beige.ocn.ne.jp                                       |
| HP掲示板・認定者名簿パスワード | ユーザー名 sart<br>パスワード saitama                                |
| 発行人              | 社団法人 埼玉県放射線技師会<br>会長 小川 清<br>編集代表 松田 恵雄                    |
| 印刷               | 〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36<br>望月印刷株式会社<br>電話 048-840-2111 |

### 事務所

〒331-0812

さいたま市北区宮原町2丁目51番39

社団法人埼玉県放射線技師会 技師会センター

電話 048-664-2728 FAX 048-664-2733

Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

事務局長 渡辺 弘

事務員 植松 敏江

勤務時間 9:00~12:00

13:00~15:00





富士山頂からの日の出『ダイヤモンド富士』  
撮影者 埼玉社会保険病院 星野 弘 氏

コメント 「日出づる里」と呼ばれる山梨県増穂町高下にて撮影



〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39

社団法人 埼玉県放射線技師会

TEL 048-664-2728

FAX 048-664-2733

[www.sart.jp](http://www.sart.jp)

[sart@beige.ocn.ne.jp](mailto:sart@beige.ocn.ne.jp)

領布価格 1,000円(会誌購読料は会費に含まれる)